仲 津 小 学 校 空 調 整 備 エ 事 (建築主体エ事)

| 図面番号 | | 図面番号 | 図 面 名 称 |
|------|-----------------|------|---------------------|
| A-01 | 工事標準仕方書(1) | A-35 | 西棟校舎 標準詳細図-2 |
| A-02 | エ事標準仕方書(2) | A-36 | 西棟 改修前 矩計図 |
| A-03 | | A-37 | 西棟 改修後 矩計図 |
| A-04 | 改修工事共通仕様書(2) | A-38 | 南棟 改修前 1階天井伏図 |
| A-05 | 改修工事共通任禄書(3) | A-39 | 南棟 改修前 2階天井伏図 |
| A-06 | 改修工事共通仕様書(4) | A-40 | 南棟 改修前 3階天井伏図 |
| A-07 | 付近見取図・配置図 | A-41 | 南棟 改修後 1階天井伏図 |
| A-08 | 1階平面図 | A-42 | 南棟 改修後 2階天井伏図 |
| A-09 | 2階平面図 | A-43 | 南棟 改修後 3階天井伏図 |
| A-10 | 3階平面図 | A-44 | 南棟 改修前・後 断面図 |
| A-11 | R階平面図 | A-45 | 南棟 標準詳細図 |
| A-12 | 東棟 改修前 1階天井伏図1 | A-46 | 南棟 改修前 矩計図 |
| A-13 | 東棟 改修前 1階天井伏図2 | A-47 | 南棟 改修後 矩計図 |
| A-14 | 東棟 改修前 2階天井伏図1 | A-48 | 東棟 1・2階建具キープラン |
| A-15 | 東棟 改修前 2階天井伏図2 | A-49 | 東棟 3階建具キープラン |
| A-16 | 東棟 改修前 3階天井伏図1 | A-50 | 東棟 建具表(1) |
| A-17 | 東棟 改修前 3階天井伏図2 | A-51 | 東棟 建具表(2) |
| A-18 | 東棟 改修後 1階天井伏図1 | A-52 | 東棟 建具表 (3) |
| A-19 | 東棟 改修後 1階天井伏図2 | A-53 | 西棟 建具キープラン |
| A-20 | 東棟 改修後 2階天井伏図 1 | A-54 | |
| A-21 | 東棟 改修後 2階天井伏図2 | A-55 | |
| A-22 | 東棟 改修後 3階天井伏図1 | A-56 | 南棟 2階建具キープラン |
| A-23 | 東棟 改修後 3階天井伏図2 | A-57 | 南棟 3階建具キープラン |
| A-24 | 東棟 改修前 断面図 | A-58 | 南棟 建具表 |
| A-25 | 東棟 改修後 断面図 | A-59 | OHP・マップハンガー |
| A-26 | 東棟 標準詳細図−1 | A-60 | ローリング計画図 |
| A-27 | 東棟 標準詳細図−2 | A-61 | 東棟 南面立面図 |
| A-28 | 東棟 標準詳細図−3 | A-62 | 東棟 西・南面立面図 |
| A-29 | 東棟 改修前 矩計図 | A-63 | 東棟 北面立面図1 |
| A-30 | 東棟 改修後 矩計図 | A-64 | 東棟 北面立面図 2 |
| A-31 | 西棟 改修前 1~R階天井伏図 | A-65 | 東棟 東・西面立面図 |
| A-32 | 西棟 改修後 1~R階天井伏図 | A-66 | 西棟 立面図 |
| A-33 | 西棟 改修前・後 断面図 | A-67 | 南棟 立面図 |
| A-34 | 西棟校舎 標準詳細図-1 | | |

| | 辺防音事業 工事標準仕方書(1) | | 3. | 換 気 計 画 | | 3.7.1 外壁の開口部 等の防音処理 | a 外壁の遮音性能の低下を防ぐため静止型全熱交換器の履 ント収納部を基準として外に面している方をいう。以下履 | | | | 「標準仕様書 ———————— | |
|---------------------|---|---------------------|--------------------------|--|---|------------------------|--|---------------------------|--------------------|---|---------------------------------|--|
| | I 防音工事標準仕方書 | 3.1 必要換気量及び | | 保育所、福祉型障害児入所施設、福祉型 | | 守の図音処理 | ント収納部を基準として外に固している力をいう。以下F 及び排気ダクトにロックウール吸音材又はグラスウール収 180度以上の屈曲する通気路を有する亜鉛めっき鋼板の | 及音材を内張りした | | 1. 総 | 則 | |
| | 1. 共 通 事 項 | | | 5 援施設並びに家庭的保育事業、小規模(5 5 施設、身体障害者福祉センター、職業能 | | | 180度以上の屈曲する通気路を有する亜鉛めっき鋼板のり付けるものとする。 |)消音ボックスを収 | 1.1 適用範囲 | 防音工事の仕様については、 | | |
| 1 根 拠 | 本仕方書は、「防衛施設周辺防音事業補助金交付要綱」(平成19年防衛省訓令第121号)第5条の規定に基づいて定めたものである。 | | は就労継続支援を行 | 冨祉サービス事業(生活介護、自立訓練、 うう事業に限る。)を行う施設及び幼保連 「設」という。)の施工室における必要換気 | 携型認定こども | | b 静止型全熱交換器の屋外側給気ダクト及び排気ダクトきいて8dB以上、500Hzにおいて15dB以上、2,000以上の透過損失を有する軟質適音シートを間隙なく巻くも | Hzにおいて24dB | | については、国土交通省大臣官 (建築工事編)」、「公共建築改修 事標準仕様書(電気設備工事編) | 多工事標準仕様書(建築工事編 | 編)」、「公共建築工 |
| 2 定 義 | 本仕方書は、防音工事の各種別の防音量の達成に必要な事項のみを示したも | | 外気量は、原則とし | 、て 2 0 m3 / h 人以上とする。ただし、選 関する法律(昭和 4 5 年法律第 2 0 号)に定 | 11. 11. 11. 11. 11. 11. 11. 11. 11. 11. | | c 防音処理をした静止型全熱交換器(以下「防音型空調換勢等の防音性能を確認するため、必要に応じて防音効果測別 | ₹装置」という。) | | 工事編)」、「公共建築工事標準化工事標準仕様書(機械設備工事 | 仕様書(機械設備工事編)」及 | ひぴ「公共建築改修 |
| | のである。 各工事種別の名称は、次表のとおりとする。 | | b 病院、診療所、即 | こついては、同法に規定される基準による カ産所、保健所、医療型障害児入所施設、 | 医療型児童発達 | | する。 | | | に特記仕様書等によるものとす | | |
| | 工 事 種 別 名 称 1 級 工 事 防衛省 1 級 防音工事 | | 老人介護支援センタ | 護施設、老人デイサービスセンター、特別 ヌー及び母子健康センター(以下「医療関係 | 系施設」という。) | 3.7.2 屋内側給・排 気口の消音 | 屋内側(熱交換エレメント収納部を基準として室内に面し 以下同じ。)給・排気ダクト及び屋内側給・排気口には、給 | ・排気音等を押さ | 1.2 設計図書の優先 順位 | 現場説明書(回答書を含む。) び標準仕様書の間において、そ | | |
| | 2 級 工 事 防衛省 2級 防音工事 3 級 工 事 防衛省 3級 防音工事 4 級 工 事 防衛省 4級 防音工事 | | 設備協会規格「病院 | 3.要換気量及び必要外気量は、一般社団活 設備設計ガイドライン(空調設備編)」の「 る最小風量のめやすによるものとする。 | | | えるための有効な消音ダクト、消音ボックス等を取り付ける | 5ものとする。 | | 第2位 特記仕様書 | が現場説明に対する質問回答 : | 等書 |
| 3 適 用 | 実施設計に当たっては、本仕方書から該当する事項を選出して行うものとし、 該当事項を列挙した特記仕様書を作成するものとする。 | 3.2 排気量 | | 気装置がある場合には、これによる排気 よう量となるよう計画するものとする。 | 量相当分を含む。) | | 4.空調計画 | | | 第3位 防音工事標準仕 第4位 設計図 第5位 標準仕様書 | ∶様書 | |
| | また、防音工事の標準仕方(以下「防音仕様」という。)以外の仕様については、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」、「公共建築立修工事標準仕様書(建築工事編)」、「公共建築立修工事標準 | 3.3 空気清浄方式 | | 原則としてエアフィルターによるものと)形式は自動巻取形又はパネル形とし、第 | | 4.1 室内温湿度条件 | a 教育関係施設の室内温湿度条件は、原則として次表によなお、温度保持における室内温度条件と吹出口温度のき標準とする。 | | 1.3 防音量等の測定 に対する協力 | エ事中又は完成後に、建築主 の設備の効果の測定を行う場合 | | |
| | 一 | | (AFI)の測定にお | いて70%以上とする。 「ルユニット、パッケージ形空調機及び3. | | | 冬季夏季 | | 1473 7 3 111173 | 2. 材料 | | ,, |
| | 仕様書(機械設備工事編)]等を準用するものとする。ただし、特別な事情に より、これら仕様書により難い事項については、補助事業者が地方防衛局長(東 | | 一の仕様によること | | | | 乾球温度(℃) 18~20 25~28 | | 2.1 吸音材料等 | ロックウール吸音材、ロック | | |
| ウルのたい充標 | 海防衛支局長を含む。以下同じ。)と協議の上、これを処理するものとする。 | | に規定するアルミニ | H 4000「アルミニウム及びアルミニウム ニウム板製又は鋼板製(防錆処理を施した・ | JIS G 3141「冷 | | 相対湿度(%) 40~70 | | | 音用あなあきせっこうボードは 適合するものとする。 | | |
| 定めのない音響 材料又は防音仕様 | 本仕方書に定めのない音響材料又は防音仕様を採用する場合は、理由、名称 構造、仕様、詳細図、見本、製造者名、日本工業規格(JIS規格)、材料検査成 績、音響特性(公的試験所、研究所等の試験成績書添付)等の必要事項を記載 | | 材を納めたもので、 | に規定する鋼板製をいう。以下同じ。)の 風圧によってろ材が容易に変形しないろ は原則として500mm×500mmとする。 | 材支持材を備え | | b 医療関係施設の室内温湿度条件は、原則として一般社E 設備協会規格「病院設備設計ガイドライン(空調設備編)」の | | | 種 | 別 密 度 kg/m? | 度 厚さ 吸音率 道 mm |
| | 例、自音句はCADDARONが、例えがサンロスが成績音が17.4つのと安予項と記載 した文書により、地方防衛局長の承認を受けるものとする。 | | 理を施した鋼板製ス | スはJISG 3192「熱間圧延形鋼の形状、寸 る形鋼製で堅固に製作し、着脱容易な構 | 法、質量及びそ | | 条件一覧表」の温湿度条件によるものとする。 なお、温度保持における室内温度条件と吹出口温度の急 | | | ロックウール ロックウー 吸音材 | ール吸音フェルト 40 | 25 0.7M |
| 図書の作成 | 本仕方書に基づく工事の設計図書は、全て横書きとし、A4版左とじで製本 するものとする。 | | また、必要に応じて | て洗浄装置を設置することができる。 | | | 標準とする。 | | | ロックウール化粧吸音板 | | 9 0.5M |
| | 2. 防 音 計 画 | 3.4 吹出音 | | 昏値は、水平に1m離れた点から1.2m こあるときは、床から1.8m)の位置にま いものとする。 | | 4.2 温•冷熱源 | 温・冷熱源は、施設の規模、施工室の規模、施工室の使用 考慮して設定するものとする。 | | | グラスワール 吸音材 グラスウー | ール吸音フェルト16K 16 ール吸音ボード48K 48 | + |
| I 所要防音量 | 各工事種別の防音量は次表のとおりとし、125½から4,000ktまでのオクタープパンドの中心周波数における内外音圧レベル差の平均値とする。 | | | 図書室、医務室、保健室及びこれに | 40dB (A) | 4.3 単一ダクト空調 方式 | a 単一ダクト空調方式は、同一時間帯に使用する施工室を を分けて、ゾーニングを行うものとする。 なお、個別制御の必要な施設及び施工室にあっては、技 | | | 吸音用あなあき せっこうボード φ 6-22 注:吸音率は、JIS A 6301 4 | | 9.5 0.3U 物質 |
| | 工事種別防音量 1級工事 35dB以上 | | 教育関係施設 | 類する室 | 45 40 (4) | | ーダクト換気方式(外気負荷処理を含む。)とファンコイル み合わせることができる。 | | 2.2 せっこうボード | せっこうボードは、JIS A 69 | | |
| | 2 級 工 事 30 " 3 級 工 事 25 " 4 級 工 事 20 " | | | その他の施工室 医師勤務室、学習指導室、集会室、 | 45dB (A) 45dB (A) | 4.3.1 送風方式 | 送風方式は、定風量(CAV)方式を原則とする。ただし、 の使用形態等により必要ある場合は、変風量(VAV)方式に | | | に適合するものとする。 料 | | |
| 2 適音構成計画 | 騒音防止を必要とする室(以下「施工室」という。)の所在する棟を遮音構成上の1区画となるよう計画する。 | | 医療関係施設 | 会議室、事務室及びこれに類する室 | 40dB (A) | 4.3.2 空調用ダクト | る。 空調用ダクトは、換気用ダクトを兼ねる。 還気ダクトは、 | 換気時と空調時の | 2.3 合 板 | せっこうボード 合板は、合板の日本農林規格 | 9.5 各(平成15年農林水産省告示 | |
| 3 建具の適音量 | 開口部の設計及び建具の選定に当たっては、開口部の占める面積、建具の構 造等を十分検討する。 各種建具の遮音量は、次表のとおりとする。 | 3.5 換気方式 | | - - ダクト換気方式又は個別分散換気方式と - 当たっては、建物の用途、地域、規模、 | | 4.4 個別分散空調方式 | 運転を考慮して排気ダクト系への切替えができるものとする 換気計画における個別分散換気方式(外気負荷処理を含む | 5 . | | 定する普通合板で、接着の程度 5mm以上のものとする。 | | |
| | 区分 建 具 別 遮 音 量 (平均値) | | 用する施工室の配置 による天井高さへの | 置状況、増築等既存換気方式との接続方法 D影響及び機器の維持管理等を総合的に表 | も、ダクトの設置 | 4.4 圆加力放至两力式 | ルユニット、パッケージ空調機又は小型空調機等を組み合材 この場合の防音型空調換気装置は、単独運転ができるもの | つせることができる。 Oとし、必要に応じ、加 | 2.4 せん孔合板 | a せん孔合板は、2.3に定める b せん孔合板は、孔内面に裁 | | |
| | 1 金属製一部二重気密建具(可動部(10)、固定部(10+5)) 35dB以上 2 金属製一部二重気密建具(可動部(8)、固定部(5+5)) 33 " | 3.6 単一ダクト換気 | 定するものとする。 | | 15.1 + 19.7 # T | | 湿装置を組み合わせたもの又は加湿装置が内蔵されたものと | : する。 | | る。 c 開孔率は、5%以上とする | ; 。 | |
| | 3 区分4の金属製気密建具(5)と木製気密建具(3)又は 金属製普通建具(3)の二重建、建具間吸音層付 33 " | 方式 カボ | 室に送風する。 | Rに設けた送風機により外気を取り入れタ D排気ガラリから廊下に自然排気の上、順 | | | 5. 機械室の防音防震計画 | | 2.5 揭示板用壁紙 | 掲示板用壁紙は、JIS A 6921 | 「壁紙」の規格品とし、掲示 | 示板用のものとする |
| | 4 金属製気密建具(5) 2.8 // 5 金属製気密建具(5) 2.5 // 2.5 // (2.5 // 2. | | クトを経て送風機! | こより屋外に排気する。 主、使用時間帯等により区分するものとし | | | 騒音規制法(昭和43年法律第98号)第4条第1項の規定 | 宮に基づき都道府 | | | | |
| | 6 金属製蓄通建具(3) 18 " 7 木製気密建具(3) 15 " | | | 備を有する施設にあっては、空調系統と | | | 県知事が定める規制基準(同条第2項の規定に基づき市町村 を定める場合には当該基準)に適合するよう、空調機、送風 | 機等の防音・防振 | | | | |
| | 備考:1 ()内の数値はガラス厚で単位はmm。2 遮音量は、125Hzから4,000Hzまでの1/3オクターブパンドの中心周波数における音響透過損失の平均とする。 | 3.6.1 給気ダクト | び鋼帯」に規定する亜 箇所に防火ダンパー、 | リとして亜鉛鉄板製(JIS G 3302「溶融亜鉛 鉛鉄板製をいう。以下同じ。)の低速ダク 防煙ダンパー又は風量調節ダンパーを割 ま、原則として鉄筋コンクリート造又は補 | 7トとし、必要 3.けるものとする。 | | の措置を施すとともに、必要に応じて、機械室の防音を行う | うものとする 。 | | | | |
| | また、金属製一部二重気密建具及び金属製気密建具(5)については、JIS A 1416「実験室における建築部材の空気音遮断性能の測定方法」に基づく試験結 | | ブロック造の壁体で関 | 目むものとする。 | | | | | | | | |
| | 果の音響透過損失値が次表の適音性能曲線を下回らないものとする。ただし、 区分1及び2の建具にあっては、1,250kz以上の各周波数帯における音響 | 3.6.2 排気ダクト | ト造又は補強コンク | 原則として屋内は亜鉛鉄板製とし、屋外は 7 リートブロック造とする。 | | | | | | | | |
| | 透過損失値が適音性能曲線の数値を下回る場合、その差の合計が6dB以下の ときは、差し支えないものとする。 (dB) | | | 必要に応じてロックウール吸音材又はク 5、路90度以上の屈曲を有する消音部を取 | | | | | | | | |
| | 音 30 | 3.6.3 消 音 | | ≶等の消音器及び吸音材の内張り等とする スはグラスウール吸音材とし、強風により | | | | | | | | |
| | 第一 | 3.6.4 給排気口 | a 給気口は、原則と | こしてユニバーサル形とし、気流方向の訓 | 整が自在である | | | | | | | |
| | 過 20 | | | 原則として出入口建具又は施工室の廊下 | 「側の壁体に設置 | | | | | | | |
| | 通 20 損 失 15 | | | は、ロックウール吸音材又はグラスウール) 屈曲する通気路を有する箱形とし、施工 | | | | | | | | |
| | 125 250 000 1000 2000 4000 | | 体に設置するものと | | | | | | | | | |
| ★ 金属製気密建具 | 周 波 数 a 窓建具は、原則として開放部を片引きとし、その開放面積は開口面積の5 | | 位置及び個数を定め | | | | | | | | | |
| | 0%以内とする。 b 排煙口を必要とする場合には、建築基準法(昭和25年法律第201号) に規定する面積を有し、その遮音量は対応する建具のそれを下回らないもの とする。 | 3.7 個別分散換気方式 | 装置は、壁・天井等 b 換気装置は、熱3 | 7 リート面を貫通するダクト引き換気装置 手を利用して有効な換気ができる場所に影 5 換エレメントを組み込んだ静止型全熱交 食効率は強運転時において70%以上とす | 设置する。 ₹換器を使用する | | | | | | | |
| 5 ガラスブロック | 開口部に使用するガラスブロックは、JIS A5212「ガラスブロック(中空)」 に合格したものであって、その遮音量は対応する建具のそれを下回らないもの | | J \ mm /x A E | The state of the s | | | | | | | | |
| 6 室内吸音構成計画 | とする。 施工室の内部仕上げは、別表「設計計画表」によるものとする。 | | | | | | | | | | | |
| | | l | <u> </u> | | | 備考 | 1 | 承認覧 | 工事名称 | 1. | 図面名称 | |
| - | | | | | | | | ļ I | 仲津小学校空調 | 整備工事 | 防衛施設周辺防音事業工 | 工事標準仕万害(|
| , | | | | | | | | | | | 防衛施設周辺防音事業工 尺度 | □ ■ 図面番号 |

| No. 2 | 平成27年4月 防衛省地万協力局版より | | |
|--------------------------|---|-----------------------------|--|
| 防衛施設周 | 目辺防音事業 工事標準仕方書(2) | | 加したものをいう。)等による試験報告書等で遮音性能を長期間担保できる ことが確認されたものとする。 |
| 3.1 木 工 事 3.1.1 壁胴縦組 | 3. 工事 仕様 吸音用あなあきせっこうボード、合板、せん孔合板の下地の壁胴縁組は、原則として45mm×45mmの垂木材を455mm間隔に水平に取り付け、垂直に45mm×45mm/2の責材を455mmに表面をそろえて組むものとする。壁 胴級のコンクリート壁への添付け工法は、「建築工事監理指針「不巻」」[国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)の壁及び天井下地に関する事項によるものと | | b 金属製気密排煙窓建具は、排煙口として必要な機能を有するとともに、可動部2箇所以上で引き寄せ固定できる機構とする。 c 金属製気密出入口建具の気密機構は、内外より操作及び施錠が可能なレバーハンドルに連動する框に隠ぺいしたグレモン締りにより、建具を出入口枠に固定できる構造とし、建具の固定箇所は、閉鎖時において、開き戸にあっては3箇所以上、引き戸にあっては6箇所以上、同引き戸にあっては9箇所とする。 なお、グレモン締りは、建具の開放時において、原則として作動しない機 |
| 3.2 金属製建具工事 3.2.1 材 料 | する。 金属製気密建具に使用する材料は、次表に掲げる規格に適合するものとする。 | | 構とする。また、両開き戸については、片方の扉は上げ落し及び必要に応じてレパーハンドルを設ける。 d 金属製気密建具の枠と可動部のすき間は、有効なパッキングにより、四周 が完全に密着して気密性が十分保てる構造とする。 |
| | 鋼製気 枠、戸及びア 鋼 JIS G 3101「一般構造用圧延鋼材」JIS G 3131 「熱間圧延軟鋼板及び鋼帯)及びJIS G 3141 「冷間圧延鋼板及び鋼帯」に規定する形鋼及 び鋼板又はこれらにりん酸塩その他の処理をし | | e 金属製気密出入口建具で両面フラッシュの場合には、表面板の厚さを各々 1.6mm以上とし、框及び表面板内部にロックウール吸音材又はグラスウール吸音材を充填する。 |
| | たもの。 JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」に 規定する鋼板で、亜鉛の最少付着量は両面で 120g/㎡以上のもの。 | 3.2.6 建具廻りの モルタル充填 | 建具回りのモルタル充填は、内外から十分に行うものとする。また、くつづり、下枠等のモルタル充填の困難な箇所は、あらかじめ裏面に鉄線等を取り付けておき、モルタル詰めを行った後、建具等を取り付けるものとする。 |
| | JIS G 3131又はJIS G 3141に規定する鋼板にJI S H 8610「電気亜鉛めっき」に規定するEp-Fe/Zn 2以上の処理をしたもの。JIS G 3302「溶散亜鉛 めっき鋼板及び網帯J及びJIS G 3313「電気亜鉛 | 3.3 木製建具工事 3.3.1 材 料 | 木製気密建具に使用する樹種は、杉、ひのき、ラワン等で狂いの少ない乾燥 材とする。 |
| | めっき鋼板及び鋼帯」に規定する鋼板で上記に 適合するもの。 ステン JIS 6 4304 「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」 | 3.3.2 製 作 | a 木製気密建具の見込寸法は、窓建具は33mm以上、出入口建具は36mm以上とし、戸当たり部分には戸じゃくりを施すものとする。 b 木製気密建具は、框回りに必要以上のすき間が生じないよう原寸実測により製作するものとする。 |
| | レス鋼 に規定するSUS304。 JIS G 4305 「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」 に規定するSUS304。 アルミ 枠及び戸 アルミJIS H 4100 「アルミニウム及びアルミニウム合 | | c 木製気密出入口建具でフラッシュドアとする場合には、表面板の厚さが5. 5mm以上とし、框戸とする場合には、鏡板の厚さが9mm以上の合板とする。 なお、樹種は、ラワン又はしなとする。 |
| | ニウム ニウム 金の押出形材」に規定するA6063S。 合金製 JIS H 40001アルミニウム及びアルミニウム合 気密建 金の板及び条」に規定するA1100P、A1200P、A30 Q3P、A3203P、A5005P、A1050P又はA5052P。 | 3.3.3 気密締金具 | a 気密緒金具は、引達い木製気密建具を単純な動作により左右に 2 mm程度、 召合せ部分において前後に 3 mm以上移動させる機構を有するものとする。 b 材料は、砲金製とし、特に摩耗の激しい部分は、焼入鋼を使用するものとする。 |
| | 枠及び戸の補 | 3.3.4 気密パッキン | c 気密締金具は、作動によって木製気密建具の戸当り及び召合せ部分が完全 に密着するような位置に、無理の生じないよう取り付けるものとする。 気密パッキングは、植毛ゴム又はこれと同等以上のゴムパッキングとする。 |
| | ステン JIS G 4305に規定するSUS304。 レス鋼 鋼 JIS G 3131又はJIS G 3141に規定する鋼板を用 | グ 3.3.5 気密パッキン | 植毛用繊維はビスコース又はナイロンを使用し、容易に脱毛しないものとし、 温度変化、飽水等に特に耐久性の大きいものとする。 a 気密パッキングは、木製気密建具にあっては、戸当り及び召合せ部分は施 |
| | い、アルミニウム合金との接触腐蝕を起こさないように表面処理をしたもの。 JIS 6 3302に規定する鋼板で、亜鉛の最少付着量は両面で120g/㎡以上のもの。 | グ取り付け | 錠しない状態においてすき間を生じないよう下框部分は施錠した状態においてすき間を生じないようまた木製気密出入口建具にあっては、戸当り、召合せ及び下框部分とも施錠しない状態においてすき間が生じないよう取り付けるものとする。 |
| | アンカー 銅 JIS G 3131又はJIS G 3141に規定する鋼板を用い、アルミニウム合金との接触腐蝕を起こさないように表面処理をしたもの。 | 3.4 ガラスエ事 | b 植毛ゴムパッキングの取り付けは、接着部分全面に接着剤を塗布した上、押え金により取り付けるものとする。 |
| 3.2.2 加工及び表面 処理 | 金属製気密建具の加工及び表面処理は、JIS A 4702「ドアセット」又はJIS A 4706「サッシ」に定めるもののほか、次のとおりとする。 a 鋼製気密建具の切断、溶接、ビス止め等の材料損傷箇所は、ジンクリッチペイントなどにより処理し、JIS K 5629「鉛酸カルシウムさび止めペイント」 | 3.4.1 ガラス止め | a 銅製気密建具にあっては、シーリング材、アルミニウム合金製建具にあっては、シーリング材又はガスケット止めとし、気密性が十分保てるようには め込むものとする。 b 木製気密建具にあっては、敷パテの上、パテ止め又はパテ飼いによるはめ 込みとする。 |
| | に規定する塗料又はこれらと同等以上のさび止め性能を有する塗料2回塗りとする。 b アルミニウム合金製気密建具の被膜処理は、JISH8602「アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化塗装複合被膜」に規定する被膜の種類B又はこれと同等以上の性能をもつ表面処理を施すものとする。 | 3.4.2 工 法 3.5 内装工事 | シーリング材の充填は、クッション材を敷込み、ガラスをみぞの中央に保ち 行う。特に、ハンドルの裏側の部分は注意して充填する。 |
| 3.2.3 金 具 | 金属製気密建具に使用する付属金具は、見え掛り部は村質をJIS H 5120「銅 及び銅合金鋳物」に規定する黄銅鋳物、JIS H 5301「亜鉛合金ダイカスト」に 規定する亜鉛合金ダイカスト又はJIS H 5302「アルミニウム合金ダイカスト」 | 3.5.1 グラスウール 吸音ボード張 り | グラスウール吸音ボードは、システム天井により張り上げるものとする。 |
| | に規定するアルミニウム合金ダイカストとし、JISH 8617「ニッケルめっき及びニッケルークロムめっき」に規定するニッケルークロムめっきを施すものとする。 | 3.5.2 成形板張り | ロックウール化粧吸音板は、厚さ 9 . 5 mmのせっこうボードを下地材として 張り上げるものとする。 |
| | 特に、摩耗運動の激しい部分は、JIS H 3250「銅及び銅合金の棒」に規定するC2600、C2700又はC2800の銅合金、JIS G 4051「機械構造用炭素銅鋼材」に規定するC450天はS480の焼入銅或いはJIS G 4303「ステンレス銅棒」又はJIS G 4305「冷間圧延ステンレス銅板及び銅帯」に規定するSUS304のステンレス銅 | 3.5.3 下地合板張り | 掲示板用壁装材下地とする場合の合板張りは、実付けにより継ぎ目が平滑に なるようにし、釘は頭つぶしの上、合板表面を損傷しないように打ち付けるも のとする。 |
| | を使用するものとする。 取り付けねじ類は、JISG 4303「ステンレス鋼棒」、JISG 4308「ステンレ ズ鋼線材]、JISG 4314「ぱね用ステンレス鋼線]苦しくはJISG 4315「冷間 圧造用ステンレス鋼線]に規定するステンレス鋼又はニッケルークロムめっき | 3.5.4 掲示板用壁装 材張り | 掲示板用壁装材張りは、下地合板の継ぎ目を平滑にし、釘頭は二ス等で防禁処理をする。下地合板全面にシーラー等であく止め処理をし、継ぎ目をパテ処理の上、斑、しわ等のないように張り上げるものとする。 |
| | を施したJIS G 3505「軟鋼線材」に規定する軟鋼線材を使用するものとする。なお、アルミニウム合金製気密建具に使用するねじ類等には、接触腐蝕を起こさない材料を使用するか又は表面処理を施したものを使用するものとする。なお、防火設備に使用する引き寄せハンドル及び受にステンレス鋼を使用する場合は、JIS G 5121「ステンレス鋼鋳鋼品」に規定するステンレス鋼鋳鋼品とする。 | 3.6 維工事 3.6.1 建具間吸音層 | a 建具間吸音層は、外壁に設けるものとし、内外建具間隔は250mmから3 00mm程度とするものとする。 b コンクリート面に接して設ける場合以外は、厚さ9.5mmのせっこうボードを下地とし、その上に厚さ25mmのロックウール吸音材又は厚さ40mmのグラスウール吸音材を張り、表面には2.4に規定するせん孔合板を張るものとする。 |
| 3.2.4 性 能 | 金属製気密建具の性能は、JIS A 4702又はJIS A 4706に定める耐風圧性の等級S-5以上、気密性の等級A-4及び水密性の等級W-5以上に適合するものとする。 | 3.6.2 消音自然換気 口 | a 消音自然排気口は、厚さ9.5mmのせっこうボードを、木材を骨子として、 空気の出入口を除きすき間なく張り、内面に厚さ25mmのロックウール吸音 材又は厚さ40mmのグラスウール吸音材を#20程度の亀甲金網で押さえて |
| 3.2.5 気密機構 | a 金属製気密建具の気密機構は、建具の可動部に設けた2個の引き寄せハンドルとこれに連動する框に隠ぺいした連動締により、建具を窓枠に固定できる構造とする。 建具の固定箇所は閉鎖時において、可動部の高さが1.2m未満のものに | | 取り付けるものとする。 b 空気の出入口には、排気量を考慮して適切なルーパーを設けるものとする。 ルーパーは脱着可能な構造とする。 |
| | 歴具の固定箇所は閉鎖時において、可動部の高さが1.2 m未満のものに あっては4箇所、1.2 m以上のもの及び1.2 m未満でも気密保持のため特 に必要なものにあっては6箇所とする。 ただし、区分5の金属製気密建具の気密機構は、引き寄せハンドルとこれ に連動する框に隠べいした連動締により、建具を窓枠に固定する構造とする か、又は開閉繰り返し試験(JIS A 1550「サッシの開閉繰り返し試験方法」 に規定する開閉操作に、クレセントが掛かる状態まで建具を閉じる条件を追 | 3.6.3 ガラリ排気口 | 施工室に設けるガラリ排気口は、排気量を考慮して適切なルーパーを設ける ものとする。 |
| 1 | に MCC y も 開闭保TFに、ソレゼノトが倒かる 认感まじ 建具を闭しる 余件を追 | | |

別表設計計画表

| | | . EC 0. | | 工事 | 種 | | | 1 | 級 | I | 事 | | | | 2 | 級工 | 事 | 3 | 級 | I | 事 | 4 | 級 | I | 4 |
|-----|-----|---------|----------|------------------|--------|--|-------|-------|------------|--------|------------------------|---------------------------------|---------------------------|-----------|------------------|------------------|----------|------------|--------|-----|------|------|----|----|--------------|
|) 開 | | 施工 | □室~ | 外部 | 間 | 34の金属 及音層十木 製普通建具 | 製気密建 | | | 重気器製気器 | 密建具若 密建具(5) 机密建具 | 分2の金 しくは区)十建具間 (3)又は金 | 分4の金 吸音層 | 属 月 | 区分 4 0. 具 (5) | 金属製 | 复気密建 | 区分 5 具 (5) | | 属製金 | 気密建 | 金属製 | | 建具 | Į (3) |
| | | 施工 | □室~ | 廊下 | 木具 | 型気密建具 3) | (3)又は | 金属製普 | 善通建 | | | | | | 普 | 通 | 仕 | Ŀ | f | | | - | | | |
| 部 | | 廊 | 下~5 | 卜部 | Z. | 計4の金属 | 製気密建 | 具 (5) | | 重気器製気器 | 整建具若 整建具(5) 机密建具 | 分2の金 しくは区)十建具間 (3)又は金 | 分4の金 『吸音層 - | 属 月 | 区分 4 の 具 (5) | 金属製 | 划 気 密 建 | 区分 5 具 (5) | | 属製物 | 気密建 | 金属製 | 普通 | 建具 | Į (3) |
| 天 | 施工室 | | 特別 管理 | 教室 教室 室 マー | 畳 | っこうボー 女きの施工 | | | | | | | 、講堂に | おいて | は、グラ | ラスウ・ | ール吸音 | すボード(| 40) 仕. | 上げる | として | 差し支え | ない | 。ま | <i>t</i> : 、 |
| 井 | | 廊 | | 下 | | さっこうポ レ化粧吸音 | | i)+ロッ | ックウ | 吸音用ード(| | きせっこ | うボード | (9.5) (Ji | 割囲平も | tっこ [・] | うボ | | | 普 | 通 | 仕 上 | げ | | |
| | | | プ | 小壁 | | √孔合板(! 重仕上げと | | | | あきせ | っこうれ | ∜− ۴ (9. | 5)。ただ | し、畳 | 敷きのカ | を工室! | は、 | | | | | | | | |
| Pŝ | 至 | 別 | ペレ | 中壁 | 合 | ī (5.5)+ | 掲示板用! | 壁紙。た | :だし、 | 畳敷き | の施工室 | 置は、普通 | 重仕上げる | :して差 | し支え | ない。 | | 4 | | 普 | 通 | 仕 上 | げ | | |
| 壁 | × | 教室 | | 腰壁 | 普 | 重仕上げ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 齟 | 章 理 | 諸 | 室 | 壁普 | 重仕上げ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 廊 | 下 | 壁 | | | | | | | | ; | 普 通 | 仕 | £ | げ | | | | | | | | | |
| | 柱 | | は |) 型 | | | | | | | | : | 普 通 | 仕 | 上 | げ | | | | | | | | | |
| | | 給 | | 気 | 送 | 1.機による | 強制給臭 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 換気 | | 排 | | 気 | 下 す | として、 - 自然排気 - 3 ダクトを - 小排気 | の上、消 | 音部分 | を有 | 原則と | こして、 | ガラリに | より廊下 | に自然技 | 非気の」 | 上、消 | 音部分を | ∶有するタ | (クト | を経っ | て排風も | 幾により | 屋外 | へ排 | 気 |
| 空 | | 除 | | 湿 | 冷 | 『除湿方式 | とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 調 | | 湿 | 度(| 呆 持 | 原 | として温 | 風暖房方 | 式とす | る。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | _ | | | | E | 画黒板側は | 、特別σ. | 場合を | 除き音 | 響材料 3 | 又は工法 | を用いな | い。 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | Ŧ | ‡吸音材は | 、はり型 | を除外 | した部 | 分に取り | り付ける | 0 | | | | | | | | | | | | | |
| | _ | | | | 柱 | 型、小壁に | ついては | 、工場 | 成型品 | 以外の草 | 吹質材料 | を使用し | ない。 | | | | | | | | | | | | |
| | ₹ | | Ø | 他 | | 「室又は廊 以上とす | | に接す | る壁体 | は、原見 | 則として | 鉄筋コン | クリート | 150mm (1 | 仕上げる | を含む | <u> </u> | | | | | | | | |
| | | | | | | | • 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

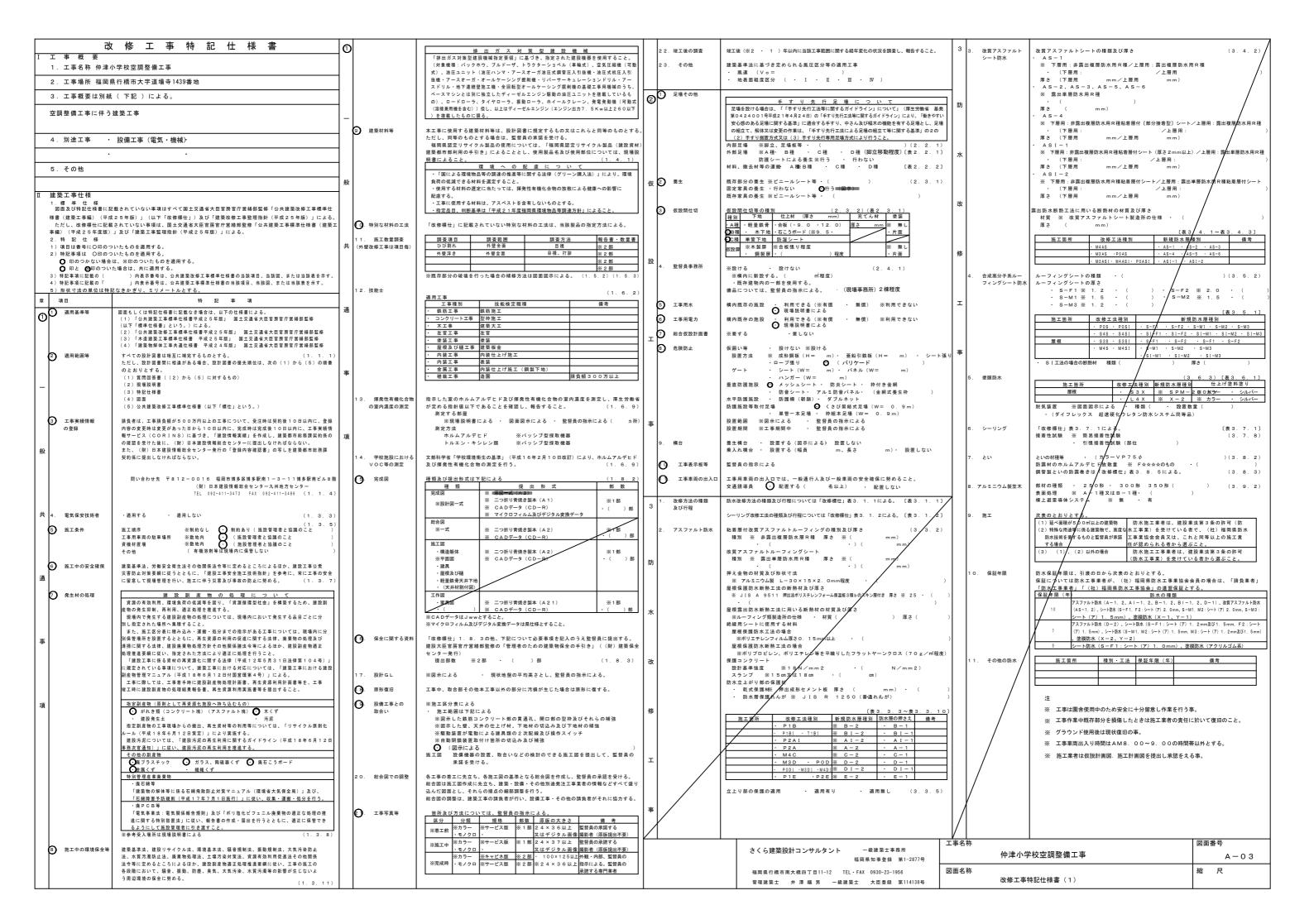
(備考)1 表中建具の区分は、Iの2の2、3建具の遮音量の表中の区分を示す。 2 表中()内数字は、建具にあってはガラスの厚さを、その他の材料にあってはその厚さを示す。(単位はmm)

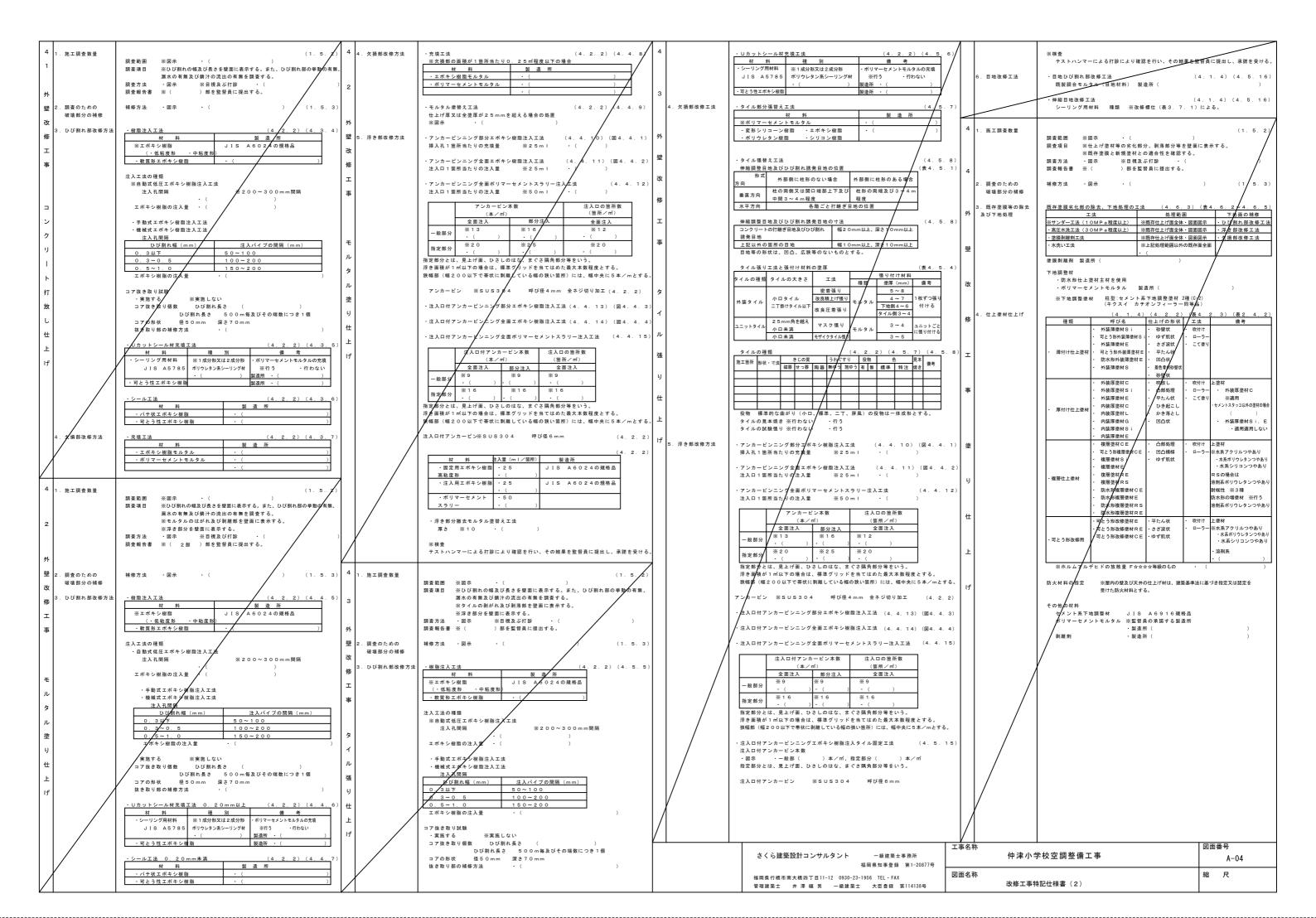
(2)医療関係施設(鉄筋コンクリート造等)設計計画基準

| 施 | <u></u> エ箇 | 所 | _ | I 4 | 事種別 | 1 級 工 事 2 級 工 事 3 級 工 事 4 級 工 事 |
|---|---------------|---|---|-----|-----|--|
| | 外 | 部 | 開 | П | 部 | 区分1及び区分2の金属製一部二重 気密建具若しくは区分4の金属製気 密建具 (5) 十建具間吸音層十木製気 密建具 (3) 又は金属製蓄通建具 (3) |
| | 天 | | | | 井 | せっこうボード (9.5) 十ロックウール化粧吸音根 (9)。ただし、畳敷きの施工室及び手術室、レントゲン室等の特殊な室は、普通仕上げとして差し支えない。 |
| | | | 壁 | | | 普 通 仕 上 げ |
| 換 | | 給 | | | 気 | 送風機による強制給気 |
| 気 | Г | 排 | | | 気 | 原則として、ガラリ等により廊下に自然排気の上、消音部分を有するダクトを経て、排風機により屋外へ排気 |
| 空 | | 除 | | | 湿 | 冷却除湿方式とする。 |
| 調 | | 温 | 度 | 保 | 持 | 原則として温風暖房方式とする。 |
| | | | | | | 天井吸音材は、はり型を除外した部分に取り付ける。 |
| | そ | | Ø | | 他 | 柱型、小壁については、工場成型品以外の軟質材料を使用しない。 |
| | | | | | | 施工室又は廊下と外部に接する壁体は、原則として鉄筋コンクリート 150m(仕上げを含む厚さ)以上とする。 |

(備考) 1 表中建具の区分は、Iの2の2、3建具の迄音量の表中の区分を示す。 2 表中())内数字は、建具にあってはガラスの厚さを、その他の材料にあってはその厚さを示す。(単位はmm)

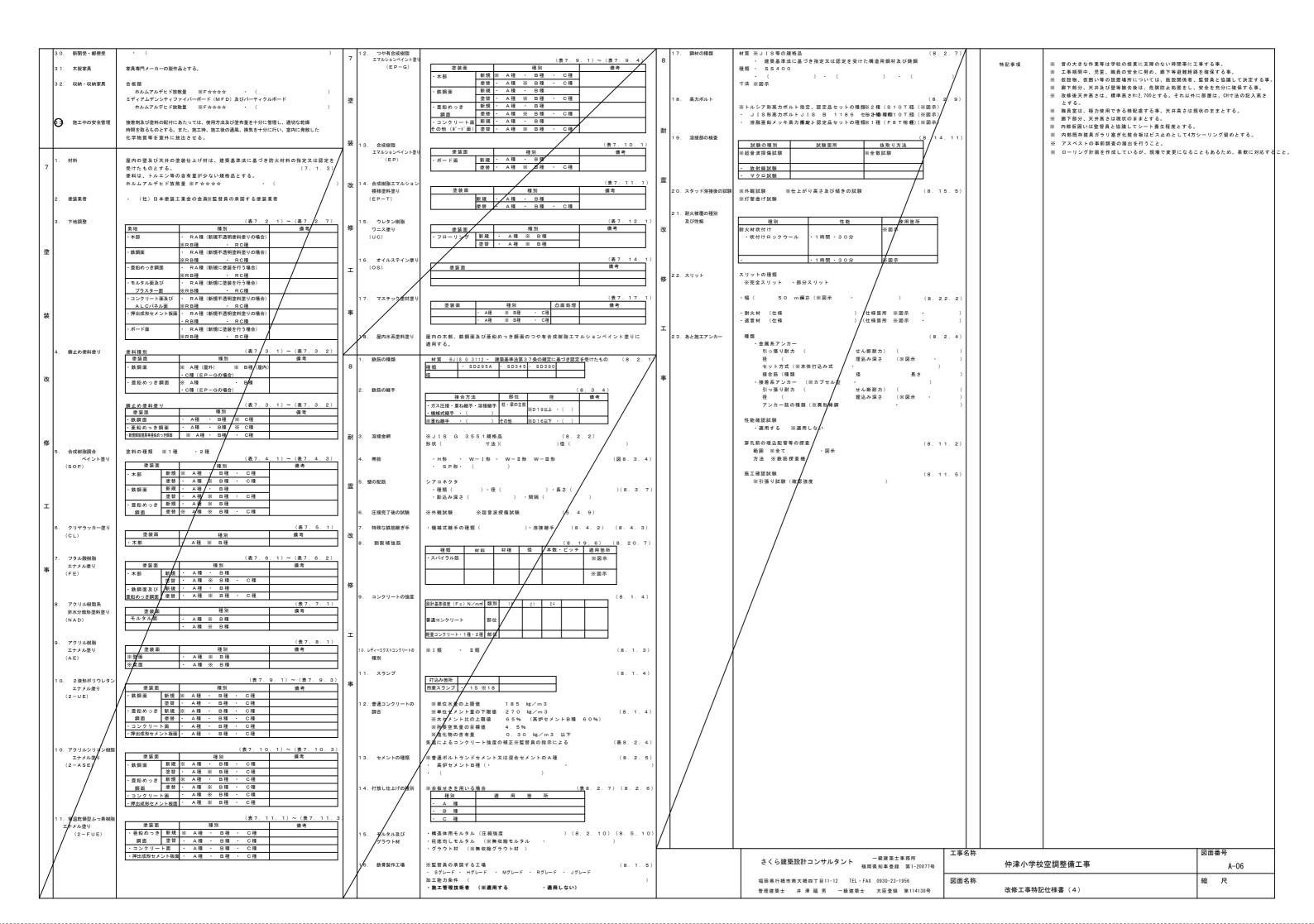
| | 考 | 承認覧 | 工事名称 仲津小学校空調整備工事 | 図面名称 防衛施設周辺防音事業工事 | ■標準仕方書(2) |
|---|---|-----|--|----------------------|-----------|
| L | | | さくら建築設計コンサルタント - 級建築士事務所 | 尺度 | 図面番号 |
| | | | 福岡県知事登録 第1-20877号 | | A-02 |
| | | | 福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL·FAX 0930-23-1956 管理建築士 井澤福男 一級建築士 大臣登録 第114138号 | 日付 | 7. 02 |

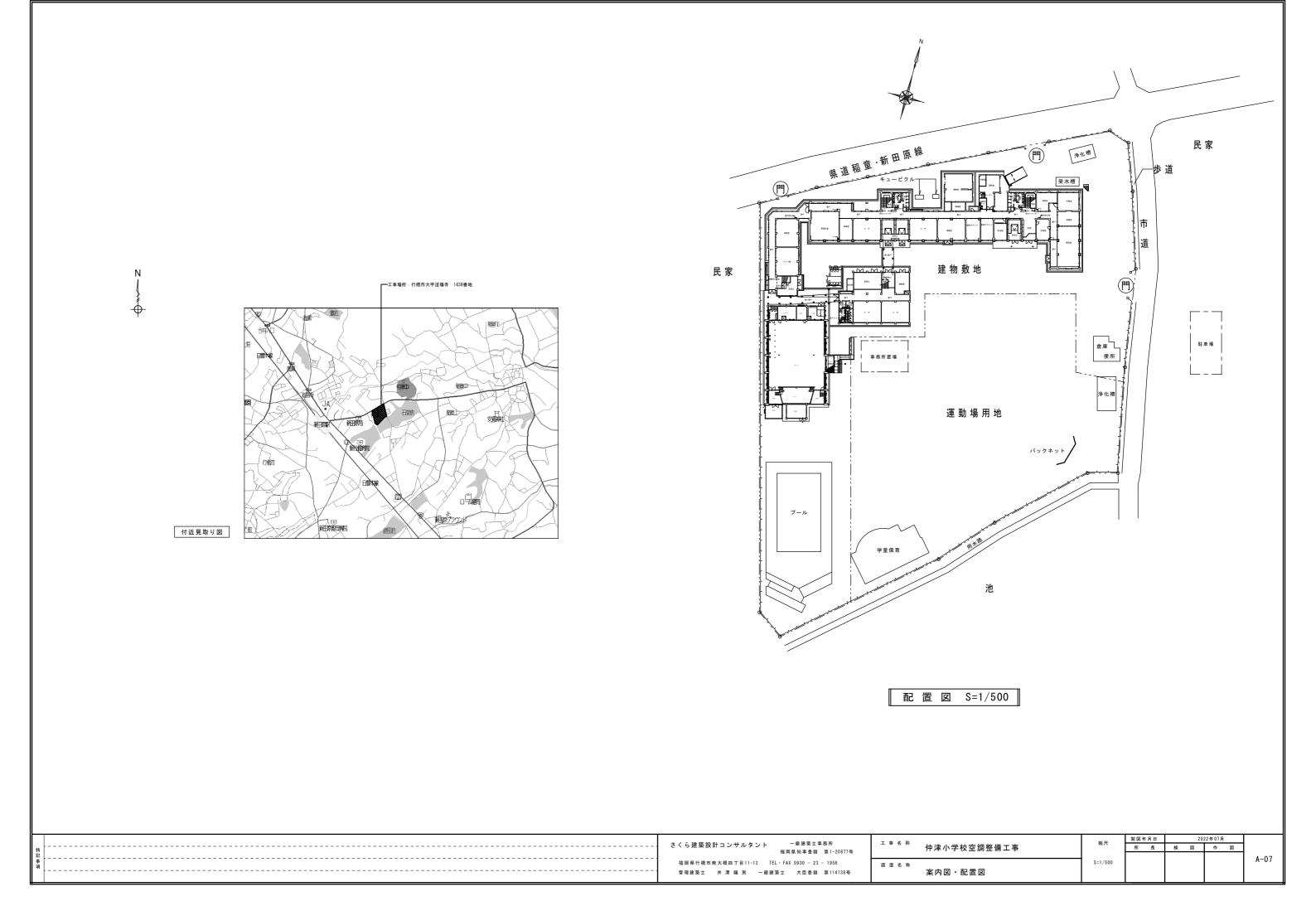


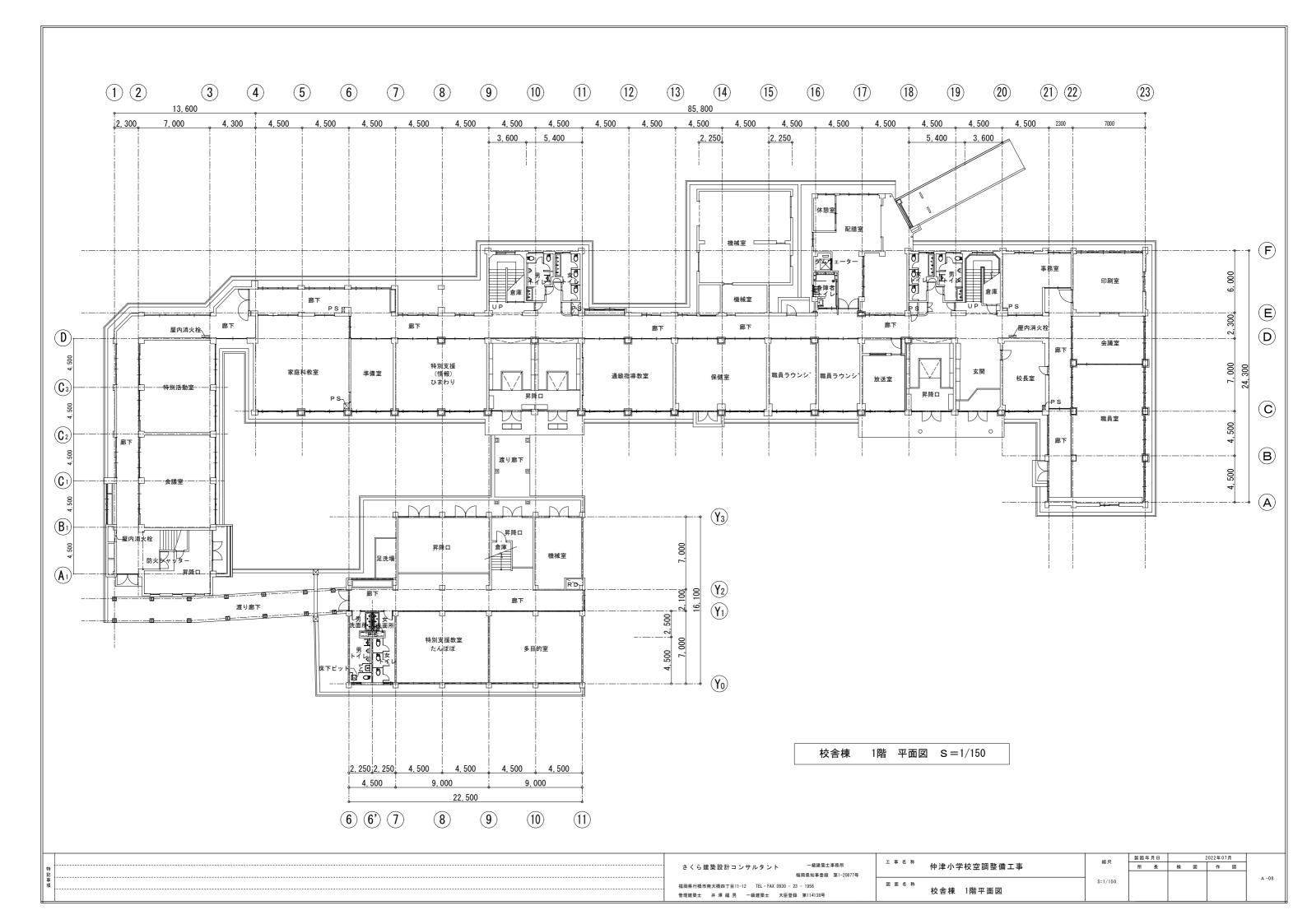


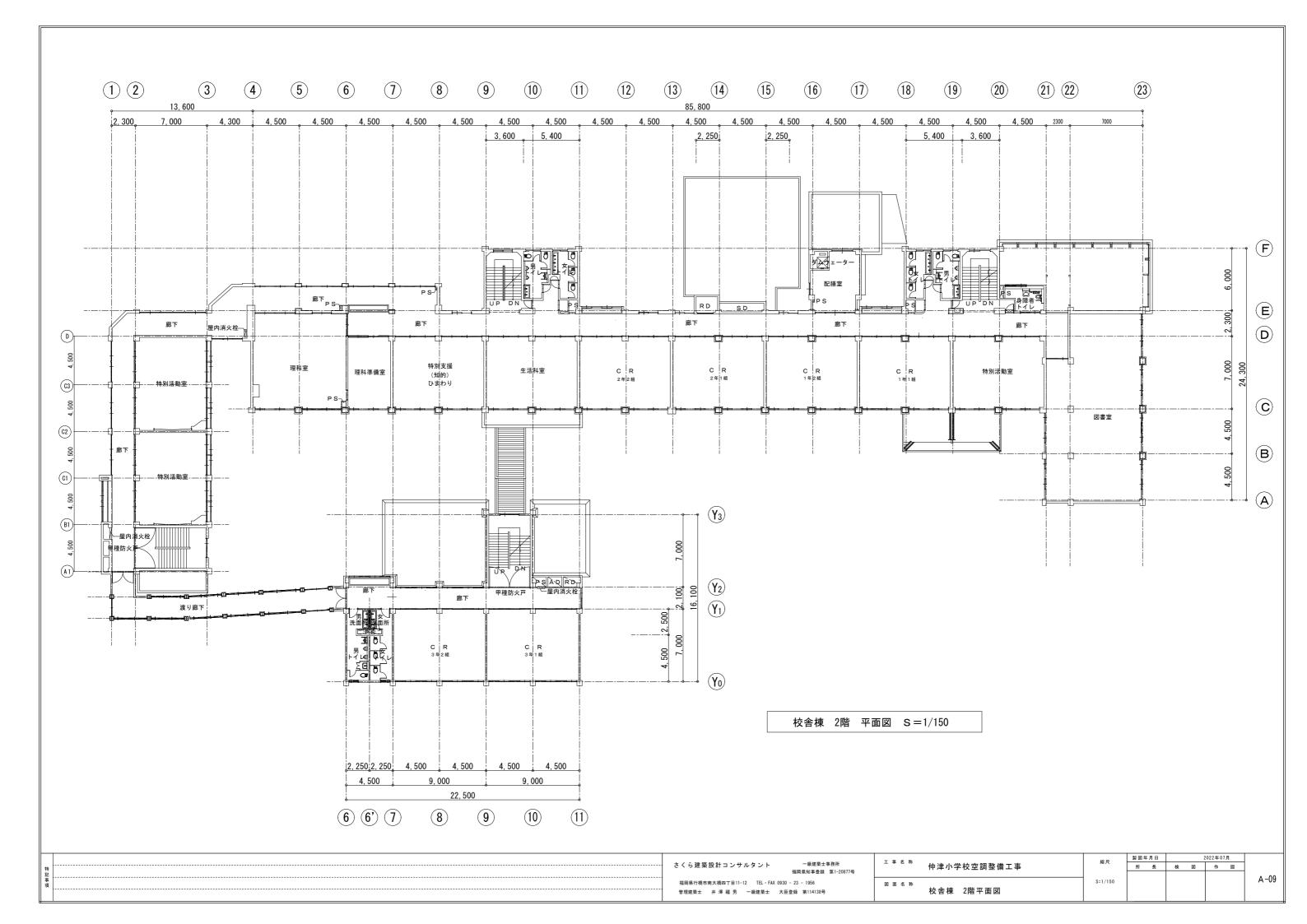
※この項より建築工事標準仕様書

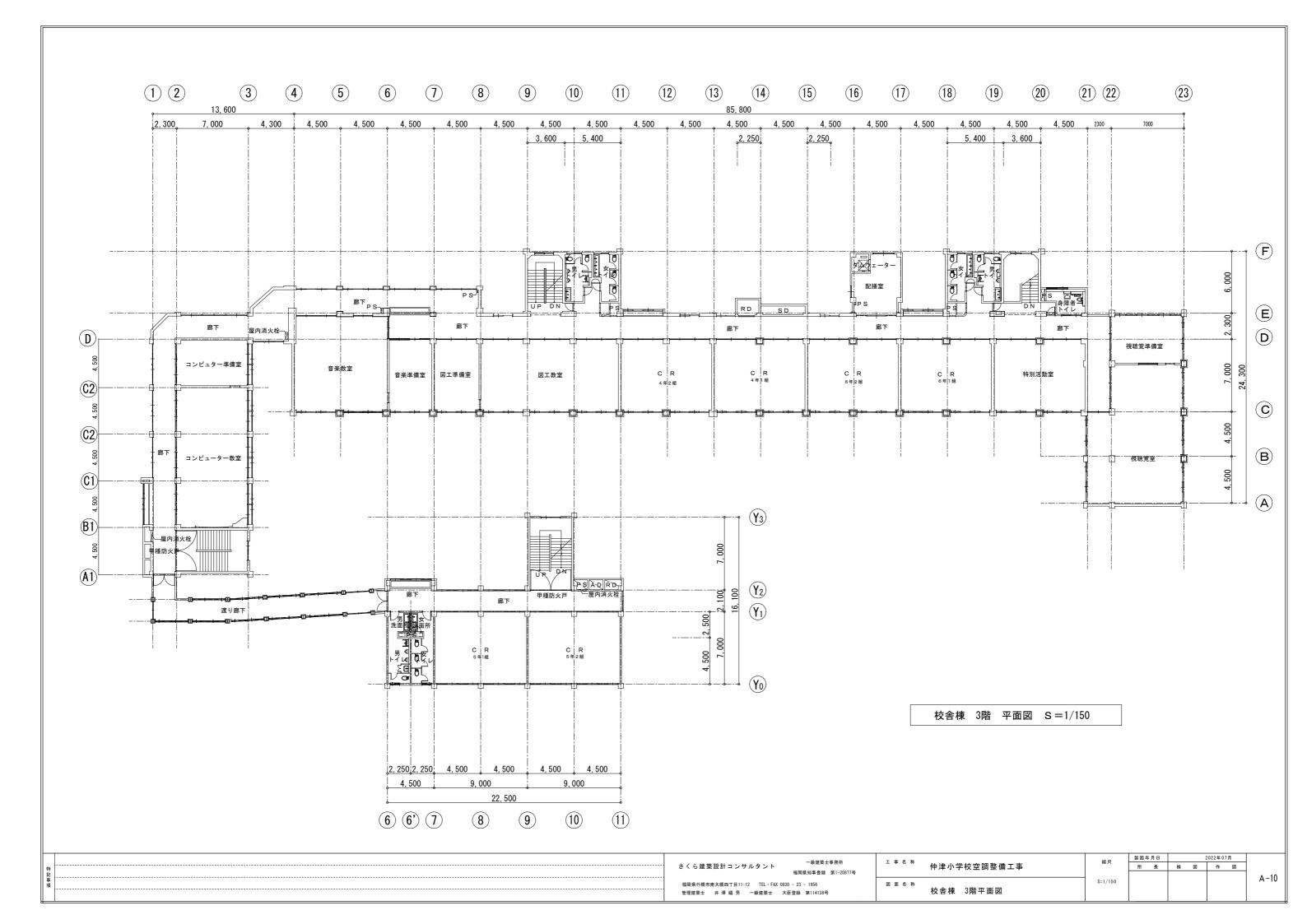
| | | | | | - の頃より建業. | | | | |
|------------------|--|---------------|--|--------------|-----------------------|--|-------------------------|--------------------|--|
| 5 1. 改修工法 | 既存建具を新規金属製建具に改修する場合の工法 (5.1.3) 6 かぶせ工法 撤去工法 | 6. カーペット敷き | 織りじゅうたん (6. 9. 2) (6. 9. 3) (6. 9. 4) (表6. 9. 1) (表6. 9. 2) 種別 織り方 パイルの形状 色柄 備 考 | 6 15. | 断熱材 | ・打込み断熱材 「19.9.2 材 種 種 類 厚 さ | <u> </u> @ | 6. 階段手すり | 形式 径又は幅 笠木受付 備 考 |
| 2. アルミニウム製建具 | (5. 2. 2~4) [表5. 2. 1] [表5. 2. 2] | | ・ A種 ※三越織り ※カットパイル ※無地 ・防虫加工品 ・ B種 ・ () ・ループパイル ・ 模様 人体帯電圧 | | | ※ポリスチレンフォーム保温板 ※B類2種b ・() ・ 25 ・() ・ B類2種b (接地部分) | | | - O型 - 40Φ~50Φ ※アルミ押出型材 ・ (|
| 2. ブルマーブム表定共 | 種別 外部の面する建具 内部建具 1 | | ** C種 ・() ※3 k w 以下・ () | | | ・ 硬質ウレタンフォーム・ 1種2号 ・ () ・ () | ╛╽┈╽ | | · C型 · 48~55 ※鋼材 |
| | ※ 普通サッシ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ () ・ 防音サッシ 性能 () | | 下敷き材 ※反毛フェルト(JIS L 3204)第2種2号(厚8) | - | | 施工箇所 ※現場発泡工法に示された施工箇所以外の箇所 | 3 | | • 62~65 |
| | ・ 断熱サッシ 性能 ()) | | タフテッドカーペット (6.9.2) (6.9.3) (6.9.4) (表6.9.2 |) | | • (|) : | 7. 床目地棒 | 床仕上の異なる箇所には目地棒を入れる。 「20. 2. 7」 |
| | 表面処理 · A-1種 · A-2種 ※ B-2種 · () ※C-1種 · C-2種 | | パイル形状 パイル長 エ 法 備 考 ・ カットパイル ※5~7 ・() ※全面接着工法 人体帯電圧 | 内 | | ・ 現場発泡断熱材(吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材) 「19.9.3 難燃性 ※3級・2級 | 山内 | | ※ステンレス製 6 × 1 2 ・ ステンレス製 4 × 1 2 ・ 黄銅製 4 × 1 2 |
| 3. 網戸 | ※ 外面納まりの可動式・ ()(5. /2. 3~4) | | ・ マルチレベルループ ※4~6 ・() ・グリッパー工法 ※3kw以下 ・() | | | 厚さ・2・5 () | | 3. 黒板及びホワイト | ※福岡県黒板工事特記仕様書の項目を適用する。 「20. 2. 8」 |
| 建 | 網の材種 ※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス 🤾 🔼 | | ・ レベルループパイル ※4 ・ () ・ カット、ループ併用 ・ () | 装 | | 施工箇所 ※窓回り等の断熱補修部分 ・ (上記製品はノンフロン製品を使用するものとする。 | 装 | ボード | ・図示による |
| 4. 鋼製建具 | 簡易気密型ドアセットの性能値 (5.4.2) | | タイルカーペット(6. 9. 2) (6. 9. 3) (6. 9. 4) (表6. 9. 2) | 26 | | | , | 9. 鏡 | 緑 ※なし ・ あり () 「20.2.9」 |
| | ※適用する (※A -・3) 適用しない 亜鉛めっき銅板のめっき付着量 ※Z12又はF12 ・ () (5.4.3) | | 種別 パイルの形状 寸法 総厚さ 色柄 電気抵抗 ※一種 ※ループパイル ※500角 ※6.5 ※無地 ※適用しない | 改 16. | . 吸首材 | 材 種 品質・規格 厚さ ・ロックウール吸音材 ロックウール吸音ボード1号(60K) ・ 25 ・ () | 改 | | ガラス厚 ※5mm ・ () |
| | 鋼板の厚さ ※「改修標仕」表5.3.2による 建具表による (5.4.4) 装 | | ・ 二種 ・カットパイル ・() ・() ・ 模様 ・ 10 ² Ω以下 | 修 | | ・グラスウール吸音材 グラスウール吸音ボード2号32K ※25ガラスクロス (JIS R3414) 額縁張 |] <u></u> ' | 10. 表示 | ※図示による 「20.2.10」 ・ 下記による |
| 5. 鋼製軽量建具 | 簡易気密型ドアセットの性能値 ※適用する (※A-3 ·) /・ 適用しない (5.5.2) | 7. 合成樹脂塗り床 | (6.10.2) (6.10.3) (表6.10.3~7) | | | ガラスクロス張りグラスウール吸音ボード (9 1 0 * 1 8 2 0) の取付け工法 | 」 1参 | | 種類 材種 寸法 取付方法 |
| | ビニール被覆鋼板 ・ 適用する ・ 適用しな | | 種別 仕上げの種類 ・ 弾性ウレタン塗り床材 ※平滑仕上げ・ 防滑仕上げ つや消し仕上げ | _ | | ポリプロピレン及びブラスチックファスナー留め 4本/㎡程度以上 | _ _ | | ・ 衝突防止表示 ・ ステンレス製市販品 () ・ 非常用進入口の表示 ・ 市販品 ・ () |
| | コー 3月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 | | ・ エポキシ樹脂塗り床材 ※薄膜流し展べ仕上げ 厚膜流し展べ仕上げ (※平滑・防滑) | | ポリスチレン | 畳下地 厚さ※40 ・ 65 ・ 80 | + | | 室名札 ・ステンレス製 ・(樹脂製) ・() ・面付 ・持出し |
| 具 6. ステンレス製建具 | 収 収 | | ・ 樹脂モルタル仕上げ (※平滑 ・・防騎滑仕上げ | 事 | フォーム床下地材 | フローリング類 厚さ※80 ・ 95 | 事 | | ・ ピクトグラフ ・ ステンレス製 ・ () ・ () ・ () ・ 案内板 ・ ステンレス製 ・ () ・ () ・ () |
| 0. スプラレハ級建兵 | 曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し曲げ | | | | | | _ | | • () • () • () |
| 7. 建具用金物 | 見本品を監督員に提出して承諾を受ける。 [表 5 . 7 . 1] (5 . 7 . 2 ~ 4) | 8. 防塵用塗料塗り | 材 質 水性アクリル系樹脂塗料※標準色 ・ 仕上種別 コーティング(ローラー刷毛塗り) | | ステンレスの表面 仕上げ | 「1 4 . 2 . 1 種類 施工箇所 備考 | ┧┃┃ | | . () . () . () |
| | マスターキー ※製作する (※新規 ・ 既存に合わせる)・ 製作しない | | 塗布量 主剤 2 回塗りとし、総塗布量は 0 . 2 5 kg/ ml以上 | @ | | ※ヘアライン程度 ・ 下記以外の見え掛かり全て | ╡┃ _┺ ┞ | 11. 煙突ライニング | ・ 煙突用成形ライニング材 「20.2.11」 |
| | 建具金物の種類 | 9. フローリング張り | (6.11.2~7)(表6.11.1~4) | | | - No.2 B程度 - 鏡面仕上げ | \dashv l l | | 最高使用温度 ※650℃・ ()℃ ・ キャスタブル耐火材 |
| | モノロック 評価名簿による | | 類 別 樹種 工法及び寸法 塗 装 | 2 | | | ⊒ = | | 製造所 ※監督員の承諾する製造所 ・ () 同等以上 |
| 改 | 本飾り付きモノロック シリンダ箱錠 | | ※複合 1種フローリング ※なら ※釘どめ工法 ※塗装品 複合 ・ () ・ () ・ () ・ A種 ・ B種 ※C種 | 2. | アルミニウム及び | 「14.2.2」「表14.2. 種類 施工箇所 備考 | - 1 1 | 12. ブラインド | <u>Γ20. 2. 12</u> |
| " | 本緒 9 版 ドアクローザ | | ・接着工法 ・無塗装品 | | アルミニウム合金の 表面処理 | - B − 1種 無着色 - B − 2種 ・プラウン系・プラック・ステンカラ | _ ッ | | 形 式 ※模型プラインド (JIS A 4801) ・ 模型プラインド スラットの材種 ※アルミニウム合金 ・ アルミニウム合金・クロス |
| | ドアクローサ 棒健錠 | | 単相 ・ () ・ | 141 | 火車 程 | | ∃ , | | 開閉方式 ※ギヤ式・コード式・操作様式・1本操作コード・2本操作コード |
| | ビボットヒンジ ヒンジクローザ 評価名簿による | 10. 体育館用 | ホルムアルデヒド放散量 ※F ☆ ☆ ☆ ・ () 樹 種 ・ () | 装3. | 鉄の亜鉛メッキ | 施工箇所 亜鉛めっきの種別 備者 | ¬ ^ | | スラットの幅 ※25 ・ 35 ・ 80・ 100 |
| | フロアヒンジ | フローリング張り | 接着剤 ・ 酢酸ビニル系エマルション エポキシ樹脂系 | | | 溶融・A種 ・B種 ・C種 JIS H 8641 | | 13. ロールスクリーン | 材種、品質等 (防炎・遮光 / 色・柄は学校及び監督員との協議による。)「20.2.13」 |
| 8. 自動ドア開閉装置 | 開閉装置の性能値 (5.8.2~3) | | 表面塗装 ポリウレタン樹脂塗料3回塗り() 張り付け 下張り板に接着剤で接着し、隠し釘と脳天釘で止める | 改 | | 電気・D種 ・E種 ・F種 JIS A 8610 | | 14 . カーテン及び | ● カーテン加工 「20.2.14」「表20.2.1」 |
| | スライディングドア用※「改修標仕」表 5 . 7 . 1 による ・ () | | 下張り板 ・ 12㎜以上(木製根太) ・ 15㎜以上(鋼製根太) | (4) | 轻量鉄骨天井下地 | 野緑等の種類 (6.6.2)[表6.6.2 | | | 施工箇所 きれ地名称品質 ひだの種別 形 式 開閉装置 |
| 修 | スイングドア用 ※「食修標仕」表5.7.2による (駆動力 ※電気式又は電動油式 (| | ホルムアルデヒド放散量※F☆☆☆☆・ (| 修 | | 屋内 ※ 19形・ 25形・ () 屋外 ・ 19形※25形 ・ () | | | · 片引き · 引分け · 有 ※無 · 片引き · 引分け · 有 ※無 |
| | 電源 ※単相100V (過電流保護装置付)・ () センサの種類 ※熟線 ・ () | 11. 畳敷き | 種別 • A種 ※B種 • C種• D種 (表 6 . 1 2 . 1) | _ | | 屋外における野縁等の間隔 ()(6.6.3 |) そ | | ・片引き ・引分け ・ 有 ※無 ・片引き ・引分け ・ 有 ※無 |
| | センサの種類 ※熟線 () () () () () () () () () (| ② せっこうボード | (6. 13. 2) (6. 13. 3) | 5. | 轻量鉄骨壁下地 | スタッド、ランナーの種類 (6.7.3)[表6.7.1 |] | | ※暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重掛けは300m以上とする。 |
| | 工事範囲 一次測定線は別途工事とし、開閉機構以降の二次配線は本工事に含む。 | その他ボード 及び合板張り | 材 種 種 別 張 り 方 厚 さ 備 考 ② せっこう ② 下地張り ② 突付け ② 9.5 | 事 | | ※「改修標仕」表 6. 7. 1 による Ο 図示による | 0 | | カーテンレール 材種 ※ステンレス型 ・ アルミニウム製・ 鋼製 |
| 9. 重量シャッター | 機能による種類 (5.10.2~4) | 及び自伝派が | - ボード ⊙ 上張り ・目透し ・ 12.5 | 6. | 金属成形板張り | Γ14. 6. 2 | <u></u> _{##} | | 形状 ※C型又はD型 ・ 角型 |
| | ・ 一般 ✔ 防火 (・ 外壁用 ・ 屋内用)防煙 シャッターケー/ス (防火・防煙以外の場合)・ 設ける ・ 設けない (5.10.2) | | O 21 | 金 | | 材種 製法 材種 寸法 (mm) 厚 (mm) 表面処理 ・スパンドレル系 ・ 押出し ※アルミニウム ・ B - 1 種 | - " | 15. ブラインドボックス | 材種 ※アルミニウム製(既製品)・ 細製・ () |
| | 開閉機能による種類 [表5.10.1] | | - 化粧せっこう - トラバーチン - 直張り ※突付け ※9.5 寸法 ポード 模様 ※4.50*910 | | | ロール・ ()B-2種 (|) 모 | 及び | 色彩 ※シルバー ・ 着色 () |
| - | ※上部電動式(手動併用) 電源 ※ V kw以下(過電流保護装置付) ・ 上部手動式 | | -910*910 | 属 | | ・パネル系 ※プレス 伸縮調整継手 ・ 設ける ・ 設けない | | カーテンボックス | 形状 ※溝幅90×深さ150 ・ 溝幅()×深さ() |
| | 耐風圧強度 ・ () | | ・ 木目模様 ・ 直張り ※目透し ※9.5 専用軽鉄 | | 手すり及びタラップ | [14.8.2] [14.8.3 | | 16. コーナービード | 材種 ※ステンレス製 ・ () |
| | 防火、が煙シャッターの危害防止機構 ※障害物感知装置 ・ シャッターの二段降下方式 エ事が囲 一次測配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次配線は本工事に含む。 | | (裏枝付) 下地村付き ・ 木質セメント ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | = '- | 手すり及びタラック | 種類 材料の種別 表面処理 | | 7. 天井見切縁 | 材 種 ※アルミニウム押出型材 ② 塩化ビニル製 |
| 10. 軽量シャッター | | | 板 ・普通木毛セメント板 ・ 張付け ・ 30 | = | | ※ステンレスSUS304 ※ HL程度 鏡面仕上げ () ・手すり ・ 鉄 亜鉛めっき 外部 ※C種 | - | _ | 施工箇所 ※仕上表による 🕥 (図示による) |
| 10. 柱里ノベック | ※手動式 | | - 数込み - 無石納けい酸 - 直張り - 目透し ※6 · 8 | + | | 内部 ※E種 | ⊥∣ ∣ | 13). 点検口 | 施工箇所 材 種 寸 法 |
| 1.1 | / 上部電動式 (手動併用)電源※ V kw以下 (過電流保護装置付) 耐風圧強度 () | | カルシウム板 ・ 継目処理 ・10 ・12 | | | ※ステンレスSUS304 ※ 研磨なし ・タラップ ・ 鉄 亜鉛めっき 内外部 ※C種 | $\dashv \mid \mid$ | | 天井 ※アルミニウム · () ●450×450 ●600×600 ・アルミニウム · ステンレス · 450×450 · 600×600 |
| * / | スラットの形状 ※インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形 | | · 組織板 | | | . (| ⅃ ┃ ┃ | | R |
| | 工事範囲 一次測配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次配線は本工事に含む。 | | ・ バーティクル ポード | @ 1. | フリーアクセス | 支持方式 · 支持脚分離方式 · 根太方式 · 調整支持脚方式 「20.2. | 2] | 19. くつふきマット | 材種 ※塩化ビニル製又はゴム製(受枠ステンレス製) |
| 11. オーバーヘルドドア | セクション材料 ※スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ (5.12.2) ・ ファイパーグラスタイプ | | N-1 | | フロア | ・ ()材 質 ・ 金属系 (・ アルミ ・ スチール) ・ 樹脂系 ・ (| | | ・ 硬質アルミニウム製(受枠硬質アルミニウム製)・ ステンレス製(受枠ステンレス製) |
| | 開閉方式 ※バランス式 ・ チェーン式 電動式 | | | | | 寸 法 ※500角・ () 角 高さ ・ () | | | |
| | 収納方式 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 パーチカル形 ガイドレール ※溶融亜鉛めっき銅板 ・ ステンレス鋼板 (SUS304) | | ホルムアルデヒド放散量※F☆☆☆☆・ (適音シール材 ※アクリル系シーリング材 ・ ジョイントコンパウント | 3 | | 耐荷重性能 ・ ()耐震性能 ・ (表面仕上 ・ 帯電防止ビニル床タイルタイルカーペット ・ (| | 2 O. 鋼製書架及び 物品棚 | JIS S 1039の規格による。 |
| | ガイトレール ※冷阪里知のうさ調像 ・ ステンレス調像(SUSSU4) 耐風圧機能 ・ () | | (6. 13. 2) (6. 13. 3) | | | 製造所() 同等以上 | | | |
| 1 2. /ガラス | 建具に取り付けるガラス及びガラスブロックは図面図示(建具表)による。 (5. 13.2) | | 材 種 表面の品質 厚さ 工法 ・普通合板 生地のまま又は透明塗料塗りの場合 ・5.5.5・9・12 ※A種 | 内 2. | 可動間仕切 | [20. 2. | | 2 1. 旗ざお | 材種 ※アルミニウム製 ・ (形状 ・ テーパー式 ・ 同一断面 |
| | ガラス留め村 (5.13.2.(b))(5.13.3)[表5.13.1] | | ※ラワン程度 ・ () | 装 | (既製間仕切) | 構造形式 パネル部の総厚さ 表面材種 仕上げ |] | | 形式 ・ ロープ式 ・ ハンドル式 |
| / | 建具の種類 材 種 アルミニウム製 ※シーリング材(SR-1)・ グレイジングガスケット | | 不透明塗料塗りの場合 ・ 5.5 ・ 9 ・ 12 ・ B種 ※しな程度 ・ () | 改 | | ※パネル式 ・()以上 ※銅板 ・() ※メラミン樹脂又はアクリル樹脂 ・ スタッド式 ※0.6 ・() 焼き付け | ' | | 寸法・ () |
| // | 鋼製、ステンレス製 ※シーリング材(SR-1) ただし、防火戸は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。 | | ● 正然木化粧合板 ・ () ● (4) 壁又は天井に使用する合板は、建築基準法に基づき防火材料の指定又は認定を受けたもの。 | 修 | | ・ スタッドパネル式 ・ () ・ () 品質JIS A 6512によるもの又は評価名簿によるもの | - | 22. 旗ざお受金物 | 材種 ※ステンレス製(市販品) SUS 304 ・ () |
| 13. 方立等の補強 | ただし、防火戸は建架基準法に基づく防火性能を有するものとする。 耐風圧性 S-5 以上を確保とする。 | | ホルムアルデヒド放散量※ F ☆☆☆☆・ (| _ | | | | 23. 流し台ユニット | ステンレス流し台 仕様・寸法 (L=1200 業務用※単独工事) |
| 1. 既存床の撤去 | 合成樹脂塗床材の除去工法 | | パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量 (6.13.2) ※F☆☆☆ ・ () | | 移動式間仕切 (スライディングドア) | 「20.2. 表面板 仕上げ パネル厚 遮音性 | 4] | | コンロ台 (L=1200 業務用※単独工事) 吊戸棚 (|
| ● 並びに下地補修 | - 機械的除去工法 ・目荒し工法 | | | # | | ・ 銅板 ・ 焼付け ※60・80・100 ・ 一般タイプ | | | 水切棚() |
| 2. 接着剤 | 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤は、トルエン等の含有量 | 13. 壁紙張り | 壁紙はJIS A 6921により、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの。 ホルムアルデヒド放散器× F☆☆☆☆ () (6.14.2) | _ | | ・() ・() ・ 遮音タイプ 製造所 ()) 同等以上 | | 24. 視覚障害者用 | 施工箇所 材 質 寸 法 備考 |
| | が少ない規格品とする。壁紙用の接着剤は、フタル酸ジーn-ブチル及びフタル酸ジー | | 施工箇所 品質 程度 防火性能の種類 ・1級・2級・() | _ | | | | 誘導床材 | 磁器製又はせつ器製 ・300角・()無ゆう 黄色 ビニル床タイル ・300角 黄色 |
| | 2 - エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用している規格品とする。 ホルムアルデヒド放散量※F☆☆☆☆ () (6.8.2) | | ・1級 ・2級 ・() | - 4. | トイレブース | 仕様 「20.2.5 パネル ・メラミン樹脂系化粧板・ポリエステル樹脂系化粧板・(|) | | · 点字鋲 真鍮製 |
| 3. ビニル床シート張り | (6. 8. 2) (6. 8. 3) | | - 1級 - 2級 - () - 1級 - 2級 - () | " | | 部 材 ・アルミ製 ・ステンレス製 ・ () 附属金物 ※ステンレス製 ・ () | | | ・ コンクリート製・ 303角 厚60 黄色 |
| 内 | 材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考 | | ・1級 ・2級 ・() | - | | 足形状 ※幅木型 • 足金物型 | | | |
| | ※発砲層のないもの ※NC ※無地 ※2.5 ※熱溶接 ・ ・ ※ 発砲層のあるもの ・ () ・ 模様 ・ () ・ 突付け | | 素地ごしらえの種別 (6.14.3) モルタル及びプラスター面 ・ A種 ※B種 | 及 | | 形 式 ・ 丁番吊・ 中心吊 | | 25. 既製フェンス | ・ ビニル被覆エキスパンドフェンス・ 頻管フェンス・ () |
| 装 | シート 光徳周ののもも イーク・映像 イーク 大門 ロ | | せっこうボード面 ・ A種 ※B種 | ぴ 5. | 階段滑止め | - 金属製 材 種 ※ステンレス製 (SUS304) - 真鍮製 「20.2. | | | |
| 4. ビニル床タイル張り | (6. 8. 2) (6. 8. 3) | | 施工業者 ※内装専門業者とする ・ () | _₹ | | 形 式 ※ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り・ タイヤなし 幅 ※35 ・ () | | 2.6. かぎ箱 | ※鋼製市販品 ・ 30組用 ・ 60組用 ・ 120組用 |
| | 材 種 種 類 形状 厚さ ※コンポジションビニル床タイル(半硬質) ※300角 ※2 | 14. タイル張り | (6.16.3) | | | 取付 ※接着工法 ・ () ・ 磁器製 幅 ※60 ・ () | | 27. 敷地境界線 | 種別 · A種 (程度以B種 |
| 改 | - u.c. ・ コンポジションビニル床タイル(硬質)・() ・3 | | 施工箇所 影状・寸法 超器 せっ器 陶器 無ゆう カ 無 標本 特注 焼き 備考 | | | | : | 28. 屋外揭示板 | 照明器具 ※あり ・ なし |
| | ・ ホモジニアスピニル床タイル ・ () ・ 帯電防止ピニル床タイル (置敷タイプ)※500角 ※2 | | | 112 | | | | | 施 錠 ※あり ・ なし |
| 修 | ホモジニアスピニル床タイル (パネルー体タイプ)・() | | | | | | : | 29. 車止め支柱 | 材種 ※ステンレス製(上下式鎖内蔵型)・(|
| | 帯電防止ビニル床タイル (置数タイプ) の接着剤は粘着剥離形とし、製造所の指定する 製品とする。 | | | 事 | | | | | 形状 ※スプリング付き ・ スプリングなし |
| エ 5. ビニル幅木 | | | | | $\overline{}$ | | 名称 | | 図面番号 |
| 5. ビニル幅木 | 材種 ※軟質 ・ 硬質 (6.8.2) 厚さ ※2 ・ () | | | | | さくら建築設計コンサルタント -級建築士事務所 | | 仲津小学校空 | |
| | 高さ ※60 ・75 ・100・() | | | | | 福岡県知事登録 第1-20877号 | ₽₩ | | 7, 00 |
| I # I | | 1 1 | | | | 抽向条打情中用人情题] 日 11-12 | 名称 | 改修工事特記仕 | (A) |
| [| | ' | | | | 管理建築士 井澤福男 一級建築士 大臣登録 第114138号 | | 以修工争付記证 | 「惊音(3) |

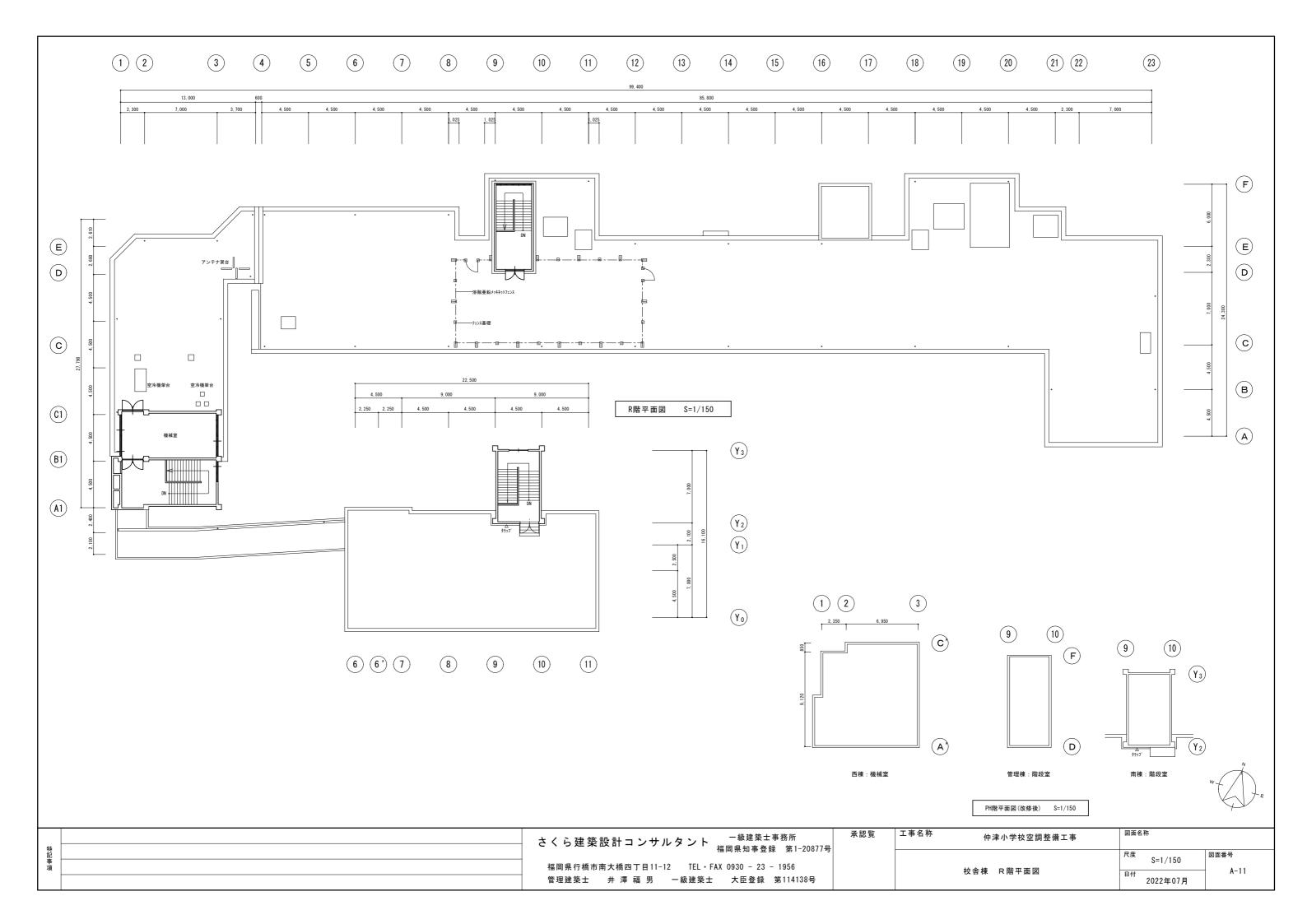


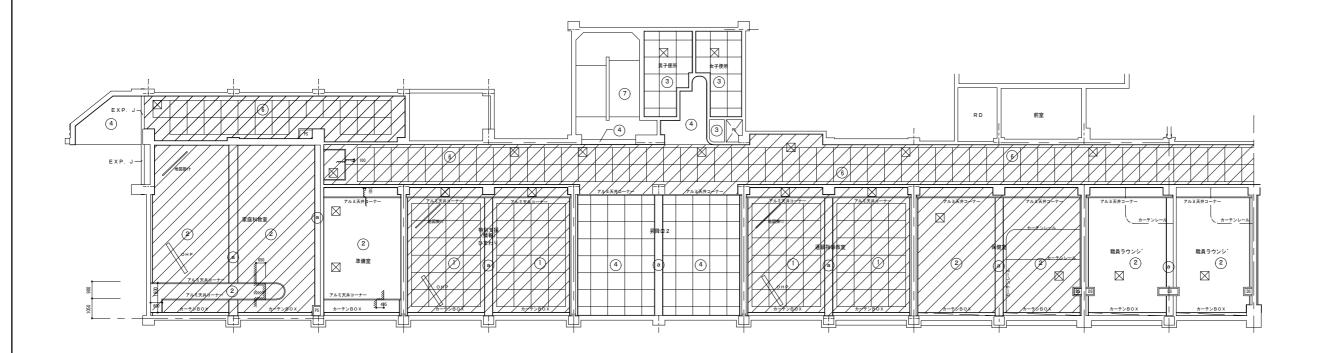








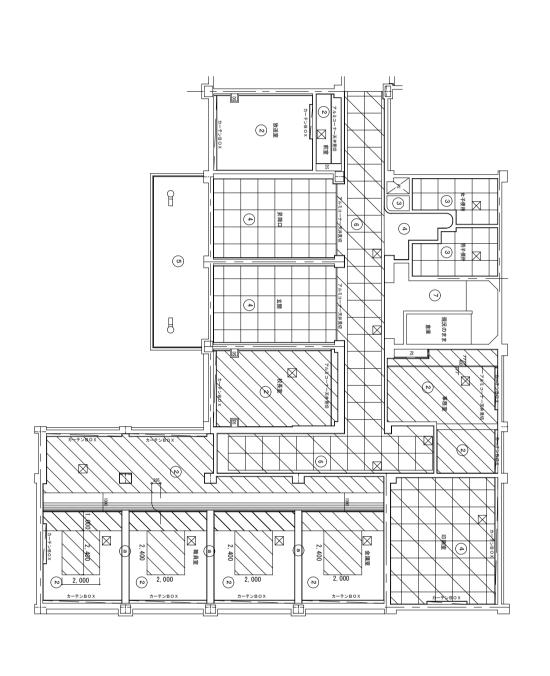




| 改造後天井 | 杜上 リスト | |
|-------|--|-------|
| 1 | 軽天下地 ァ) 9. 5 穿孔石膏ホ゜ート゜目スカシ貼 EP塗 ホ゜ータ゜ 部 ァ) 9. 5 平石膏ホ゜ート゜メ目スカシEP | 塩ビ廻り縁 |
| 2 | 軽天下地 平石膏木 ート ァ9.5 捨貼無機質繊維吸音板 ア9 貼 | 塩ビ廻り縁 |
| 3 | 軽天下地 ァ)5 ケイカル板 目スカシ EP塗 | 塩ビ廻り縁 |
| 4 | 軽天下地 ァ) 9. 5 平石膏木 ート 目スカシ EP塗 | 塩ビ廻り縁 |
| 5 | 軽天下地 アルミスハ゜ンドレル | |
| 6 | 軽天下地 ァ)9.5 穿孔石膏ホ゜ート゜目スカシ貼 EP塗 ホ゜ータ゜ 部 ァ)9.5平石膏ホ゜ート゜メ目スカシEP | 塩ビ廻り縁 |
| 7 | コンクリートスラフ゛下 モルタル塗 現況塗材ケレンの上アクリルリシン吹付 | |
| а | 梁型 モルタル金コテ下地 EP塗 | |
| | アルミ枠 天井点検口 450角 | · |

改修前東棟 1 階天井伏図1 S=1/100

| 特 | さくら建築設計コンサルタント -級建築±事務所 福岡県知事登録 第1-20877号 | 承認覧 | 工事名称 | 仲津小学校空調整備工事 | 図面名称 改修前東棟 | 1 階天井伏図1 |
|-------------|---|-----|------|-------------|---------------------------|--|
| 記 事 項 | 福岡県和事金録 第1-2087/号 福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL・FAX 0930 - 23 - 1956 管理建築士 井澤福男 一級建築士 大臣登録 第114138号 | | | | R度 S=1/100 日付 2022年07月 | 図面番号 ———————————————————————————————————— |

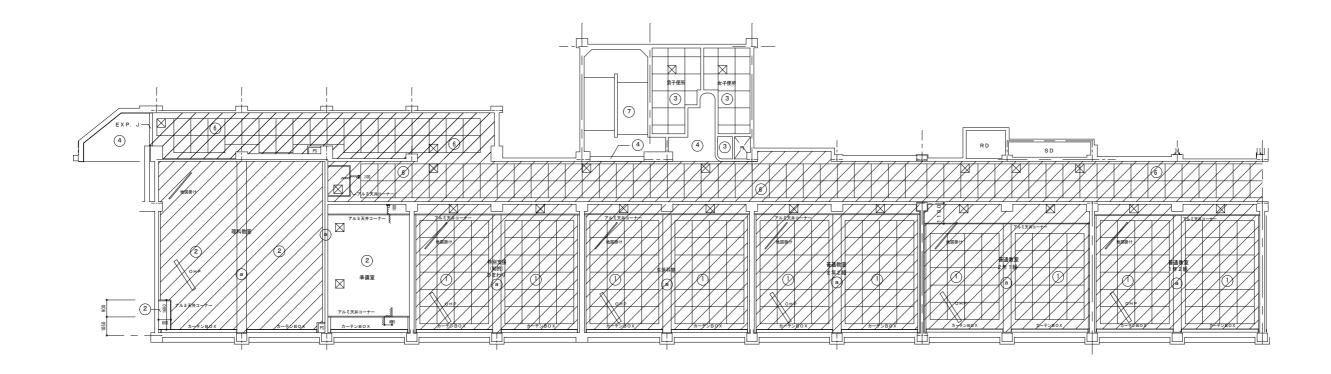


| | アルミ枠 天井点検口 450角 | \boxtimes |
|-------|---|--------------|
| | 楽型 モルタル金コテ下地 EP塗 | (a) |
| | コンクリートスラフ・下 モルタル塗 現況塗材ケレンの上アクリルリシン吹付 | 7) |
| 塩ピ廻り繰 | 軽天下地 ァ) 9. 5 有孔石膏木。一ト。目スカシ貼 EP塗 木。一ち。 部 ァ) 9. 5平石膏木。一ト。メ目スカシEP | 0 |
| | | (5) |
| 塩ピ廻り繰 | 軽天下地 ア)9.5 平石膏ホ*ート*目スカシ EP塗 | (4) |
| 塩ピ廻り繰 | 軽天下地 ァ)5 ケイカル板 目スカシ EP塗 | ω |
| 塩に廻り繰 | 軽天下地 平石膏ホ゜ート゜ァ9.5 捨貼無機質繊維吸音板ア9貼 | (2) |
| 塩ピ廻り繰 | 軽天下地 7) 9.5 穿孔石膏木。一ト。目スカシ貼 EP塗 木。一今。 部 7) 9.5平石膏木。一ト。メ目スカシEP | (<u>-</u>) |
| | 改造後天井仕上 リスト | 改造後天井 |



改修前東棟1階天井伏図2 S=1/100

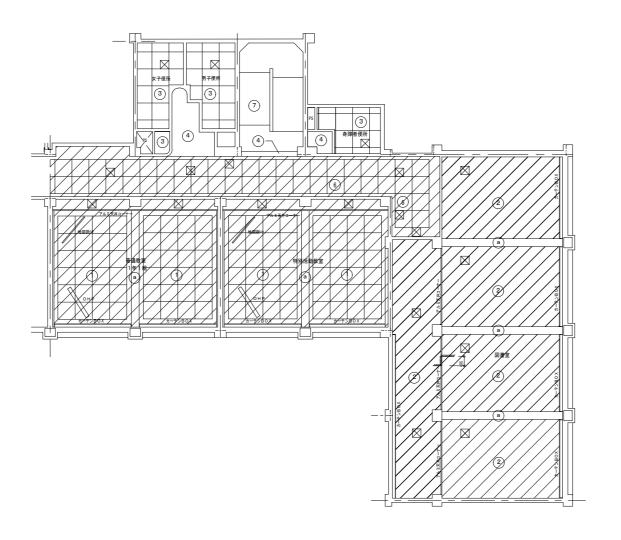
| 塩 | М | 맹 | 莽 |
|----------------------------------|--|--------------------|---------------------|
| | | | |
| 管理建築士 井澤 福 男 一級建築士 大臣登録 第114138号 | 福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL・FAX 0930 - 23 - 1956 | 個国宗及事宜獎 第1-200// 5 | 一級建築士事務所四月 1 2007 |
| | | | 承認覧 |
| | | | 工事名称 |
| | | | 仲津小学校空調整備工事 |
| 日刊 2022年07月 | Ŧ | 尺度 6-1/100 図面番号 | 図面名称 改修前東棟 1 階天井伏図2 |



| ① 軽天下地 ア) 9.5 穿孔石膏木*・ト* 目スカシ貼 EP塗 塩ビ廻り料 ボータ* 部 ア) 9.5 字石膏木*・ト* メ目スカシEP 塩ビ廻り料 軽天下地 ア) 5 ケイカル板 目スカシ EP塗 塩ビ廻り料 軽天下地 ア) 9.5 平石膏木*・ト* 目スカシ EP塗 塩ビ廻り料 アルミスハ*ントレル* ⑥ 軽天下地 ア) 9.5 有孔石膏木*・ト* 目スカシ貼 EP塗 塩ビ廻り料 ボータ* 部 ア) 9.5 有孔石膏木*・ト* メ目スカシEP 塩ビ廻り料 塩ビ廻り料 塩ビ廻り料 塩ビ廻り料 カード・メ目スカシEP |
|---|
| ③ 軽天下地 ァ) 5 ケイカル板 目スカシ EP塗 塩ビ廻り針 ④ 軽天下地 ァ) 9. 5 平石青木・ート・目スカシ EP塗 塩ビ廻り針 ⑤ 軽天下地 アルミスパ・ントレル・ セントリン・ ⑥ 軽天下地 ァ) 9. 5 有不合青木・ート・目スカシ貼 EP塗 塩ビ廻り針 ホ・ータ・節 ァ) 9. 5 平石青木・ート・メ目スカシEP 塩ビ廻り針 |
| 4 軽天下地 ァ) 9.5 平石膏ホ・ート・目スカシ EP差 塩ビ廻り制 5 軽天下地 アルミスハ・ントレル・ 6 軽天下地 ァ) 9.5 有孔膏青木・ート・目スカシ貼 EP差 塩ビ廻り制 ボータ・節 ァ) 9.5 年石膏木・ート・メ目スカシEP 塩ビ廻り制 |
| (5) 軽天下地 アルミスパ ントレル* (6) 軽天下地 ア) 9. 5 有孔石青木*ート*目スカシ貼 EP塗 塩ビ廻り給水*ータ* 節 ア) 9. 5 平石青木*ート*メ目スカシEP 塩ビ廻り給 |
| ● 軽天下地 ァ) 9. 5 有孔石膏ポート゚目スカシ貼 E P 塩 塩ビ廻り៖ ポータ゚ 部 ァ) 9. 5平石膏ポート゚メ目スカシE P |
| # 1 |
| 3 -> -> -> -> -> -> -> -> -> -> -> -> -> |
| 7 コンクリートスラフ・下 モルタル塗 現況塗材ケレンの上アクリルリシン吹付 |
| a |
| アルミ枠 天井点検口 450角 |

改修前東棟2階天井伏図1 S=1/100

| 特 | さくら建築設計コンサルタント -級建築±事務所 福岡県知事登録 第1-20877号 | 承認覧 | 工事名称 | 仲津小学校空調整備工事 | 図面名称 改修前東根 | 2 階天井伏図1 |
|---|--|-----|------|---------------|---------------------------|----------------|
| 記 | 福岡県元本章 京 第1-20077号 福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL・FAX 0930 - 23 - 1956 管理建築士 井澤福男 一級建築士 大臣登録 第114138号 | | | 改修前東棟 2 階天井伏図 | R度 S=1/100 日付 2022年07月 | 図面番号 - A-14 |



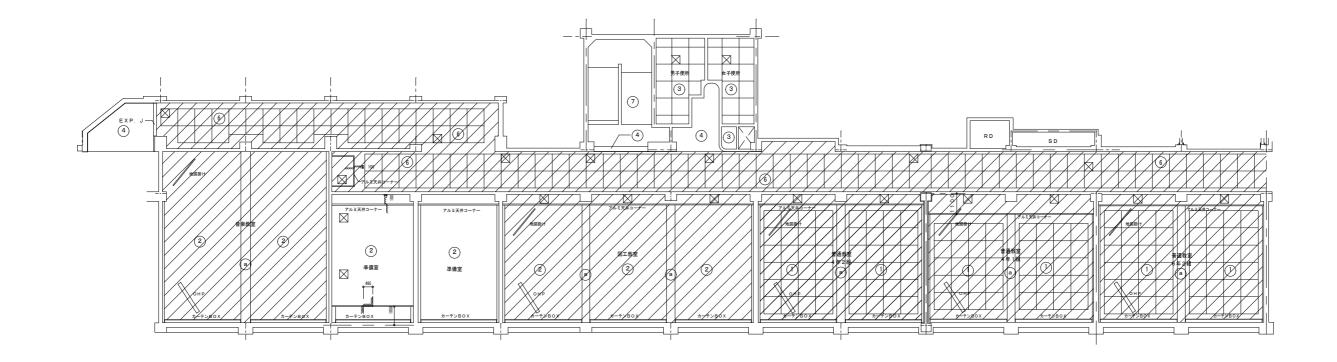
| 改造後天井 | ‡仕上 リスト | |
|-------|---|-------|
| 1 | 軽天下地 ァ) 9. 5 穿孔石膏ホ ート 目スカシ貼 EP塗 ホ ータ 部 ァ) 9. 5 平石膏ホ ート メ目スカシEP | 塩ビ廻り縁 |
| 2 | 軽天下地 平石膏ホ ート ア9.5 捨貼無機質繊維吸音板ア9貼 | 塩ビ廻り縁 |
| 3 | 軽天下地 ァ)5 ケイカル板 目スカシ EP塗 | 塩ビ廻り縁 |
| 4 | 軽天下地 ァ) 9. 5 平石膏ホ゜ート゜目スカシ EP塗 | 塩ビ廻り縁 |
| 5 | 軽天下地 アルミスハ゜ンドレル | |
| 6 | 軽天下地 ァ) 9. 5 有孔石膏ホ゜ート゜目スカシ貼 EP塗 ホ゜ータ゜ 部 ァ) 9. 5平石膏ホ゜ート゜メ目スカシEP | 塩ビ廻り縁 |
| 7 | コンクリートスラフ 下 モルタル塗 現況塗材ケレンの上アクリルリシン吹付 | |
| а | 梁型 モルタル金コテ下地 EP塗 | |
| | アルミ枠 天井点検口 450角 | |

既存

既存天井撤去部分を示す。

改修前東棟 2 階天井伏図2 S = 1 / 1 0 0

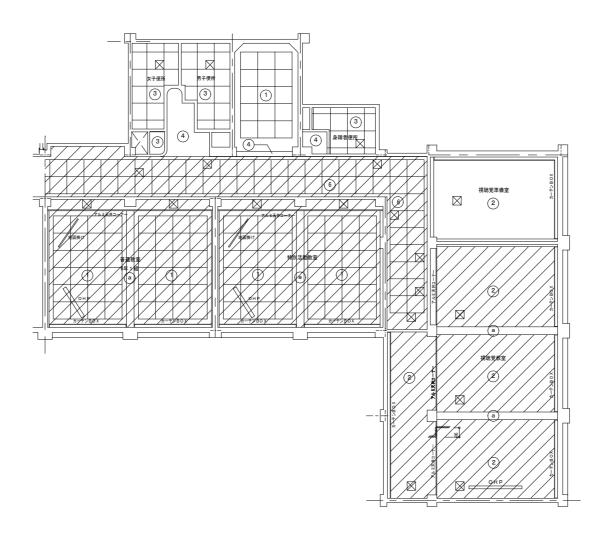
| 特 | さくら建築設計コンサルタント -級建築±事務所 福岡県知事登録 第1-20877号 | 承認覧 | 工事名称 | 仲津小学校空調整備工事 | 図面名称 改修前東棋 | 2 階天井伏図2 |
|-------------|---|-----|------|-------------|---------------------------|----------------|
| 記 事 項 | 福岡県元事登録 第1-2007/号 福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL・FAX 0930 - 23 - 1956 管理建築士 井澤福男 一級建築士 大臣登録 第114138号 | | | | R度 S=1/100 日付 2022年07月 | 図面番号 - A-15 |



| 改造後天井 | 七上 リスト | |
|-------|---|-------|
| 1 | 軽天下地 ァ)9.5 穿孔石膏ホ゜ート゜目スカシ貼 EP塗 ホ゜ータ゜ 部 ァ)9.5平石膏ホ゜ート゜メ目スカシEP | 塩ビ廻り縁 |
| 2 | 軽天下地 平石膏ホ ート ア9.5 拾貼無機質繊維吸音板ア9貼 | 塩ビ廻り縁 |
| 3 | 軽天下地 ァ)5 ケイカル板 目スカシ EP塗 | 塩ビ廻り縁 |
| 4 | 軽天下地 ァ) 9. 5 平石膏ホ゜ート゜目スカシ EP塗 | 塩ビ廻り縁 |
| 5 | 軽天下地 アルミスハ゜ンドレル | |
| 6 | 軽天下地 ァ)9.5 有孔石膏ホ゜ート゜目スカシ貼 EP塗 ホ゜ータ゜ 部 ァ)9.5平石膏ホ゜ート゜メ目スカシEP | 塩ビ廻り縁 |
| 7 | コンクリートスラフ 下 モルタル塗 現況塗材ケレンの上アクリルリシン吹付 | |
| a | 梁型 モルタル金コテ下地 EP塗 | |
| | アルミ枠 天井点検口 450角 | |
| | | |

改修前東棟3階天井伏図1 S=1/100

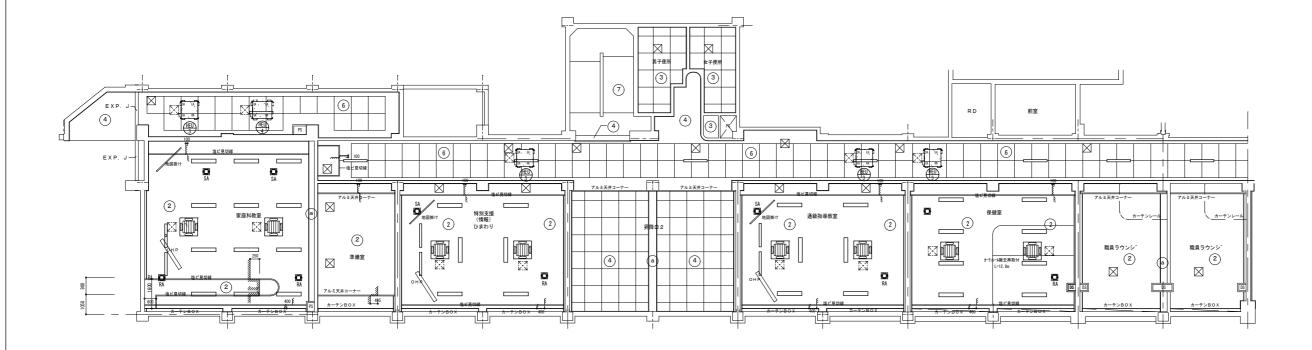
| 特 | 」さくら建築設計コンサルタント -級建築±事務所 福岡県知事登録 第1-20877号 | 承認覧 | 工事名称 | 仲津小学校空調整備工事 | 図面名称 改修前東棟 | 3階天井伏図1 |
|-------------|---|-----|------|-------------|---------------|--------------|
| 記 事 值 | | | | | 尺度 S=1/100 | 図面番号 A-16 |
| <u>増</u> | 管理建築士 井澤福男 一級建築士 大臣登録 第114138号 | | | | 2022年07月 | |



| 改造後天井 | 井仕上 リスト | |
|-------|---|-------|
| 1 | 軽天下地 ァ) 9. 5 穿孔石膏ホ ート 目スカシ貼 EP塗 ホ ータ 部 ァ) 9. 5 平石膏ホ ート メ目スカシEP | 塩ビ廻り縁 |
| 2 | 軽天下地 平石膏ホ ート ア9.5 捨貼無機質繊維吸音板ア9貼 | 塩ビ廻り縁 |
| 3 | 軽天下地 ァ)5 ケイカル板 目スカシ EP塗 | 塩ビ廻り縁 |
| 4 | 軽天下地 ァ) 9. 5 平石膏ホ゜ート゜目スカシ EP塗 | 塩ビ廻り縁 |
| 5 | 軽天下地 アルミスハ゜ンドレル | |
| 6 | 軽天下地 ァ) 9. 5 穿孔石膏ホ゜ート゜目スカシ貼 EP塗 ホ゜ータ゜ 部 ァ) 9. 5平石膏ホ゜ート゜メ目スカシEP | 塩ビ廻り縁 |
| 7 | コンクリートスラフ 下 モルタル塗 現況塗材ケレンの上アクリルリシン吹付 | |
| а | 梁型 モルタル金コテ下地 EP塗 | |
| | アルミ枠 天井点検口 450角 | |

改修前東棟3階天井伏図2 S=1/100

| 特 | さくら建築設計コンサルタント -級建築±事務所 福岡県知事登録 第1-20877号 | 承認覧 | 工事名称 | 仲津小学校空調整備工事 | 図面名称 改修前東 | 棟3階天井伏図2 |
|---|---|-----|------|-------------|---------------------------|------------------|
| 記 | 福岡県和事登録 第1-2007/号 福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL・FAX 0930 - 23 - 1956 管理建築士 井澤福男 一級建築士 大臣登録 第114138号 | | | | 尺度 S=1/100 日付 2022年07月 | 図面番号 A-17 |



改修後 東棟 1 階天井伏図1 S=1/100

<凡 例>

エアコン室内機

エアコン室外機

全熱交換ユニット 全熱交換ユニット 給排気グリル

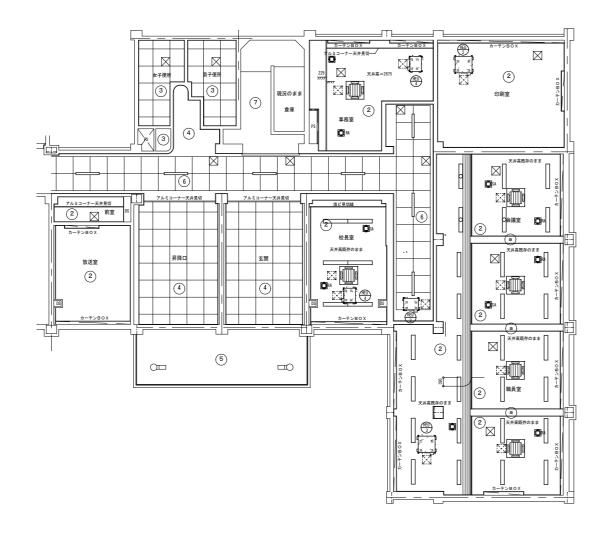
450x450 🔀 天井用点検口

| 杜上 リスト | |
|---|--|
| 軽天下地 ア) 9. 5 穿孔石膏木"ート"目スカシ貼 EP塗 木"ータ" 部 ア) 9. 5平石膏木"ート"メ目スカシEP | 塩ビ廻り縁 |
| 軽天下地 平石膏ホ ート ア9. 5 捨貼無機質繊維吸音板ア9 貼 | 塩ビ廻り縁 |
| 軽天下地 ァ)5 ケイカル板 目スカシ EP塗 | 塩ビ廻り縁 |
| 軽天下地 ァ) 9. 5 平石膏木 ート 目スカシ EP塗 | 塩ビ廻り縁 |
| 軽天下地 アルミスハ゜ンドレル | |
| 軽天下地 ァ)9.5 穿孔石膏ホ゜ート゜目スカシ貼 EP塗 ホ゜ータ゜ 部 ァ)9.5平石膏ホ゜ート゜メ目スカシEP | 塩ビ廻り縁 |
| コンクリートスラフ 下 モルタル塗 現況塗材ケレンの上アクリルリシン吹付 | |
| 梁型 モルタル金コテ下地 EP塗 | |
| アルミ枠 天井点検口 450角 | |
| | 野天下地 ア) 9.5 穿孔石膏ホ'ート'目スカシ貼 EP塗ホ'ータ' 部 ア) 9.5 平石膏ホ'ート'メ目スカシEP 軽天下地 平石膏ホ'ート'ア9.5 拮貼無機質繊維吸音板 7 9 貼 軽天下地 ア) 5 ケイカル板 目スカシ EP塗 軽天下地 ア) 9.5 平石膏ホ'ート'目スカシ EP塗 軽天下地 アルミスパ'ンドレル 軽天下地 ア) 9.5 穿孔石膏ホ'ート'目スカシ貼 EP塗ホ'ータ' 部 ア) 9.5 穿孔石膏ホ'ート'ヨスカシ貼 EP塗ホ'ータ' 部 ア) 9.5 字孔石膏ホ'ート'メ目スカシEP コンクリートスラフ'下 モルタル塗 現況塗材ケレンの上アクリルリシン吹付 梁型 モルタル金コテ下地 EP塗 |

特記事項

※音の大きな作業等は学校の授業に支障のない時間帯に工事する事。
※工事期間中、児童、職員の安全に務め、廊下等非難経路を確保する事。
※仮設物、仮囲い等の設置場所については、施設関係者、監督員と協議して決定する事。
※廊下部分、天井及び壁等撤去後は、危険防止処置をし、安全を十分確保する事。
※改修後天井高さは、標準高さH-2,700とする、それ以外の部屋は、CH寸法の記入高さとする。
※職員室は、極力使用できる様配慮する事、天井高さは現況のままとする。
※廊下部分、天井高さは現況のままとする。
※のHP及び地図掛けは電気照明器具及び空調設備とラップしないようにして撤去再取付とする。
※電気照明器具及び空調設備とラップしないようにして複な可能を

| 特 | さくら建築設計コンサルタント -級建築±事務所 福岡県知事登録 第1-20877号 | 承認覧 | 工事名称 | 仲津小学校空調整備工事 | 図面名称 改修後 東梯 | 1階 天井伏図1 |
|---|--|-----|------|-------------|-------------|--------------|
| 記 | 福岡県和寿豆球 第1-200/7号 | | | | 尺度 S=1/100 | 図面番号 A-18 |
| 項 | 管理建築士 井澤福男 一級建築士 大臣登録 第114138号 | | | | 日付 2022年07月 | A-16 |



エアコン室内機

エアコン室外機

全熱交換ユニット

📭 給排気グリル

450x450 天井用点検口

| 改造後天井 | 杜上 リスト | |
|-------------|---|-------|
| 1) | 軽天下地 ァ)9.5 穿孔石膏ホ*ート*目スカシ貼 EP塗 ホ*ータ* 部 ァ)9.5平石膏ホ*ート*メ目スカシEP | 塩ビ廻り縁 |
| 2 | 軽天下地 平石膏ホ ート ア9.5 捨貼無機質繊維吸音板ア9貼 | 塩ビ廻り縁 |
| 3 | 軽天下地 ァ)5 ケイカル板 目スカシ EP塗 | 塩ビ廻り縁 |
| 4 | 軽天下地 ァ) 9. 5 平石膏木 ート 目スカシ EP塗 | 塩ビ廻り縁 |
| 5 | 軽天下地 アルミスハ゜ント゜レル | |
| 6 | 軽天下地 ァ)9.5 有孔石膏ホ゜ート゜目スカシ貼 EP塗 ホ゜ータ゜ 部 ァ)9.5平石膏ホ゜ート゜メ目スカシEP | 塩ビ廻り縁 |
| 7 | コンクリートスラフ 下 モルタル塗 現況塗材ケレンの上アクリルリシン吹付 | |
| a | 楽型 モルタル金コテ下地 EP塗 | |
| \boxtimes | アルミ枠 天井点検口 450角 | |

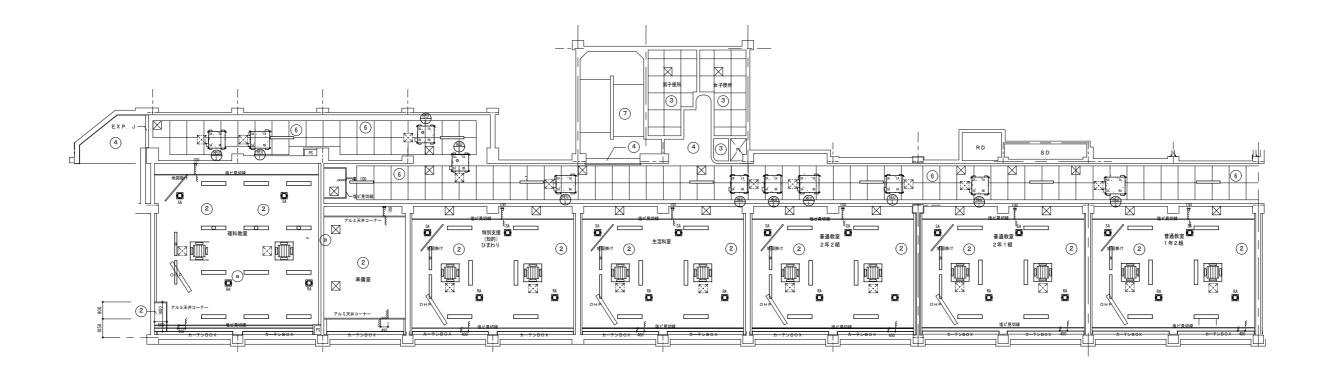
特記事項

※音の大きな作業等は学校の授業に支障のない時間帯に工事する事。 ※工事期間中、児童、職員の安全に務め、廊下等非難経路を確保する事。 ※仮設物、仮囲い等の設置場所については、施設関係者、監督員と協議して決定する事。 ※廊下部分、天井及び壁等撤去後は、危険防止処置をし、安全を十分確保する事。 ※改修後天井高さは、標準高さH=2,700とする、それ以外の部屋は、CH寸法の記入高さとする。 ※職員室は、極力使用できる様配慮する事、天井高さは現況のままとする。 ※廊下部分、天井高さは現況のままとする。

※OHP及び地図掛けは電気照明器具及び空調設備とラップしないようにして撤去再取付とする。 ※電気照明器具及び空調設備とラップしないようにして打合せの後取付とする。

改修後 東棟 1 階天井伏図2 S=1/100

| 特 | さくら建築設計コンサルタント -級建築±事務所 福岡県知事登録 第1-20877号 | 承認覧 | 工事名称 | 仲津小学校空調整備工事 | 図面名称 改修後 東根 | 東1階天井伏図2 |
|----|--|-----|------|-------------|-----------------------|--------------|
| 記事 | 福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL・FAX 0930 - 23 - 1956 | | | | ^{尺度} S=1/100 | 図面番号 A-19 |
| 項 | 管理建築士 井澤福男 一級建築士 大臣登録 第114138号 | | | | 日付 2022年07月 | N 10 |



エアコン室内機

エアコン室外機

全熱交換ユニット

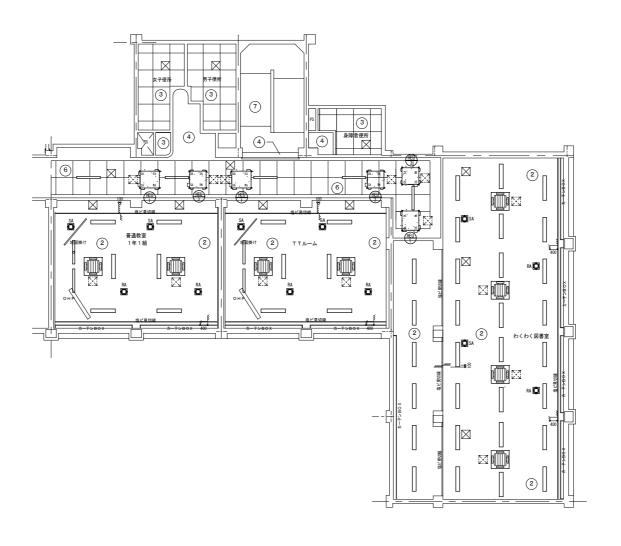
📵 給排気グリル

450x450 天井用点検口

| 改造後天持 | 中仕上 リスト | |
|-------------|--|-------|
| 1 | 軽天下地 ァ) 9. 5 穿孔石膏ホ*ート*目スカシ貼 EP塗 ホ*ータ* 部 ァ) 9. 5 平石膏ホ*ート*メ目スカシEP | 塩ビ廻り縁 |
| 2 | 軽天下地 平石膏ホ ート ア9.5 捨贴無機質繊維吸音板ア9貼 | 塩ビ廻り縁 |
| 3 | 軽天下地 ァ)5 ケイカル板 目スカシ EP塗 | 塩ビ廻り縁 |
| 4 | 軽天下地 ァ) 9.5 平石膏ポート゚目スカシ EP塗 | 塩ビ廻り縁 |
| (5) | 軽天下地 アルミスハ゜ントレル゛ | |
| 6 | 軽天下地 ァ) 9.5 有孔石膏ホ*ート*目スカシ貼 EP塗 ホ*ータ* 部 ァ) 9.5平石膏ホ*ート*メ目スカシEP | 塩ビ廻り縁 |
| 7 | コンクリートスラブ 下 モルタル塗 現況塗材ケレンの上アクリルリシン吹付 | |
| a | 梁型 モルタル金コテ下地 EP塗 | |
| \boxtimes | アルミ枠 天井点検口 450角 | |

改修後 東棟2階天井伏図1 S=1/100

| 特 | さくら建築設計コンサルタント -級建築±事務所 福岡県知事登録 第1-20877号 | 承認覧 | 工事名称 | 仲津小学校空調整備工事 | 図面名称 改修後 東棟2階天井伏図1 |
|----|---|-----|------|-------------|---|
| 事項 | 福岡県和事登録 第1-2007/号 福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL・FAX 0930 - 23 - 1956 管理建築士 井澤福男 一級建築士 大臣登録 第114138号 | | | | 尺度 S=1/100 日付 2022年07月 A-20 |



エアコン室内機

エアコン室外機

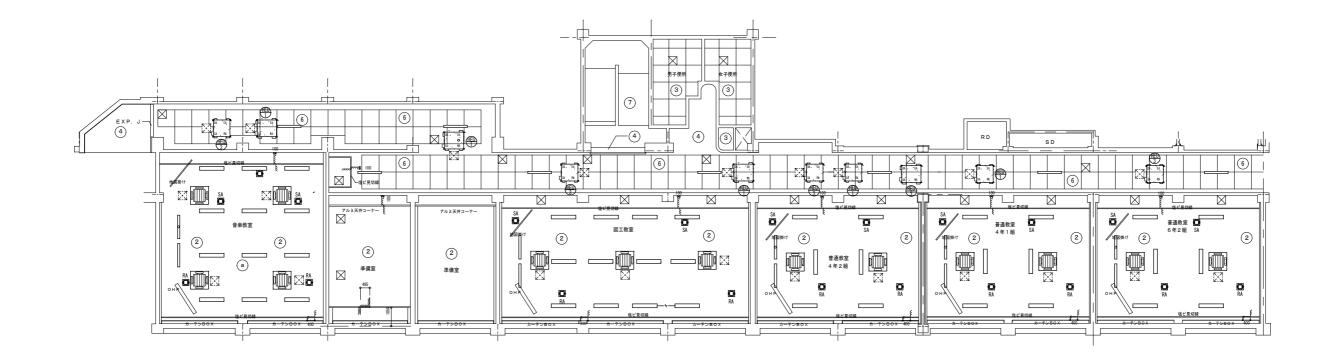
全熱交換ユニット

450x450 < 天井用点検口

| 改造後天井 | 改造後天井仕上 リスト | | | | | | | |
|-------------|--|-------|--|--|--|--|--|--|
| 1) | 軽天下地 ァ) 9. 5 穿孔石膏ホ゜ート゜目スカシ貼 EP塗 ホ゜ータ゜ 部 ァ) 9. 5 平石膏ホ゜ート゜メ目スカシEP | 塩ビ廻り縁 | | | | | | |
| 2 | 軽天下地 平石膏ホ ート ア9. 5 拾貼無機質繊維吸音板ア9貼 | 塩ビ廻り縁 | | | | | | |
| 3 | 軽天下地 ァ)5 ケイカル板 目スカシ EP塗 | 塩ビ廻り縁 | | | | | | |
| 4 | 軽天下地 ァ) 9. 5 平石膏ホ ート 目スカシ EP塗 | 塩ビ廻り縁 | | | | | | |
| 5 | 軽天下地 アルミスハ゜ンドレル | | | | | | | |
| 6 | 軽天下地 ァ) 9. 5 有孔石膏ホ゜ート゜目スカシ貼 EP塗 ホ゜ータ゜ 部 ァ) 9. 5平石膏ホ゜ート゜メ目スカシEP | 塩ビ廻り縁 | | | | | | |
| 7 | コンクリートスラフ 下 モルタル塗 現況塗材ケレンの上アクリルリシン吹付 | | | | | | | |
| a | 梁型 モルタル金コテ下地 EP塗 | | | | | | | |
| \boxtimes | アルミ枠 天井点検口 450角 | | | | | | | |

改修後 東棟 2 階天井伏図2 S = 1 / 1 0 0

| 特 | 」さくら建築設計コンサルタント -級建築±事務所 福岡県知事登録 第1-20877号 | 承認覧 | 工事名称 | 仲津小学校空調整備工事 | 図面名称 改修後 東根 | 東2階天井伏図2 |
|--------|--|-----|------|-------------|-------------|--------------|
| 記 事 | 福岡県和事登録 第1-20077号 福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL・FAX 0930 - 23 - 1956 | | | | 尺度 S=1/100 | 図面番号 A-21 |
| 項 | 管理建築士 井澤福男 一級建築士 大臣登録 第114138号 | | | | 2022年07月 | |



エアコン室内機

エアコン室外機

全熱交換ユニット

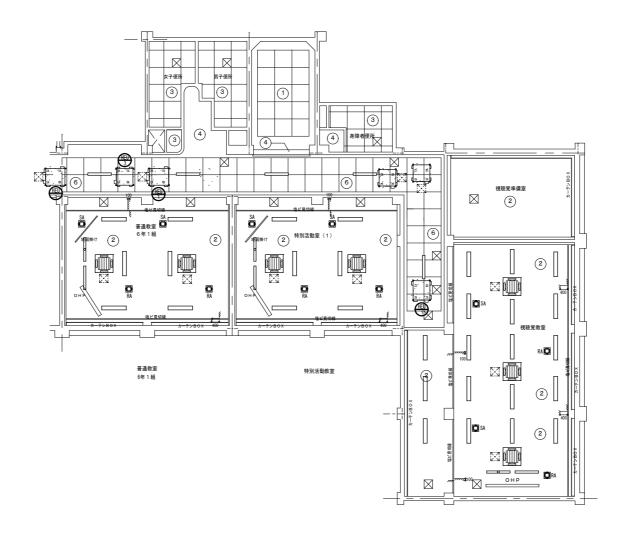
給排気グリル

450x450 天井用点検口

| 改造後天井 | 改造後天井仕上 リスト | | | | | | | |
|-------------|--|-------|--|--|--|--|--|--|
| 1) | 軽天下地 ァ) 9. 5 穿孔石膏ホ゜ート゜目スカシ貼 EP塗 ホ゜ータ゜ 部 ァ) 9. 5 平石膏ホ゜ート゜メ目スカシEP | 塩ビ廻り縁 | | | | | | |
| 2 | 軽天下地 平石膏ホ ート ア9.5 拾貼無機質繊維吸音板ア9貼 | 塩ビ廻り縁 | | | | | | |
| 3 | 軽天下地 ァ)5 ケイカル板 目スカシ EP塗 | 塩ビ廻り縁 | | | | | | |
| 4 | 軽天下地 ァ) 9. 5 平石膏ホ ート 目スカシ EP塗 | 塩ビ廻り縁 | | | | | | |
| (5) | 軽天下地 アルミスハ゜ンドレル | | | | | | | |
| 6 | 軽天下地 ァ) 9. 5 有孔石膏ホ゜ート゜目スカシ貼 EP塗 ホ゜ータ゜ 部 ァ) 9. 5 平石膏ホ゜ート゜メ目スカシEP | 塩ビ廻り縁 | | | | | | |
| 7 | コンクリートスラフ゛下 モルタル塗 現況塗材ケレンの上アクリルリシン吹付 | | | | | | | |
| a | 梁型 モルタル金コテ下地 EP塗 | | | | | | | |
| \boxtimes | アルミ枠 天井点検口 450角 | | | | | | | |

改修後 東棟3階天井伏図1 S=1/100

| 特 | さくら建築設計コンサルタント -級建築±事務所 福岡県知事登録 第1-20877号 | 承認覧 | 工事名称 | 仲津小学校空調整備工事 | 図面名称 改修後 東棟3 | 3 階天井伏図1 |
|---|--|-----|------|-------------|------------------------|--------------|
| 記 | 福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL·FAX 0930 - 23 - 1956 管理建築士 井澤福男 一級建築士 大臣登録 第114138号 | | | | R度 S=1/100 EH 2022年07月 | 図面番号 A-22 |



エアコン室内機

エアコン室外機

全熱交換ユニット

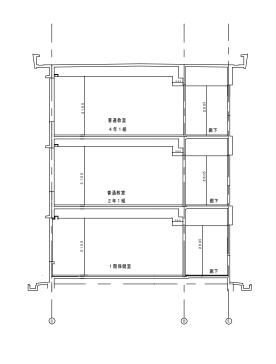
🗎 給排気グリル

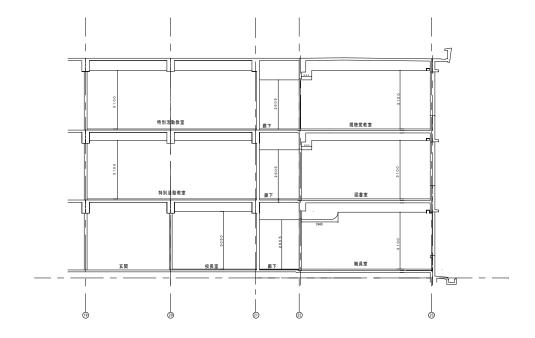
450x450 天井用点検口

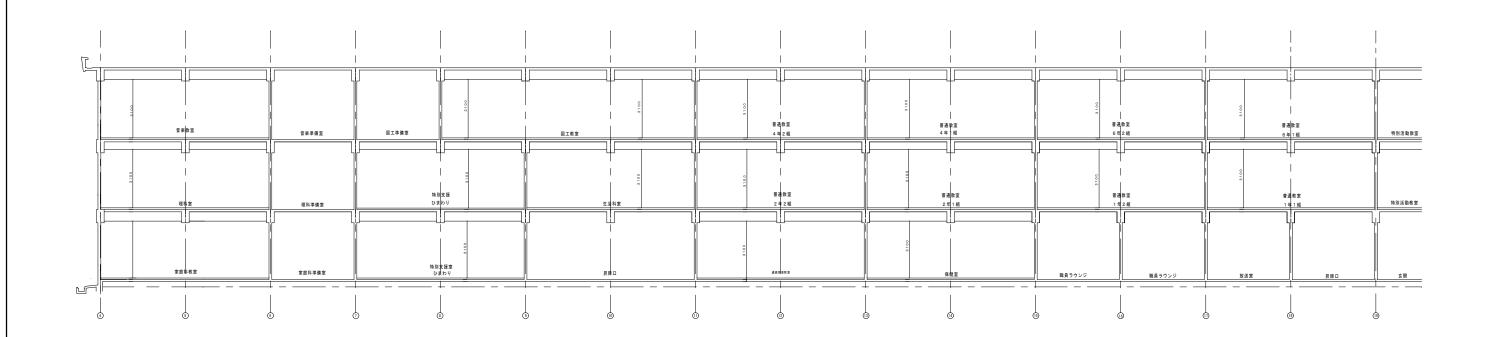
| 改造後天井 | 中仕上 リスト | |
|-------|---|-------|
| 1 | 軽天下地 ァ) 9. 5 穿孔石膏ホ ート 目スカシ貼 EP塗 ホ ータ 部 ァ) 9. 5 平石膏ホ ート メ目スカシEP | 塩ビ廻り縁 |
| 2 | 軽天下地 平石膏ホ ート ァ9. 5 捨貼無機質繊維吸音板ァ9 貼 | 塩ビ廻り縁 |
| 3 | 軽天下地 ァ)5 ケイカル板 目スカシ EP塗 | 塩ビ廻り縁 |
| 4 | 軽天下地 ァ) 9. 5 平石膏ホ゜ート゜目スカシ EP塗 | 塩ビ廻り縁 |
| 5 | 軽天下地 アルミスハ゜ンドレル | |
| 6 | 軽天下地 ァ) 9. 5 穿孔石膏ポート゚目スカシ貼 EP塗 ポータ゜ 部 ァ) 9. 5平石膏ポート゚メ目スカシEP | 塩ビ廻り縁 |
| 7 | コンクリートスラフ゜下 モルタル塗 現況塗材ケレンの上アクリルリシン吹付 | |
| а | 梁型 モルタル金コテ下地 EP塗 | |
| | アルミ枠 天井点検口 450角 | |

改修後 東棟3階天井伏図2 S=1/100

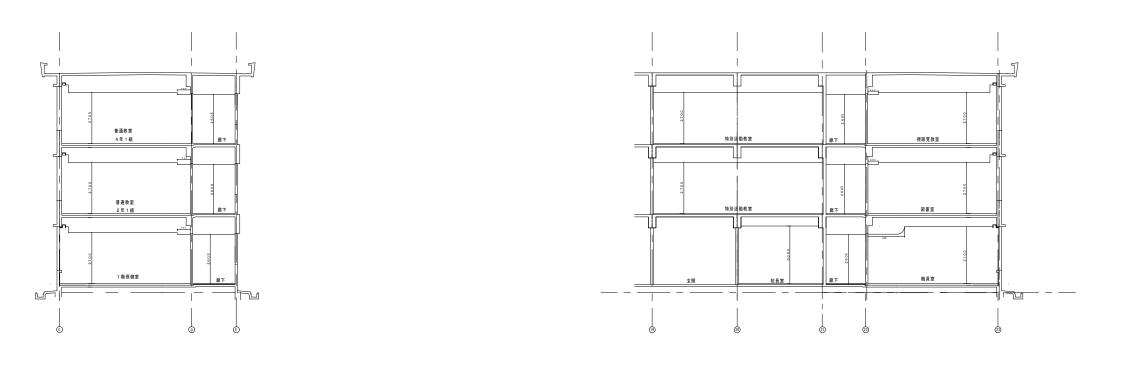
| 特 ——— | 」C\り娃呆取引コンノルメント | 承認覧 | 工事名称 | 仲津小学校空調整備工事 | 図面名称 改修後 東根 | 東3階天井伏図2 |
|-------|--|-----|------|-------------|-------------|--------------|
| 記 | 福岡県知事登録 第1-20877号 福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL・FAX 0930 - 23 - 1956 | | | | 尺度 S=1/100 | 図面番号 A-23 |
| 項 | 管理建築士 井澤福男 一級建築士 大臣登録 第114138号 | | | | 日付 2022年07月 | Α 20 |

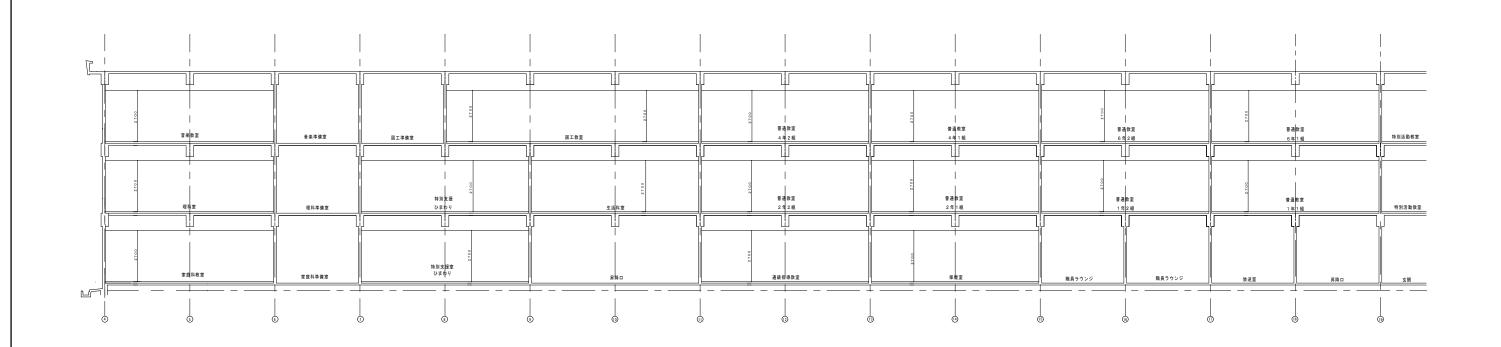




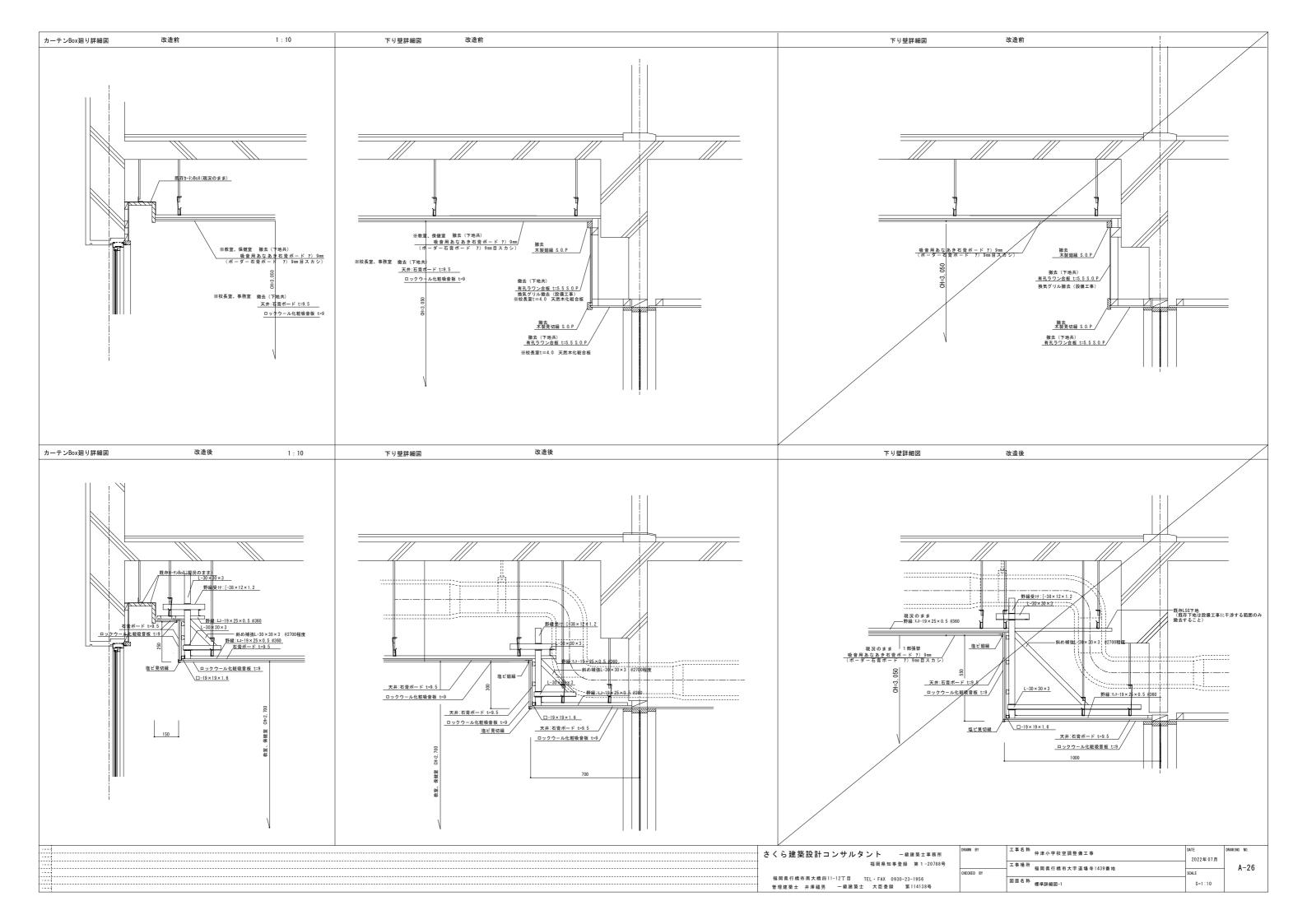


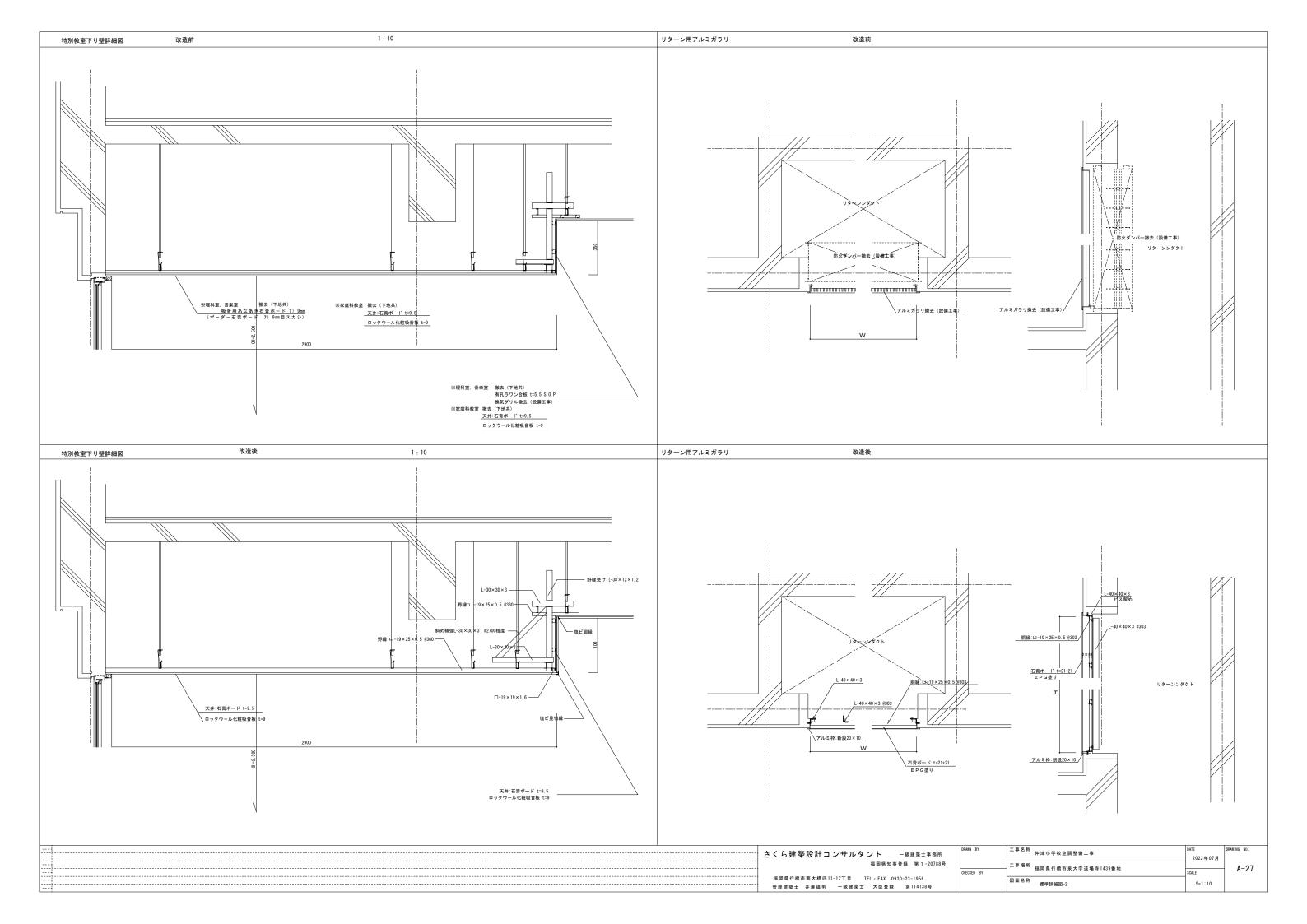
| 4 | 持一 | | 仲津小学校空調改修工事図面名称 | 改修前東 | 東東西図 |
|----|----------|---|-----------------|-------|--------------|
| 1 | 記 _ | 福岡県和華登欽 第1-20077号 福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL・FAX 0930 - 23 - 1956 | 尺度 S=1 | /100 | 図面番号 A-24 |
| Ľ, | リ | 管理建築士 井 澤 福 男 一級建築士 大臣登録 第114138号 | 日刊 202 | 2年07月 | |

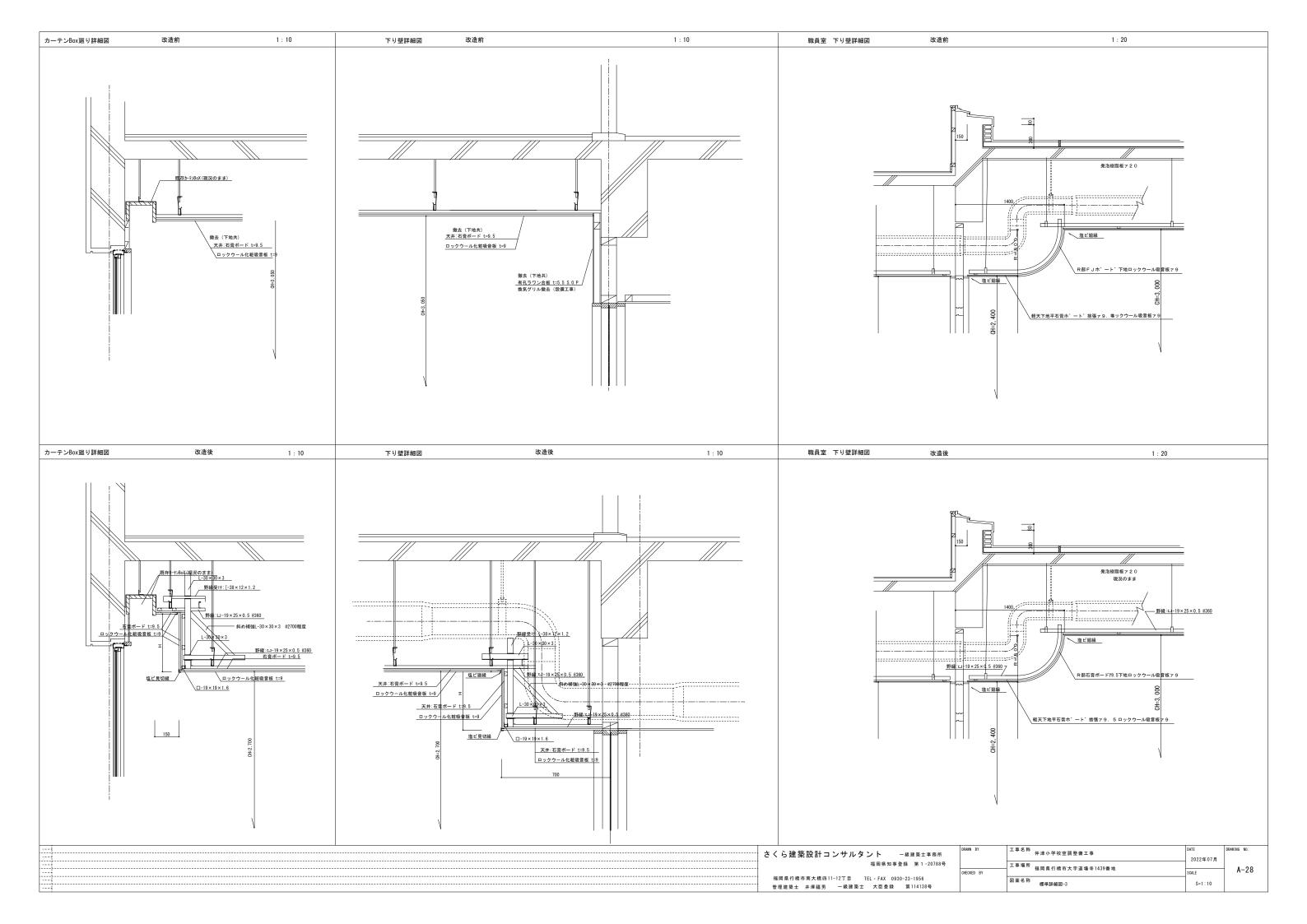


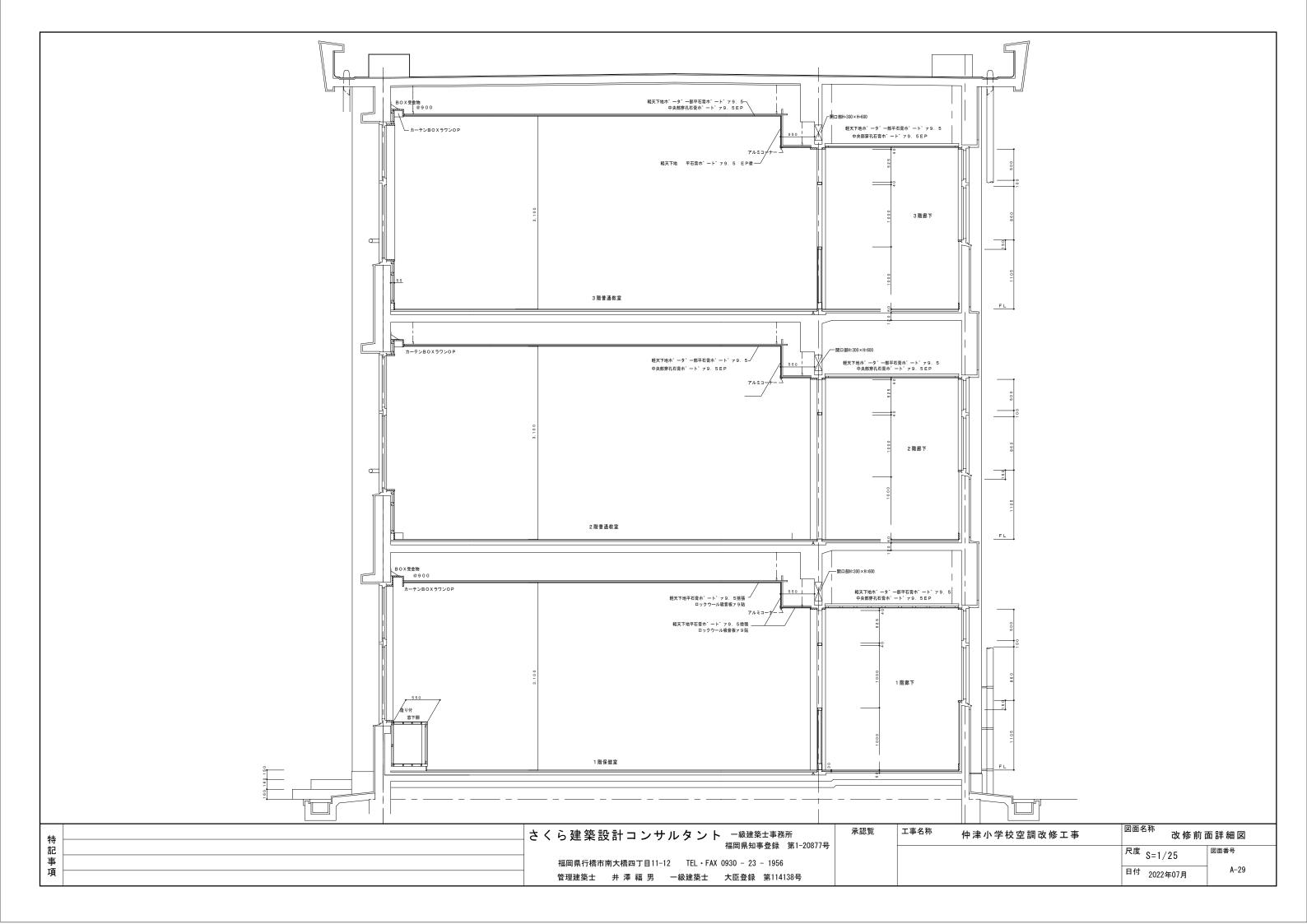


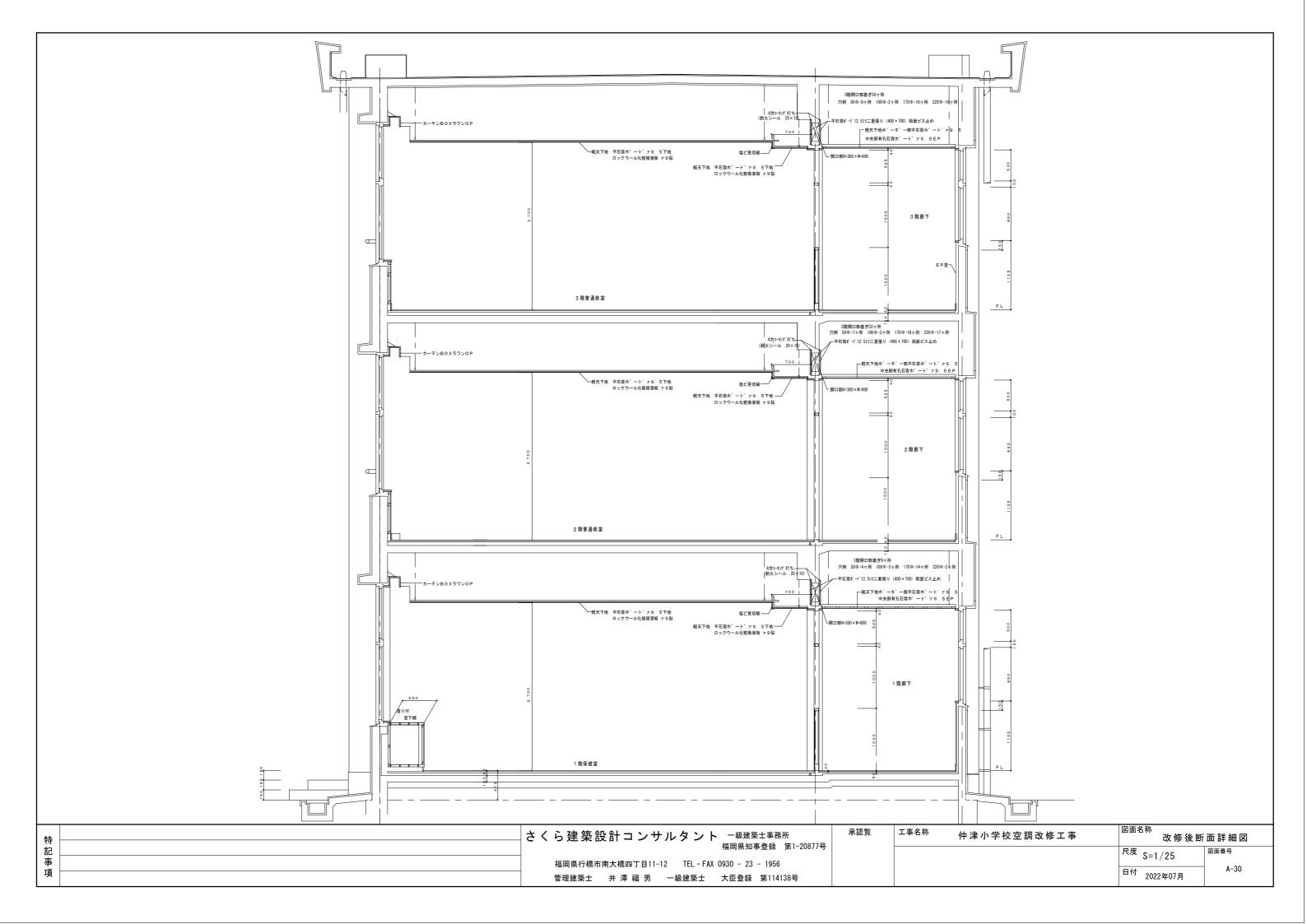
| 特 | 」さくら建築設計コンサルタント -級建築±事務所 福岡県知事登録 第1-20877号 | 承認覧 | 工事名称 | 仲津小学校空調改修工事 | 図面名称 改修後す | 東棟断面図 |
|---|---|-----|------|-------------|---------------------------|--------------|
| 記 | 福岡県和事登録 第1-20077号 福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL・FAX 0930 - 23 - 1956 管理建築士 井澤福男 一級建築士 大臣登録 第114138号 | | | | 尺度 S=1/100 日付 2022年07月 | 図面番号 |

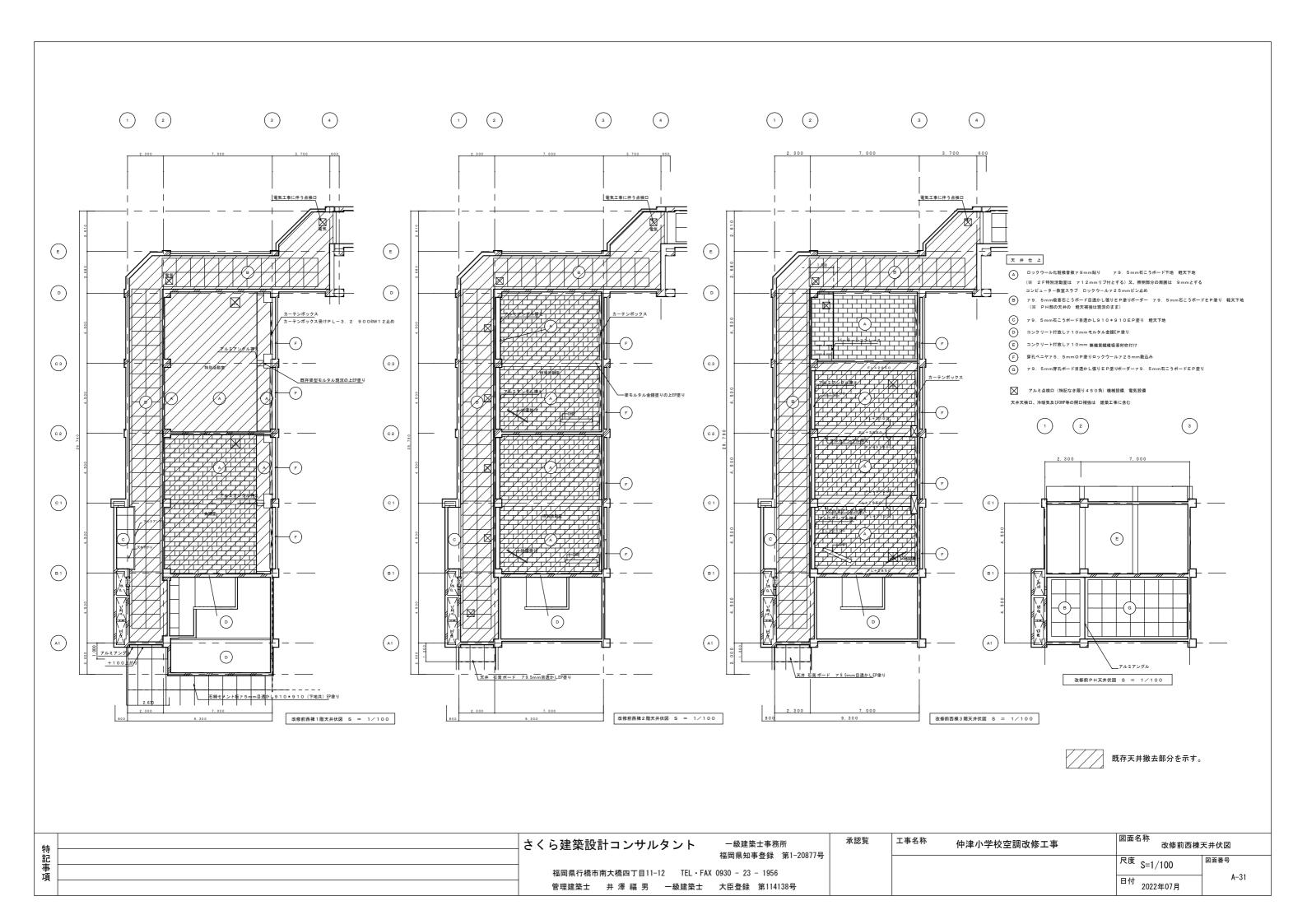


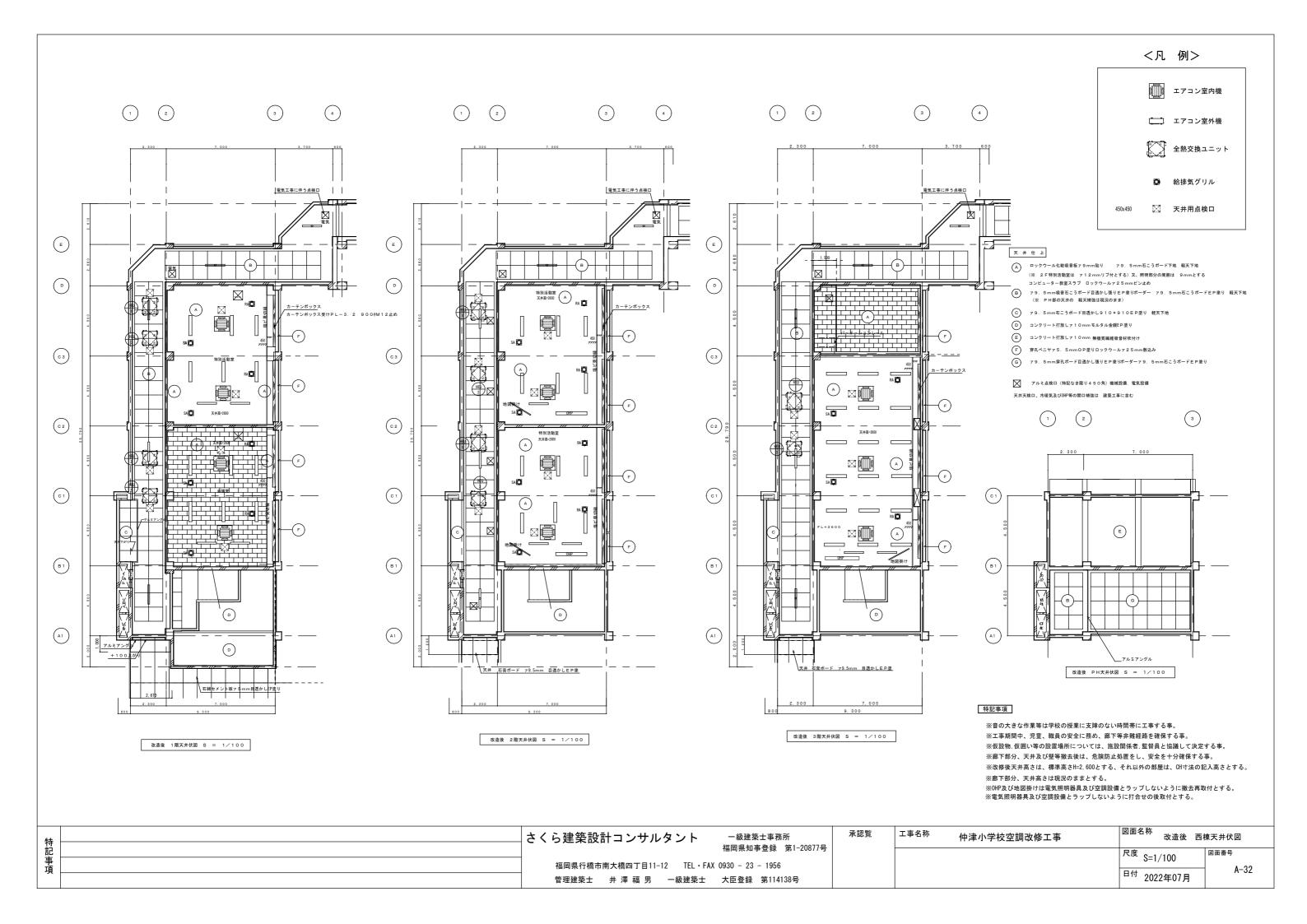




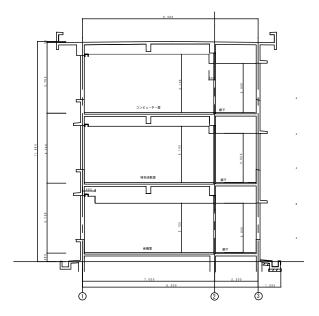


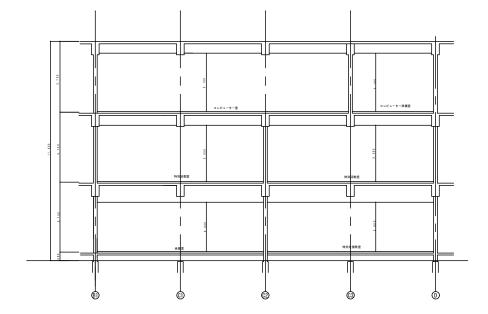




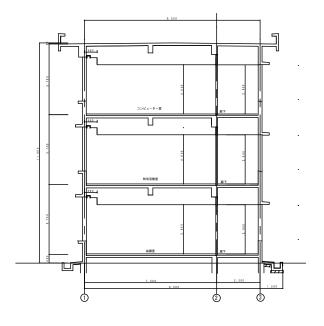


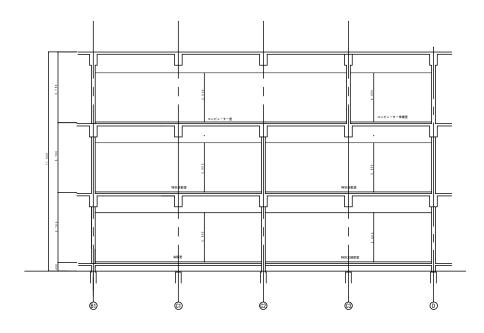
改修前西棟断面図



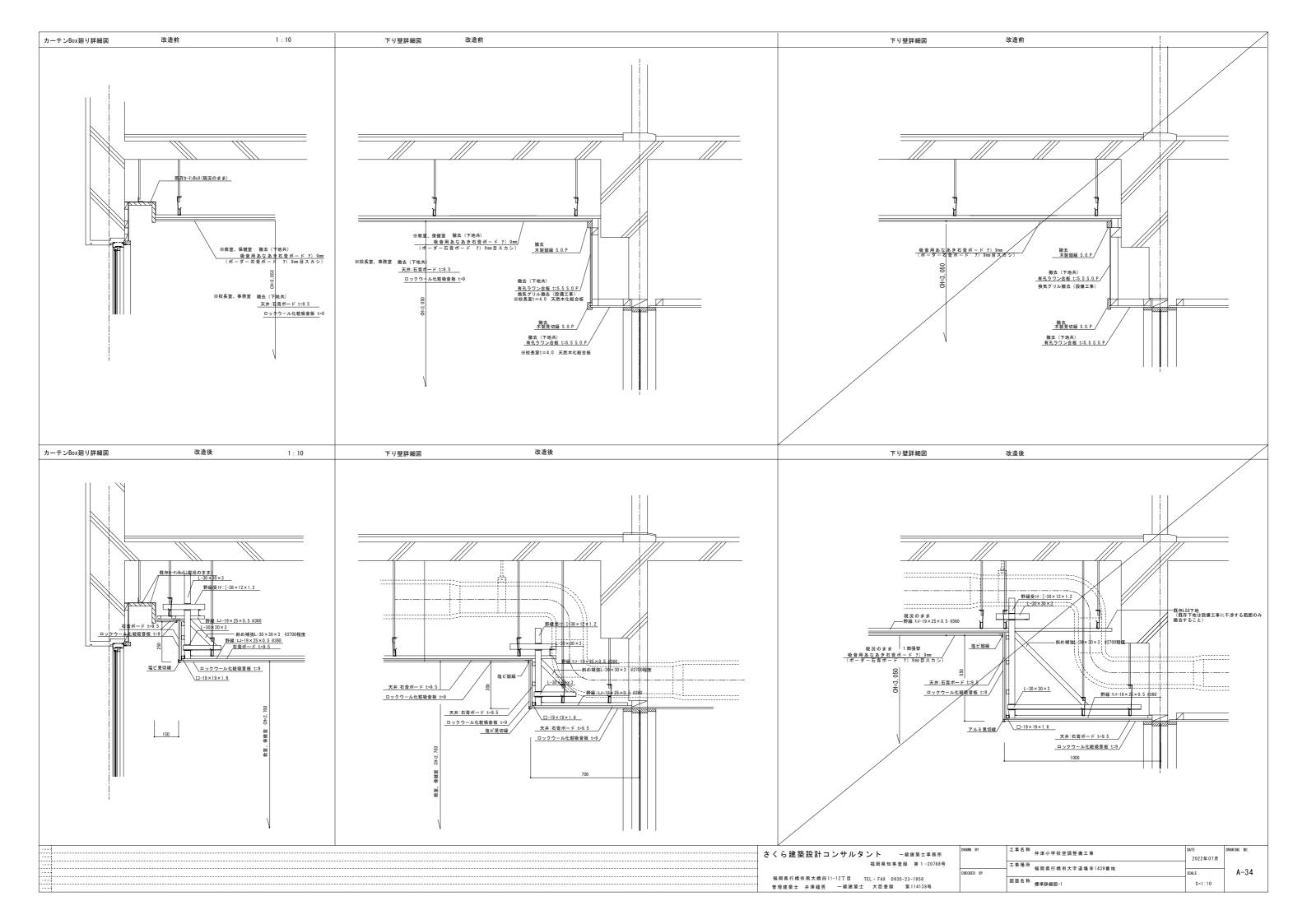


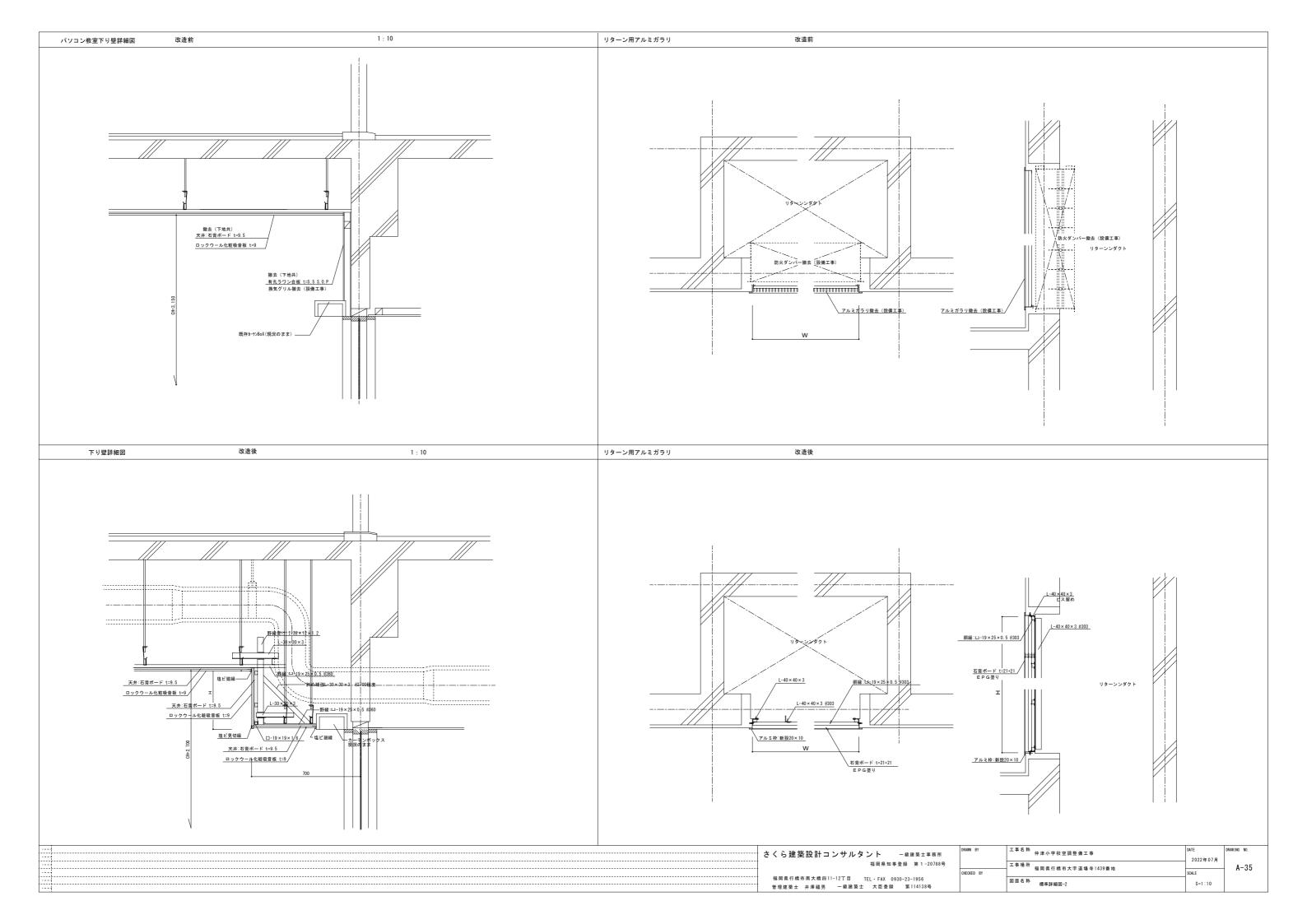
改修後西棟断面図

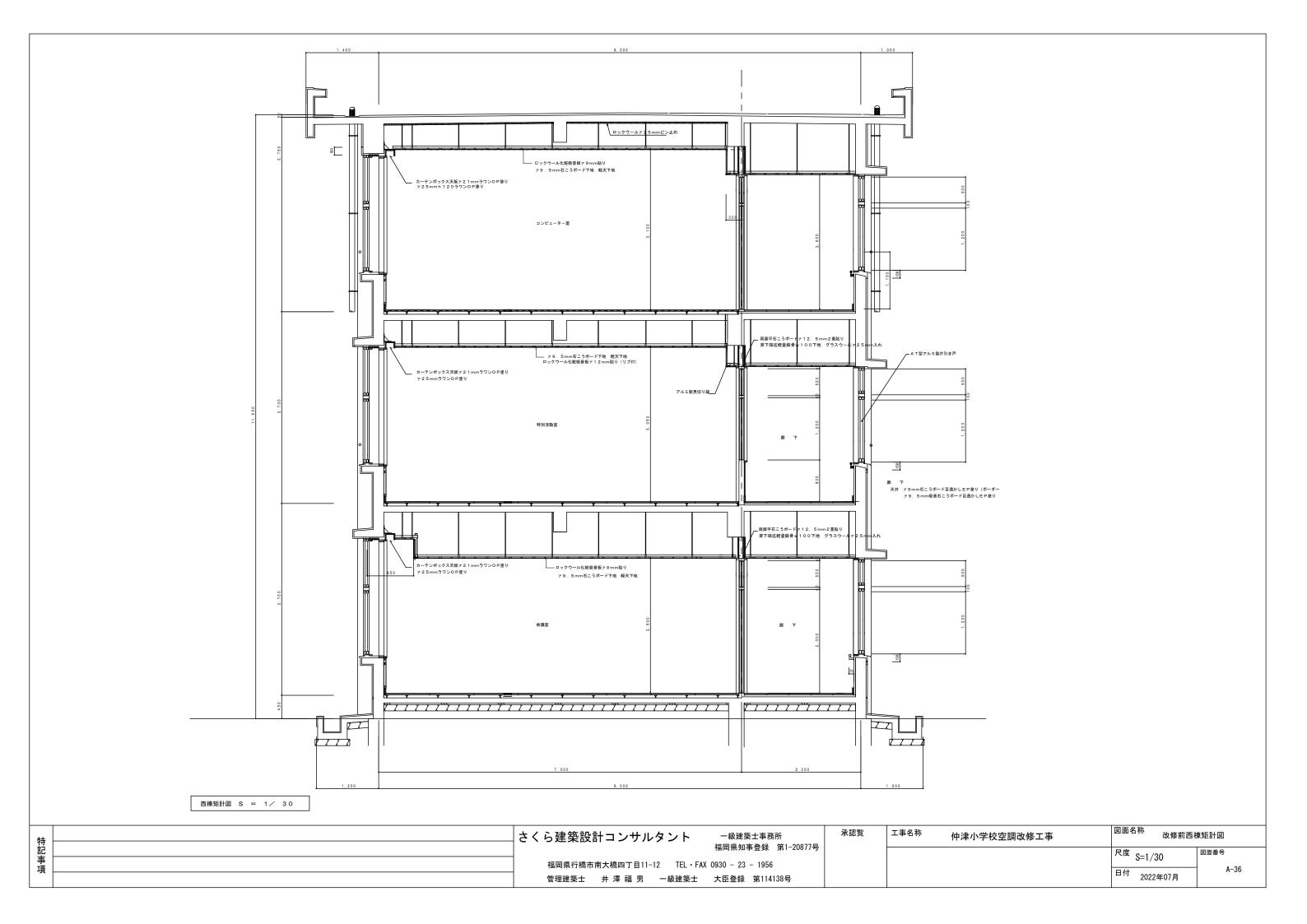


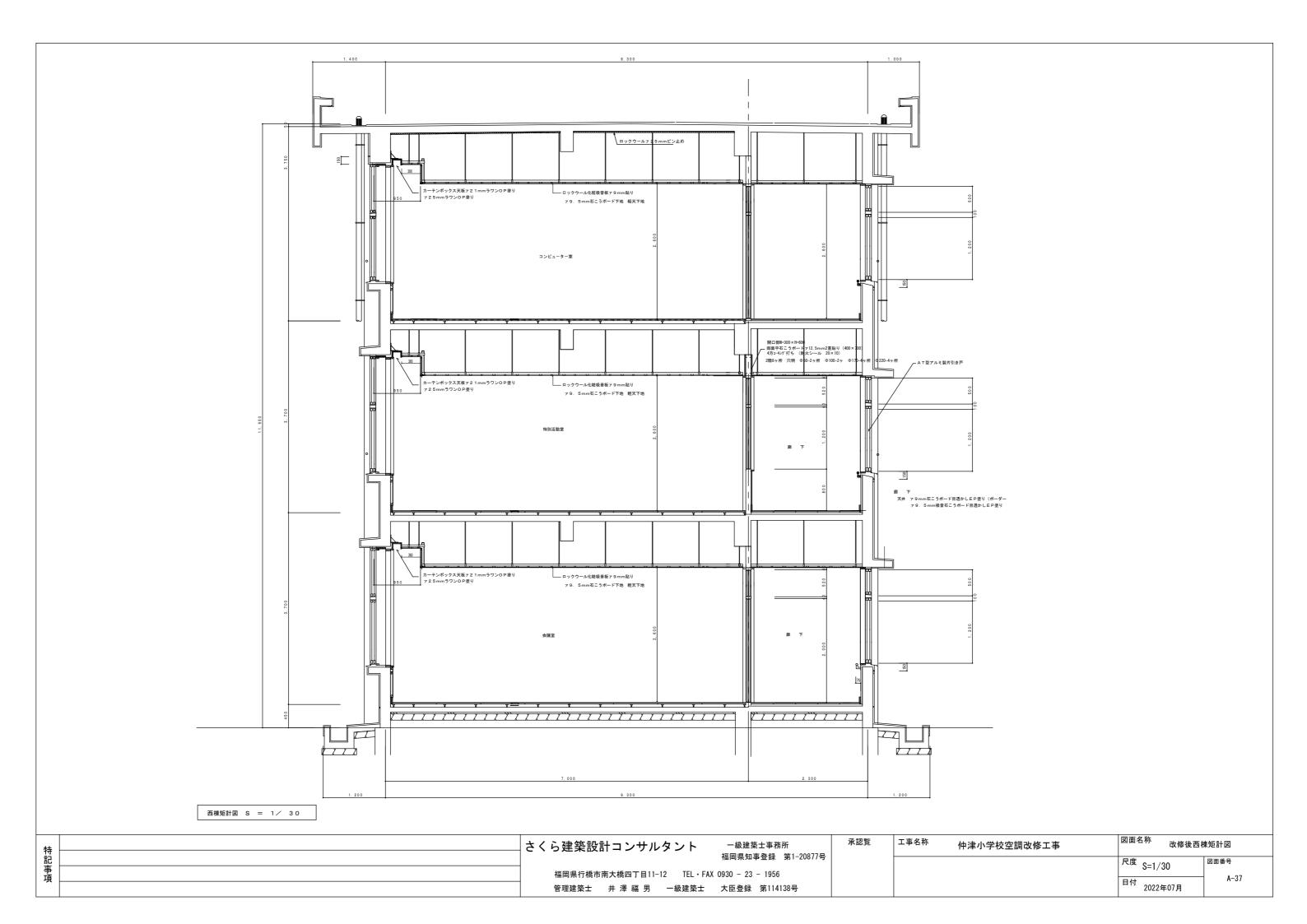


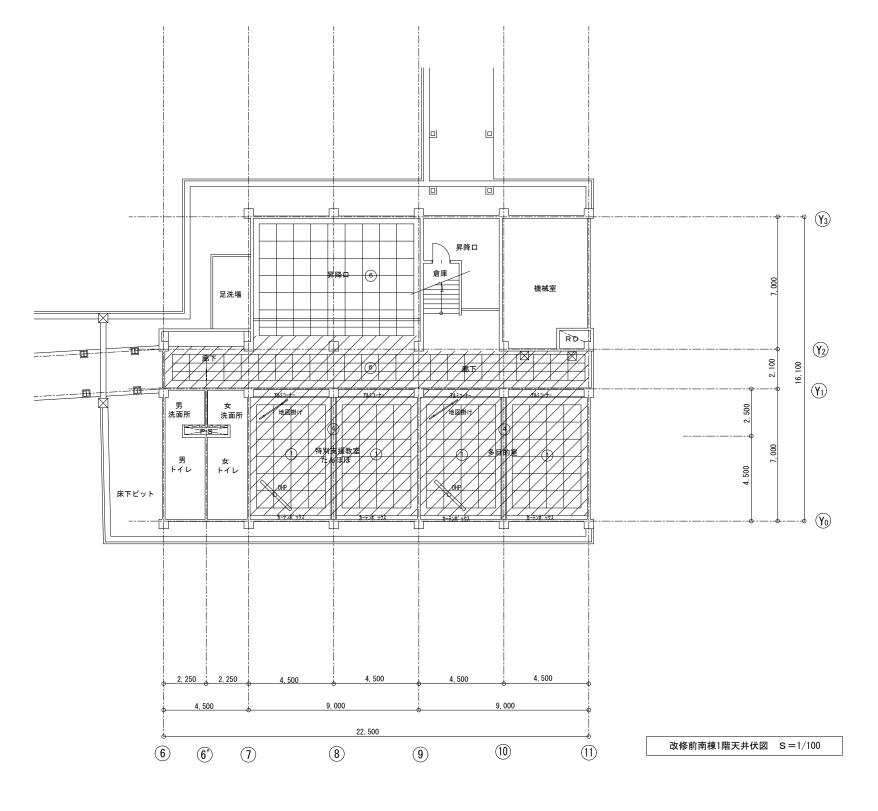
| 特 | さくら建築設計コンサルタント | 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-20877号 | 承認覧 | 工事名称 | 仲津小学校空調改修工事 | | 西棟断面図 西棟断面図 |
|-------------|--------------------------------|-------------------------------|-----|------|-------------|---------------------------|--|
| 記 事 項 | 福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL・F. では、 | AX 0930 - 23 - 1956 | | | | Rg S=1/100 日付 2022年07月 | 図面番号 ———————————————————————————————————— |









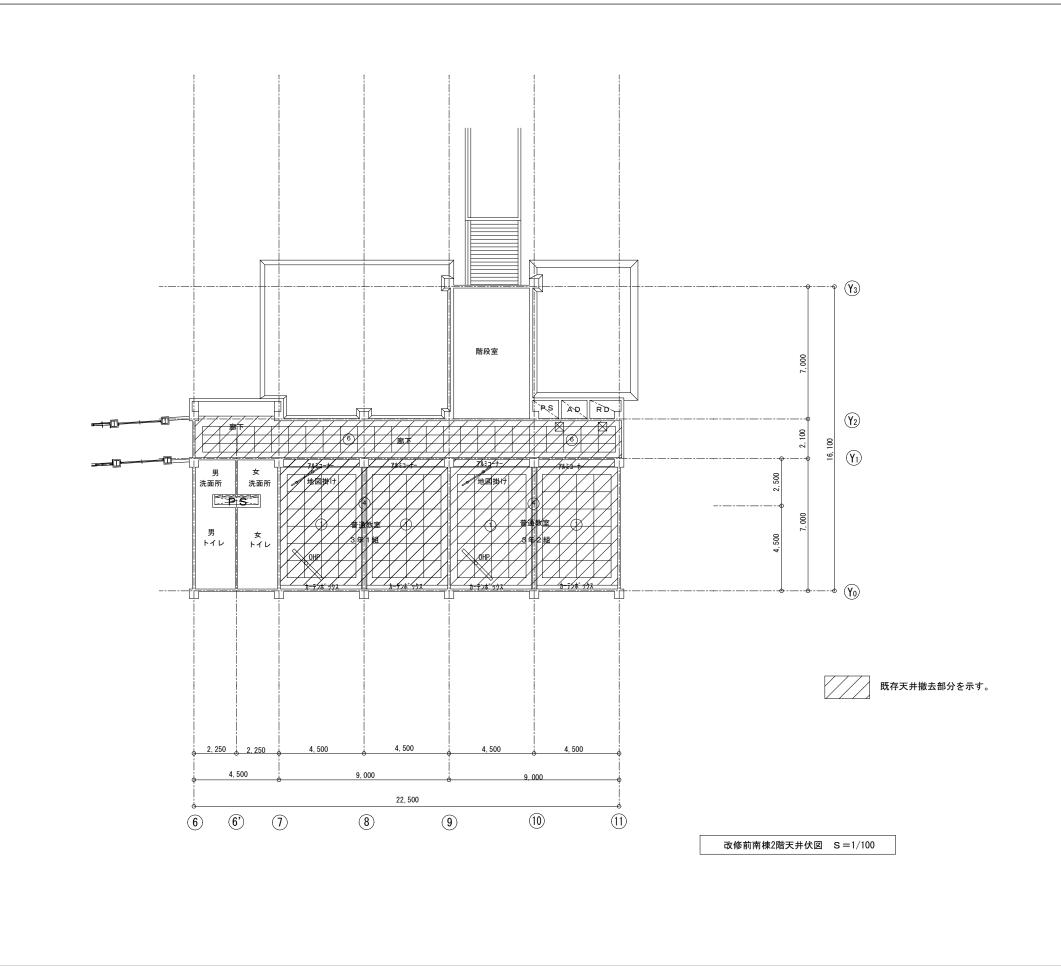


| 改造後天井 | F仕上 リスト | |
|-------------|---|-------|
| 1 | 軽天下地 ァ) 9. 5 穿孔石膏ホ゜ート゜目スカシ貼 EP塗 ホ゜ータ゜ 部 ァ) 9. 5平石膏ホ゜ート゜メ目スカシEP | 塩ビ廻り縁 |
| 2 | 軽天下地 平石膏ホ ート ア9.5 捨貼無機質繊維吸音板ア9貼 | 塩ビ廻り縁 |
| 3 | 軽天下地 ァ)5 ケイカル板 目スカシ EP塗 | 塩ビ廻り縁 |
| 4 | 軽天下地 ァ)9.5 平石膏木゛ート゛目スカシ EP塗 | 塩ビ廻り縁 |
| 5 | 軽天下地 アルミスハ゜ンドレル | |
| 6 | 軽天下地 ァ)9.5 有孔石膏ホ゜ート゜目スカシ貼 EP塗 ホ゜ータ゜ 部 ァ)9.5平石膏ホ゜ート゜メ目スカシEP | 塩ビ廻り縁 |
| 7 | コンクリートスラフ゛下 モルタル塗 現況塗材ケレンの上アクリルリシン吹付 | |
| а | 梁型 モルタル金コテ下地 EP塗 | |
| \boxtimes | アルミ枠 天井点検口 450角 | · |

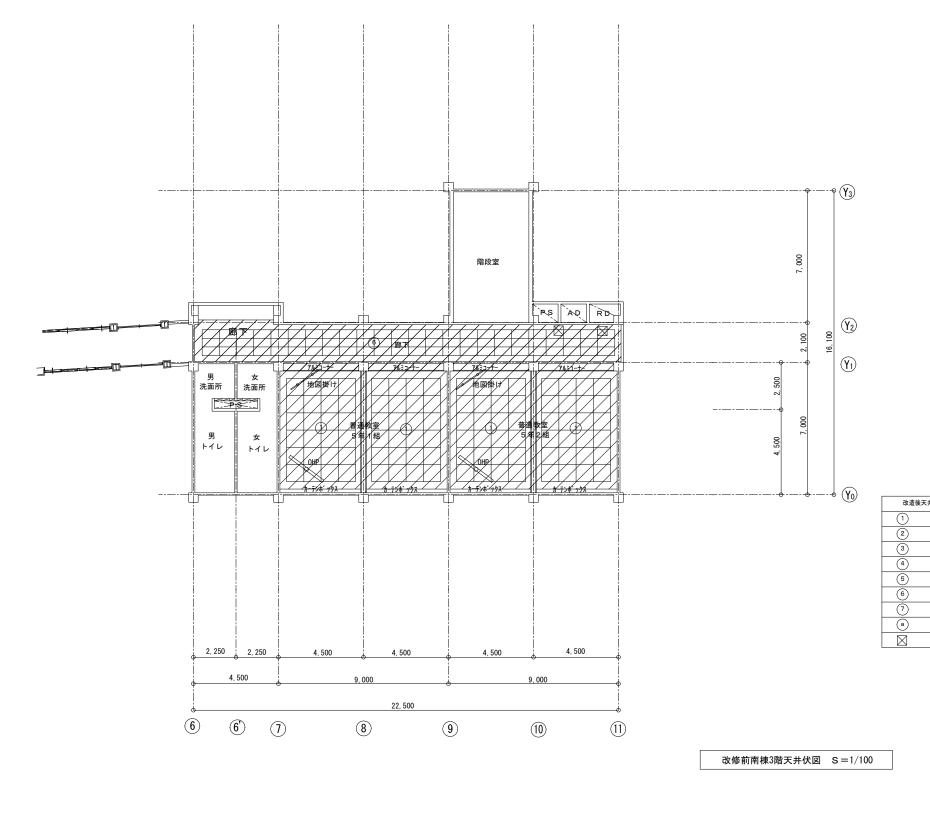


既存天井撤去部分を示す。

| | - さくら建築設計コンサルタント - 級建築±事務所 福岡県知事登録 第1-20877号 | 承認覧 | 工事名称 | 仲津小学校空調改修工事 | 図面名称 改修前南棟1階天井伏図 |
|---------|---|-----|------|-------------|---|
| 特 記 事 項 | 福岡県和東登歌 第1-20077号 福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL·FAX 0930 - 23 - 1956 管理建築士 井澤福男 一級建築士 大臣登録 第114138号 | | | | 尺度 S=1/100 日付 2022年07月 A-38 |



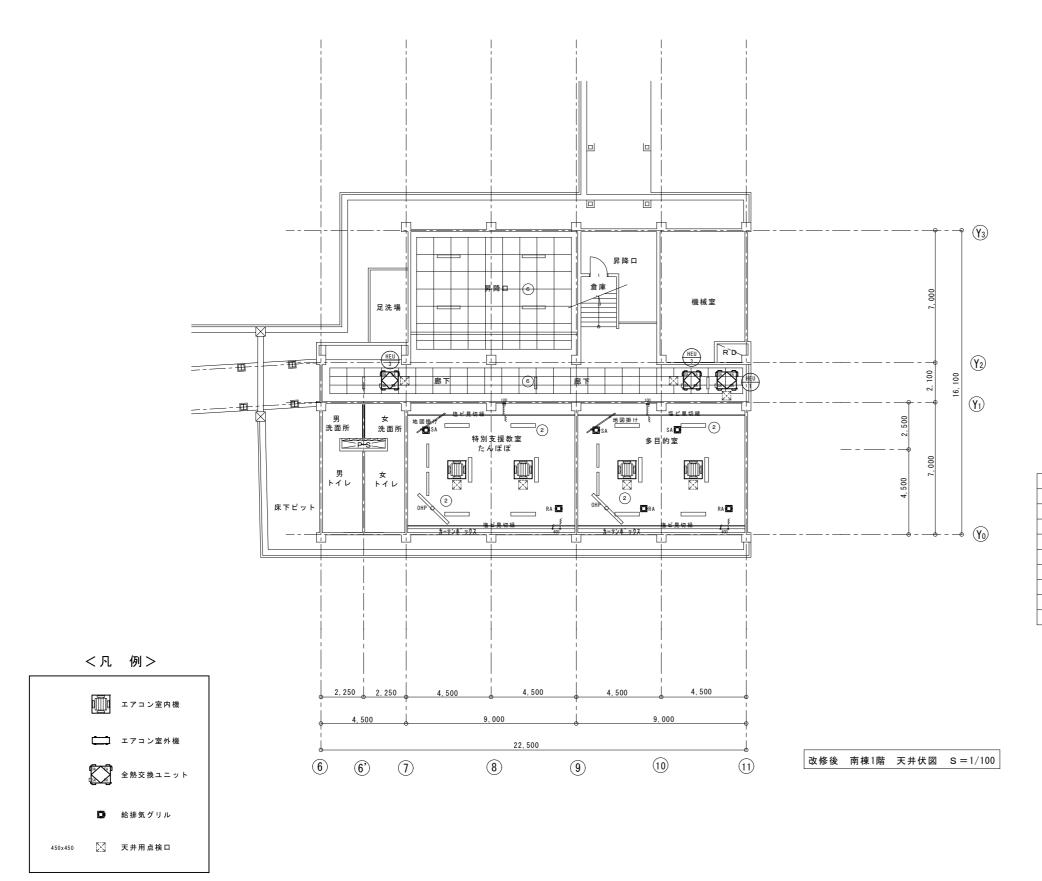
| 特 | さくら建築設計コンサルタント -級建築±事務所 福岡県知事登録 第1-20877号 | 承認覧 | 工事名称 | 仲津小学校空調改修工事 | 図面名称 改修前南棟2階天井伏図 |
|---|--|-----|------|-------------|------------------|
| 事 | 福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL・FAX 0930 - 23 - 1956 | | | | 尺度 S=1/100 図面番号 |
| 項 | 管理建築士 井澤福男 一級建築士 大臣登録 第114138号 | | | | 日付 2022年07月 A-39 |



| 改造後天纬 | 井仕上 リスト | |
|-------|---|-------|
| (1) | 軽天下地 ア) 9.5 穿孔石膏ホ*ート*目スカシ貼 EP塗ホ*ータ* 部 ア) 9.5 平石膏ホ*ート*メ目スカシEP | 塩ビ廻り縁 |
| 2 | 軽天下地 平石膏ホ*ート* ァ9. 5 拾貼無機質繊維吸音板ァ9 貼 | 塩ビ廻り縁 |
| 3 | 軽天下地 ァ)5 ケイカル板 目スカシ EP塗 | 塩ビ廻り縁 |
| 4 | 軽天下地 ァ) 9. 5 平石膏ホ゜ート゜目スカシ EP塗 | 塩ビ廻り縁 |
| 5 | 軽天下地 アルミスハ゜ンドレル | |
| 6 | 軽天下地 ァ) 9. 5 有孔石膏ホ*ート*目スカシ貼 EP塗 ホ*ータ* 部 ァ) 9. 5平石膏ホ*ート*メ目スカシEP | |
| 7 | コンクリートスラフ゛下 モルタル塗 現況塗材ケレンの上アクリルリシン吹付 | |
| а | 梁型 モルタル金コテ下地 EP塗 | |
| | アルミ枠 天井点検口 450角 | |

既存天井撤去部分を示す。

| 特 | さくら建築設計コンサルタント -級建築±事務所 福岡県知事登録 第1-20877号 | | 工事名称 | 仲津小学校空調改修工事 | 図面名称 改修前南棟3階天井伏図 |
|---|---|--|------|-------------|------------------|
| 記 | 福岡県九事宣録 第1-2087/号 福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL・FAX 0930 - 23 - 1956 | | | | 尺度 S=1/100 図面番号 |
| 項 | 管理建築士 井澤 福 男 一級建築士 大臣登録 第114138号 | | | | 日付 2022年07月 A-40 |



| 改造後天 | 井仕上 リスト | |
|------|--|-------|
| 1 | 軽天下地 ァ)9.5 穿孔石膏ポート゚目スカシ貼 EP塗 ポータ゚ 部 ァ)9.5平石膏ポート゚メ目スカシEP | 塩ビ廻り縁 |
| 2 | 軽天下地 平石膏ホ*ート*ァ9.5拾貼無機質繊維吸音板ァ9貼 | 塩ビ廻り縁 |
| 3 | 軽天下地 ァ)5 ケイカル板 目スカシ EP塗 | 塩ビ廻り縁 |
| 4 | 軽天下地 ァ)9.5 平石膏ポート゚目スカシ EP塗 | 塩ビ廻り縁 |
| 5 | 軽天下地 アルミスハ゜ンドレル | |
| 6 | 軽天下地 ァ)9.5 有孔石膏ポート゚目スカシ貼 EP塗 ポータ゚ 部 ァ)9.5平石膏ポート゚メ目スカシEP | 塩ビ廻り縁 |
| 7 | コンクリートスラフ゛下 モルタル 鐵銀 況 塗材 ケレンの上アクリルリシン吹付 | |
| a | 梁型 モルタル金コテ下地 EP塗 | |
| | アルミ枠 天井点検口 450角 | |

特記事項

※音の大きな作業等は学校の授業の支障のない時間帯に工事する事。

※工事期間中、児童、職員の安全に務め、廊下等非難経路を確保する事。

※仮設物,仮囲い等の設置場所については、施設関係者,監督員と協議して決定する事。 ※廊下部分、天井及び壁等撤去後は、危険防止処置をし、安全を十分確保する事。

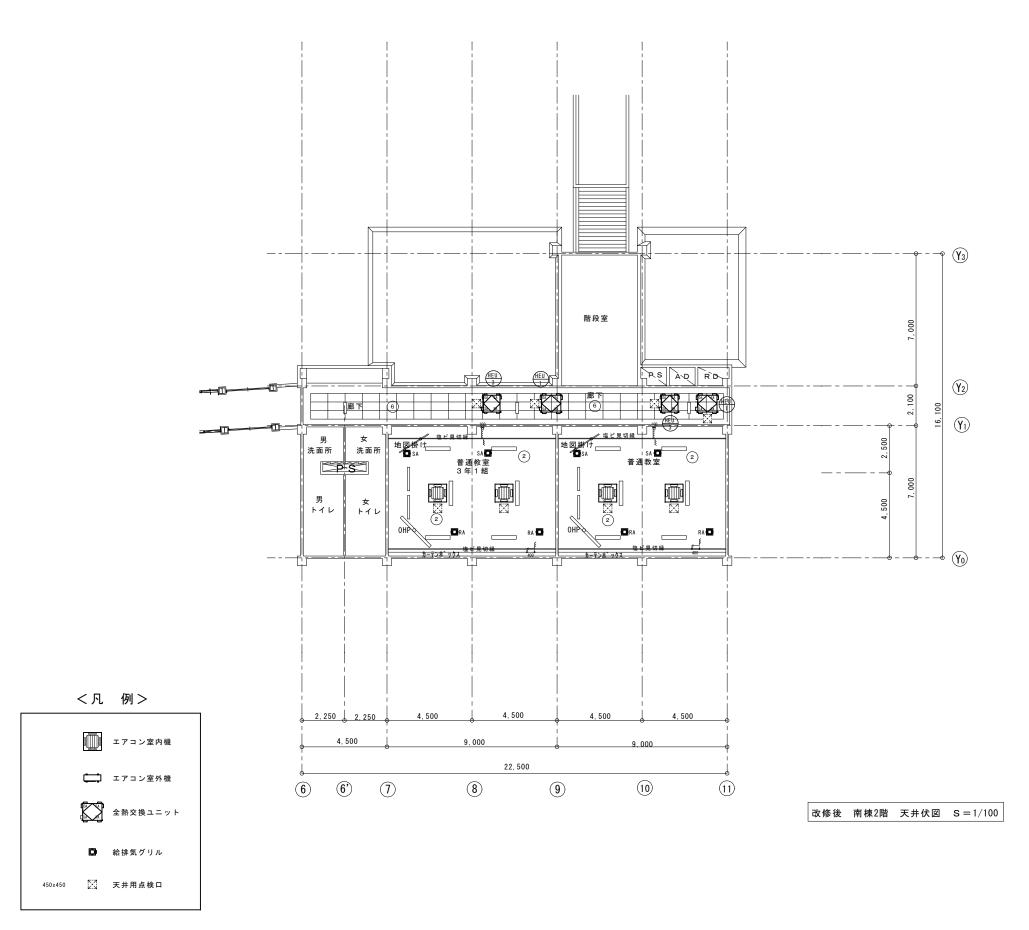
※改修後天井高さは、標準高さH=2,700とする、それ以外の部屋は、CH寸法の記入高さとする。

※職員室は、極力使用できる様配慮する事、天井高さは現況のままとする。

※廊下部分、天井高さは現況のままとする。

※OHP及び地図掛けは電気照明器具及び空調設備とラップしないように撤去再取付とする。

| | さくら建築設計コンサルタント -級建築士事務所 | 承認覧 | 工事名称 | 仲津小学校空調改修工事 | 図面名称 改修後南根 | 1階天井伏図 |
|-----------------------|-------------------------|-----|------|-------------|---------------------------------|--------------|
| 特 記 事 項 _ | 福岡県知事登録 第1-20877号 | | | | R度 S=1/100 日付 2022年07月 | 図面番号 A-41 |



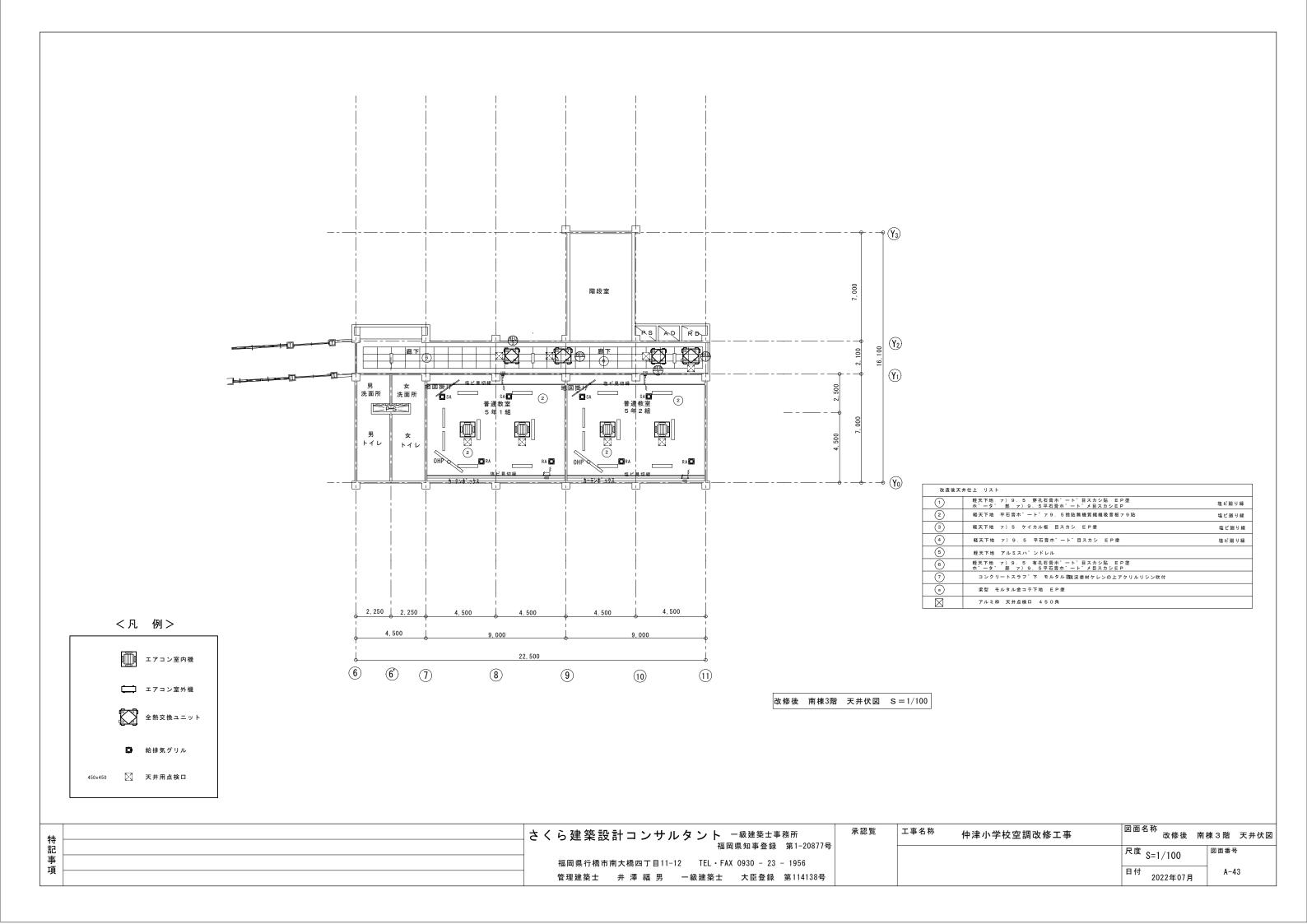
| 改造後天 | 井仕上 リスト | |
|-------------|--|-------|
| 1 | 軽天下地 ァ)9.5 穿孔石膏ポート゚目スカシ貼 EP塗 ポータ゜ 部 ァ)9.5平石膏ポート゚メ目スカシEP | 塩ビ廻り縁 |
| 2 | 軽天下地 平石膏ホ*ート*ァ9.5拾貼無機質繊維吸音板ァ9貼 | 塩ビ廻り縁 |
| 3 | 軽天下地 ァ)5 ケイカル板 目スカシ EP塗 | 塩ビ廻り縁 |
| 4 | 軽天下地 ァ)9.5 平石膏ホ*ート*目スカシ EP塗 | 塩ビ廻り縁 |
| 5 | 軽天下地 アルミスハ゜ンドレル | |
| 6 | 軽天下地 ァ)9.5 有孔石膏ポート゚目スカシ貼 EP塗 ポータ゚ 部 ァ)9.5平石膏ポート゚メ目スカシEP | 塩ビ廻り縁 |
| 7 | コンクリートスラフ゛下 モルタル遊り況塗材ケレンの上アクリルリシン吹付 | |
| а | 梁型 モルタル金コテ下地 EP塗 | |
| \boxtimes | アルミ枠 天井点検口 450角 | |

特記事項

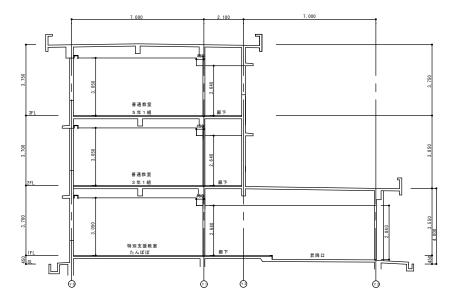
さくら建築設計コンサルタント -級建築±事務所 福岡県知事登録 第1-20877号 福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL·FAX 0930 - 23 - 1956

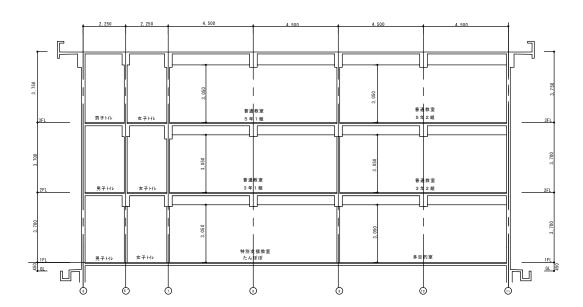
図面名称 改修後 南棟2階 天井伏図 仲津小学校空調改修工事 図面番号 ^{尺度} S=1/100 南棟 2階 天井伏図 日付 2022年07月 A-42

管理建築士 井澤福男 一級建築士 大臣登録 第114138号

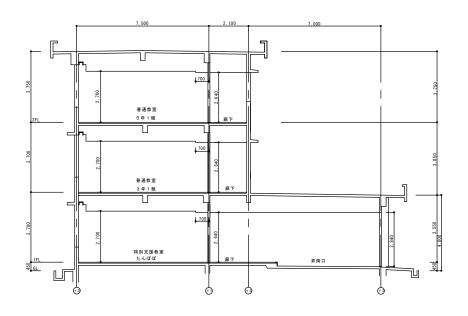


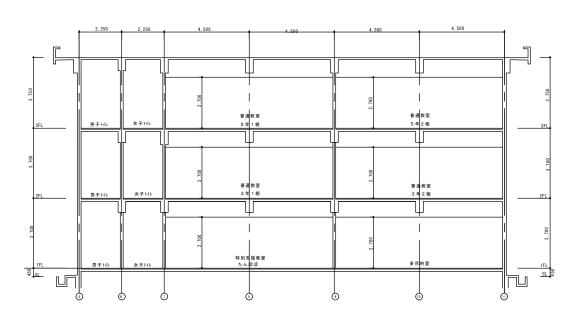
改修前南棟断面図



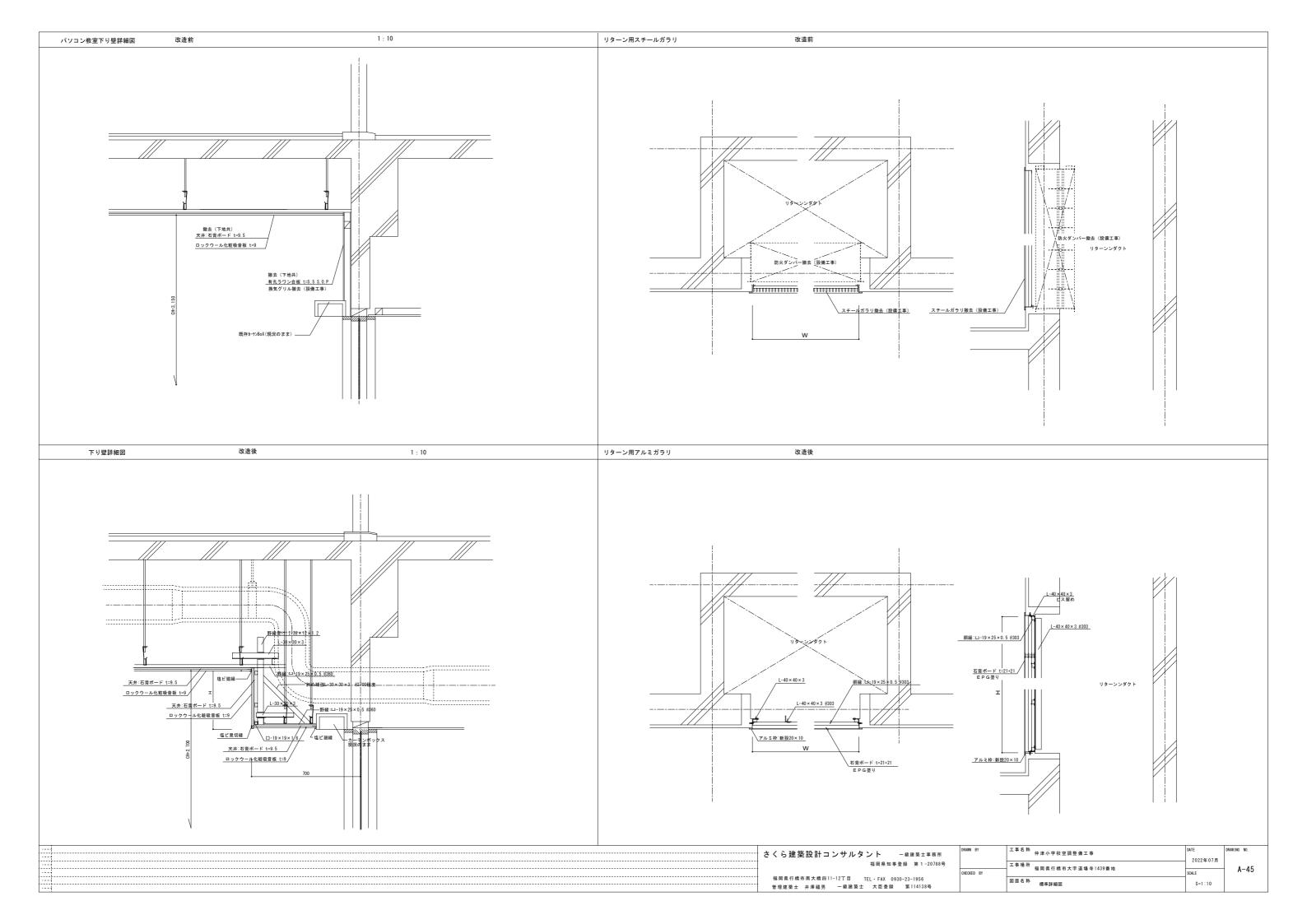


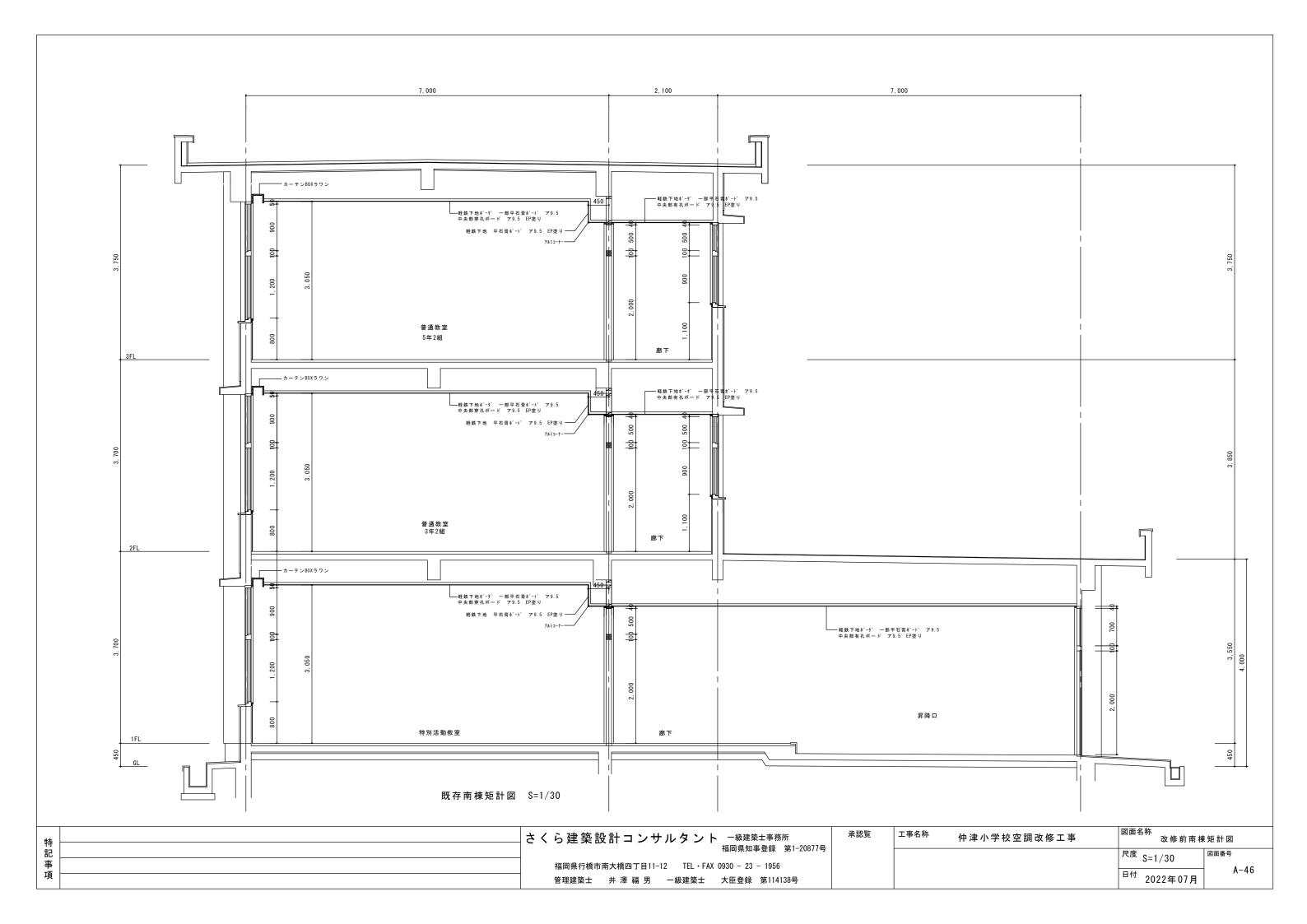
改修後南棟断面図

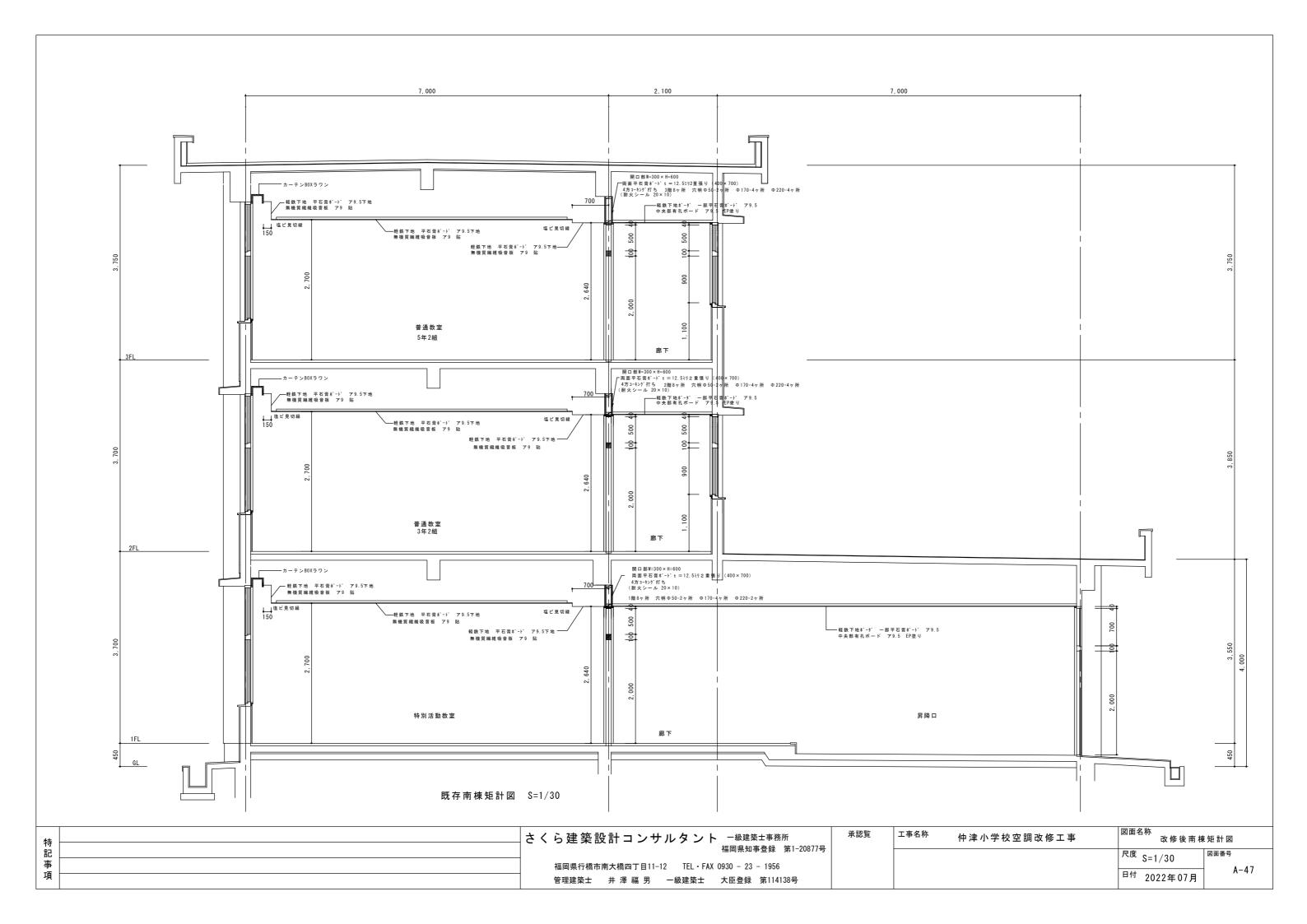


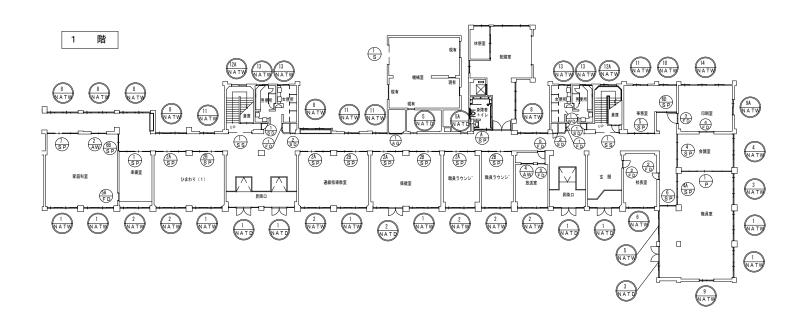


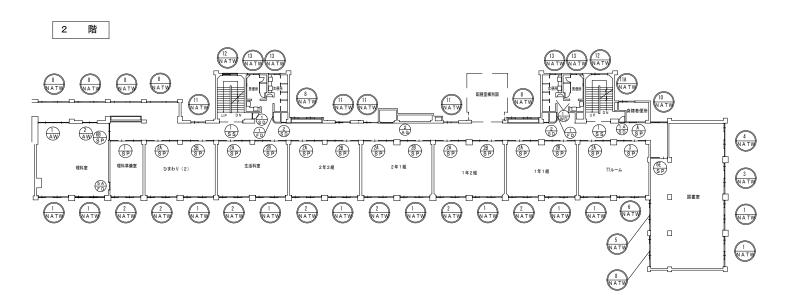
| 4 | ; · | さくら建築設計コンサルタント -級建築±事務所 福岡県知事登録 第1-20877号 | 承認覧 | 工事名称 | 仲津小学校空調改修工事 | 図面名称 |
|--------|-----|---|-----|------|----------------------|---|
|] [| | 福岡県和事登録 第1-2007/号 福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL・FAX 0930 - 23 - 1956 管理建築士 井澤福男 一級建築士 大臣登録 第114138号 | | | 改修前南棟断面図 改修後南棟断面図 | 尺度 S=1/100 日付 2022年07月 A-44 |
| | | | | | | , |



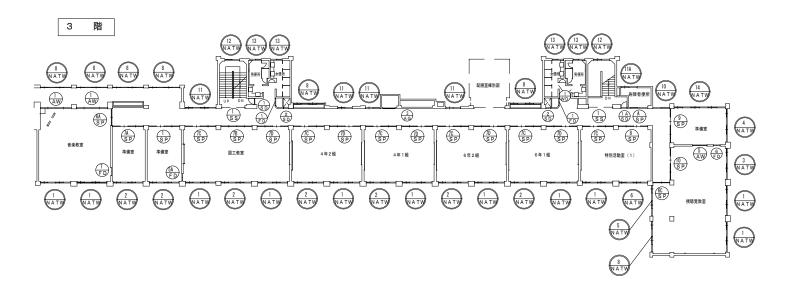


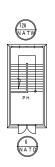




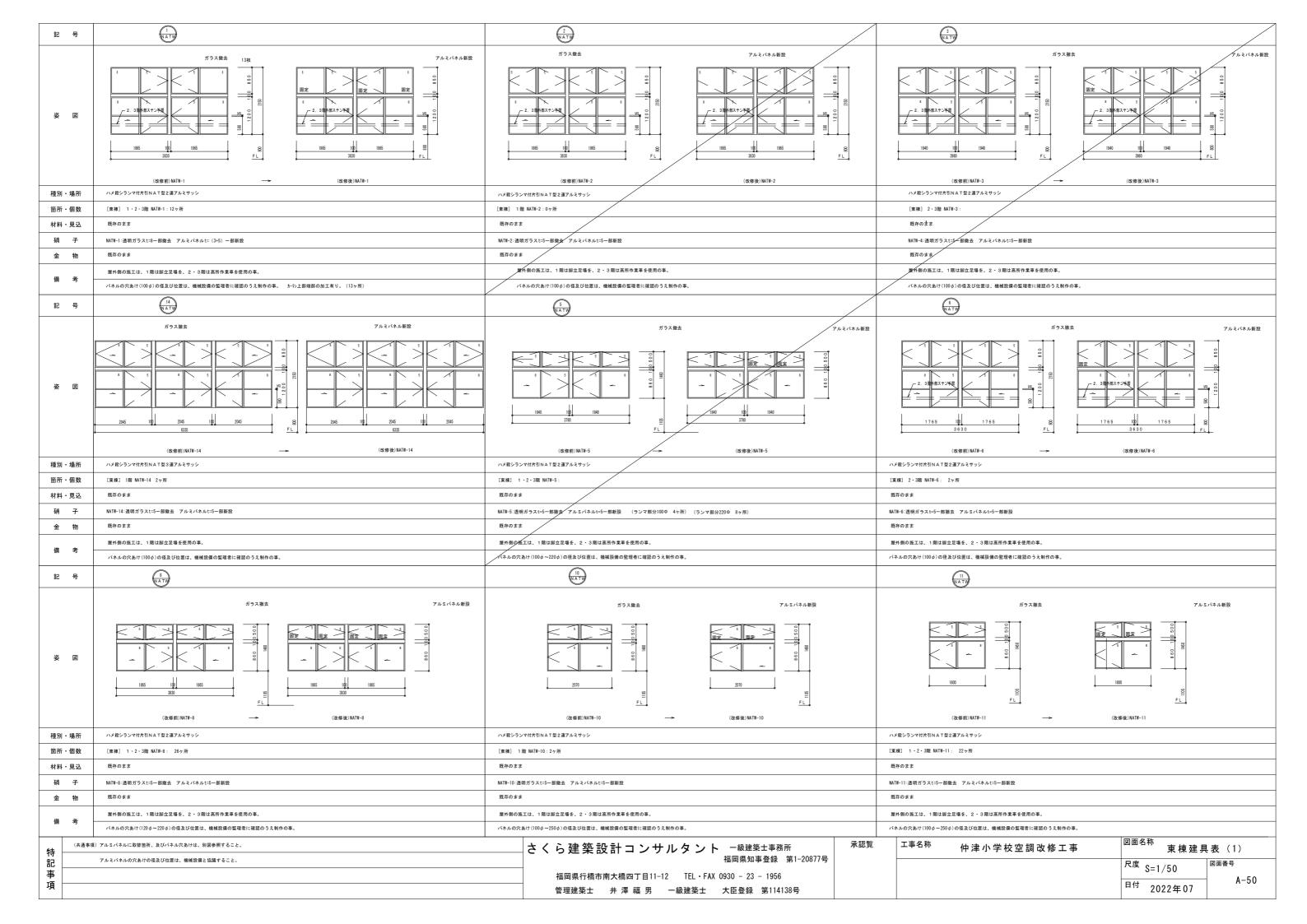


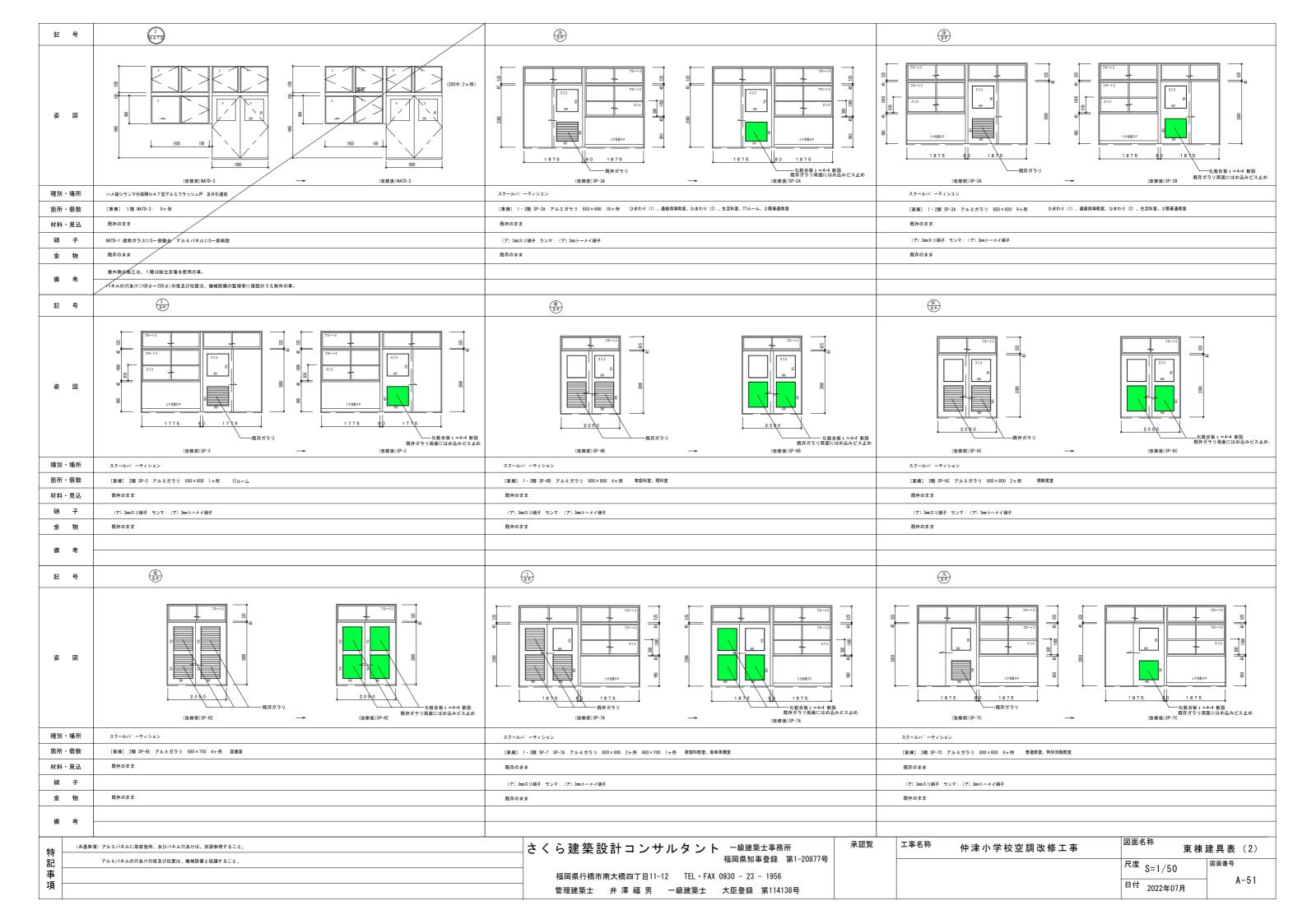
| 特 | F | さくら建築設計コンサルタントー級建築士事務所 | 承認覧 | 工事名称 | 仲津小学校空調改修工事 | 図面名称 東棟1階、2階建具キープラン |
|----|----------|---|-----|------|-------------|----------------------|
| 記事 | 3 | 福岡県知事登録 第1-20877号 福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL・FAX 0930 - 23 - 1956 | | | | 尺度 S=1/100 図面番号 A-48 |
| 項 | [| 管理建築士 井澤福男 一級建築士 大臣登録 第114138号 | | | | 日付 2022年07月 |



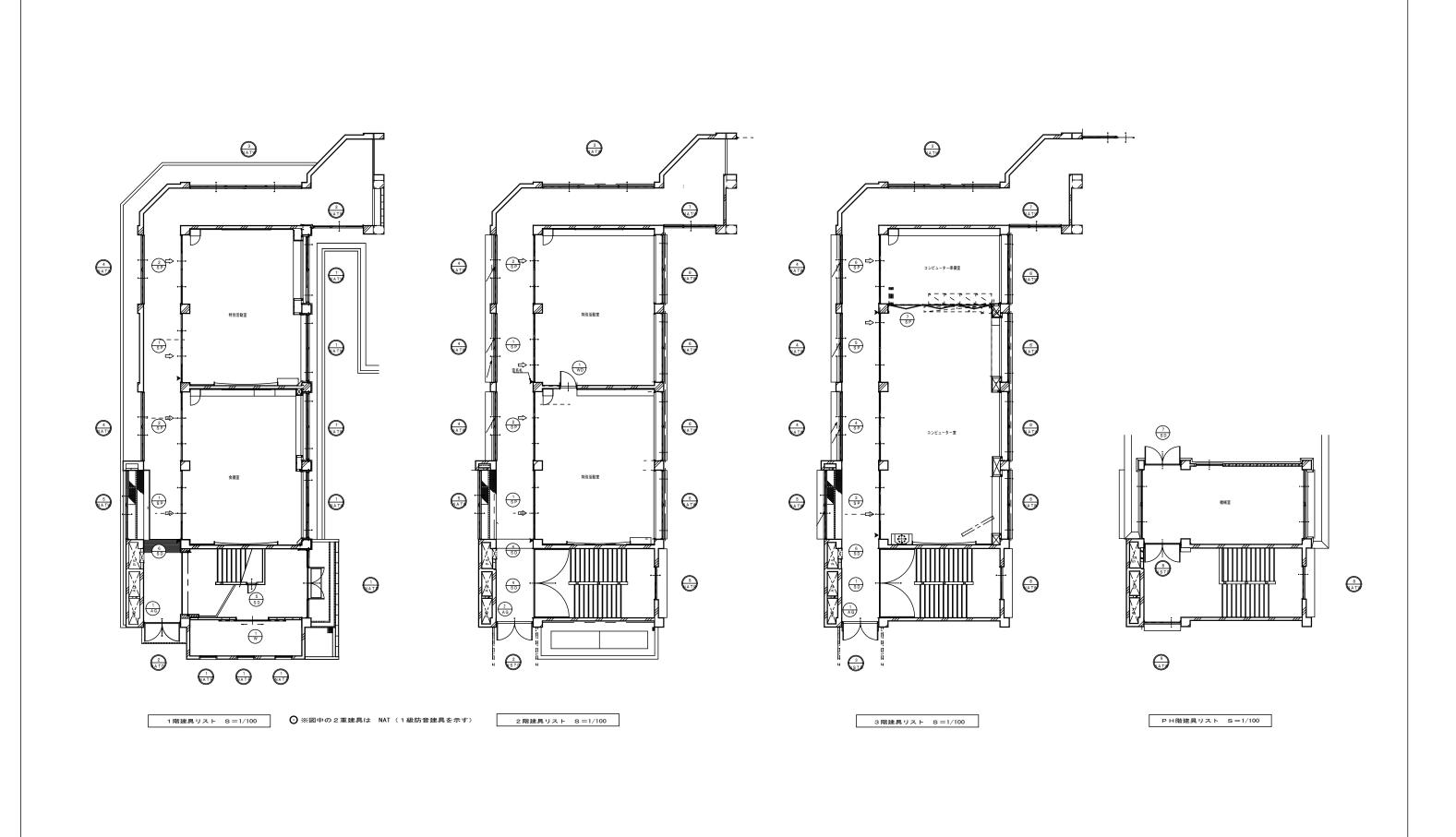


| 特 | さくら建築設計コンサルタント -級建築±事務所 福岡県知事登録 第1-20877号 | 承認覧 | 工事名称 | 仲津小学校空調改修工事 | 図面名称 東棟建具3 | 階キープラン |
|-------------|---|-----|------|-------------|---------------------------------|----------------|
| 記 事 項 | 福岡県和事豆球 第1-20077号 福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL・FAX 0930 - 23 - 1956 管理建築士 井澤福男 一級建築士 大臣登録 第114138号 | | | | 尺度 S=1/100 日付 2022年07月 | 図面番号 - A-49 |

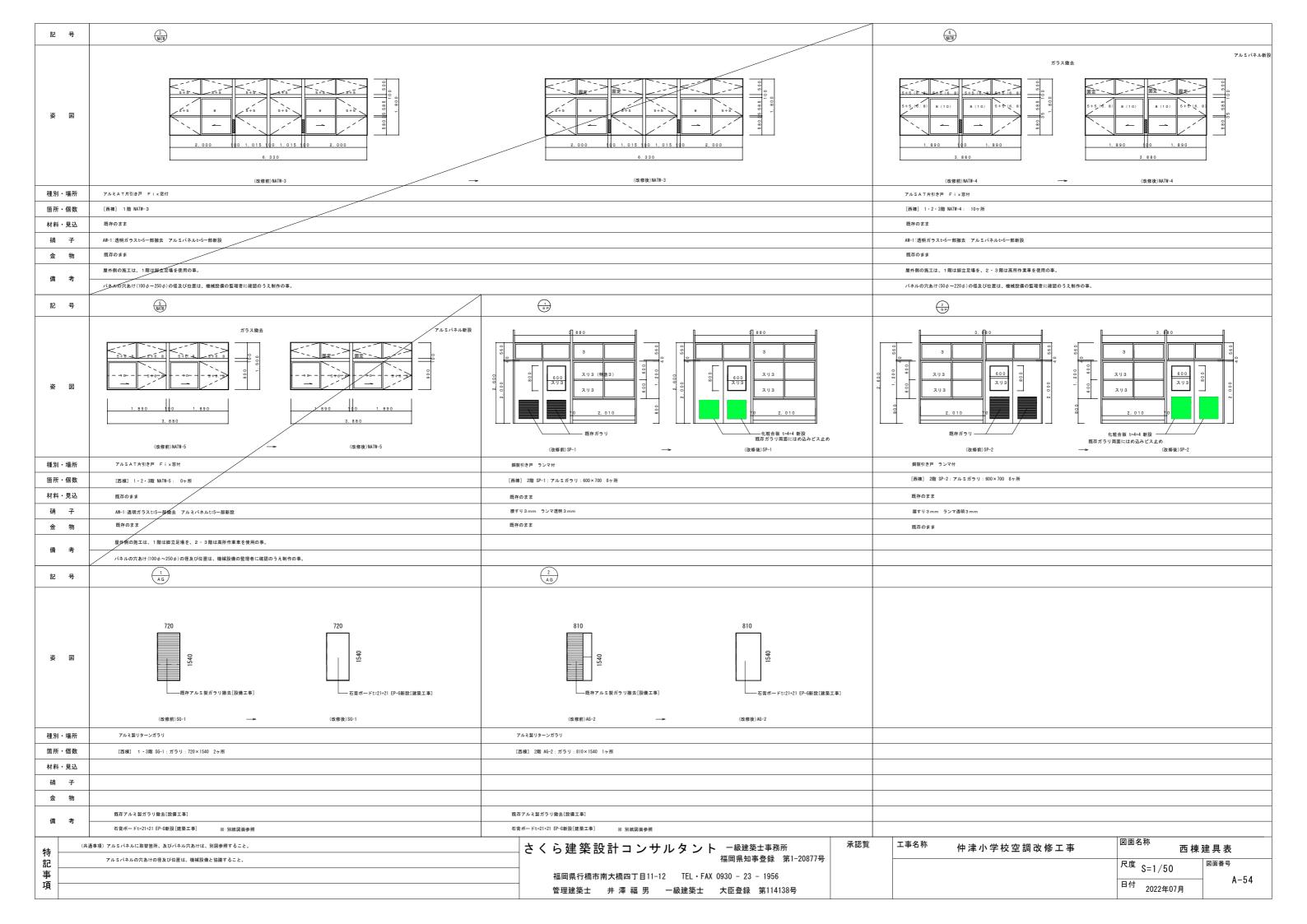


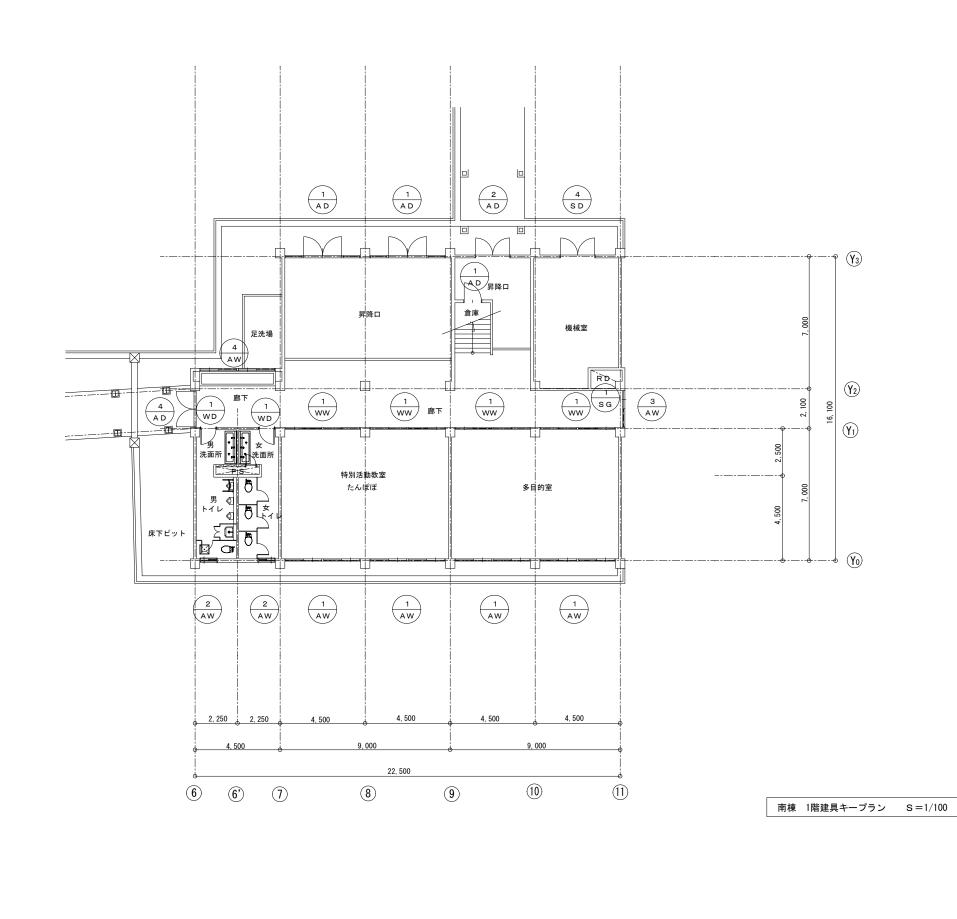




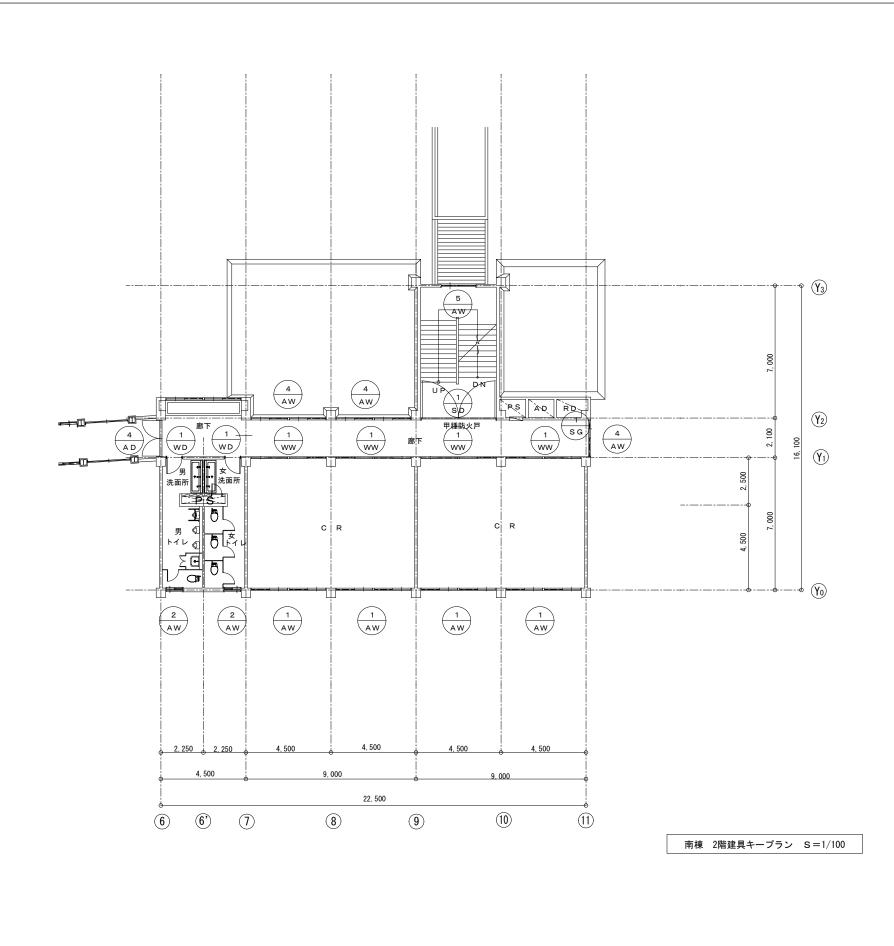


| 特 | さくら建築設計コンサルタント | 一級建築士事務所 | 承認覧 | 工事名称 | 仲津小学校空調改修工事 | 図 ^{面名称} 西棟建 | 具キープラン |
|----|---|---|-----|------|-------------|---------------------------|--------------|
| 事項 | 福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL・FA: 管理建築士 井澤福男 一級建築士 | 福岡県知事登録 第1-20877号 (0930 - 23 - 1956 大臣登録 第114138号 | | | | R度 S=1/100 日付 2022年07月 | 図面番号 A-53 |

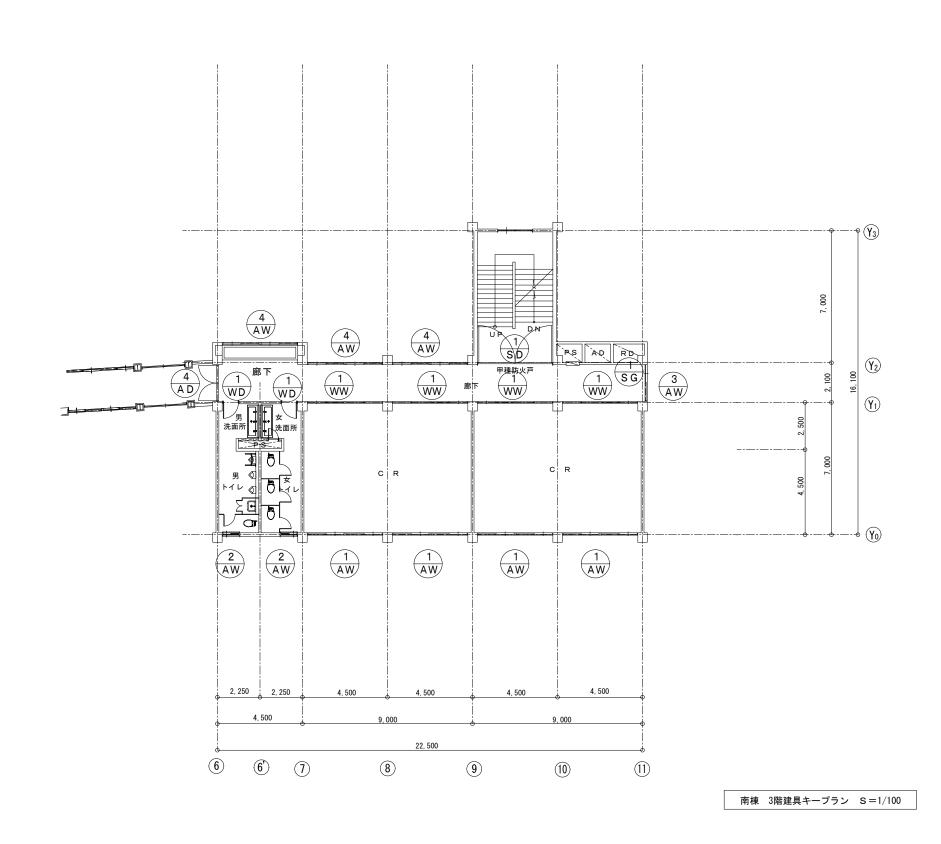




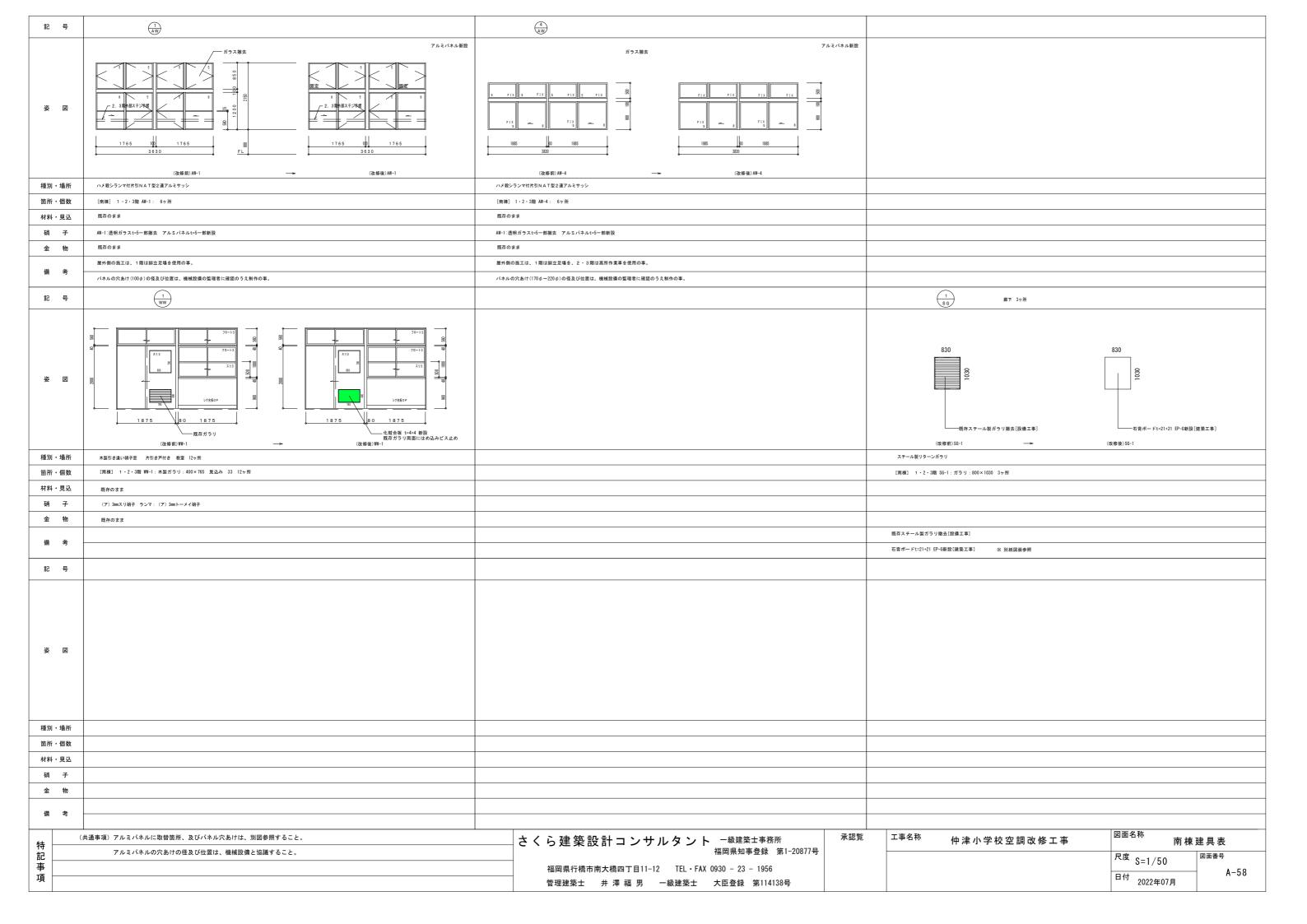
**

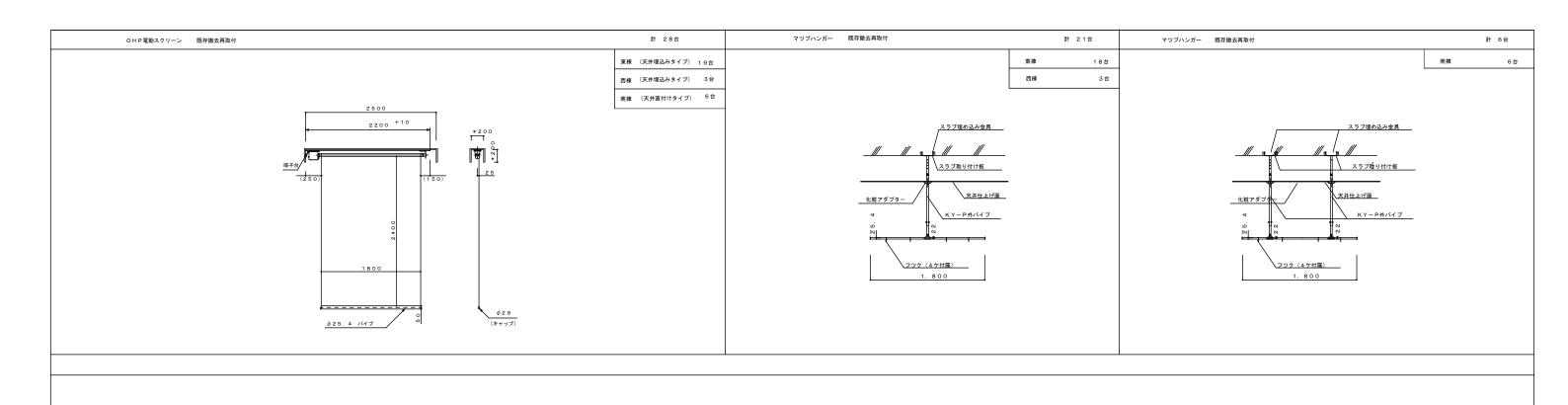


特記事項さくら建築設計コンサルタント 一級建築士事務所福岡県知事登録第1-20877号福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL・FAX 0930 - 23 - 1956管理建築士 井澤福男 一級建築士 大臣登録第114138号本認覧 中津小学校空調改修工事工事名称 仲津小学校空調改修工事内津小学校空調改修工事図面名称 南棟 2階建具キーブラン 日付 2022年07月日付 2022年07月日付 2022年07月



| ب | 寺 | さくら建築設計コンサルタント -級建築±事務所 福岡県知事登録 第1-20877号 | 承認覧 | 工事名称 | 仲津小学校空調改修工事 | | |
|---|-----|--|-----|------|--------------|-------------|------|
| 1 | 2 _ | | | 図面名称 | | 尺度 S=1/100 | 図面番号 |
| - | 事 | 福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL・FAX 0930 - 23 - 1956 | | | 南棟 3階建具キープラン | 0-1/100 | |
| 1 | | 管理建築士 井澤 福 男 一級建築士 大臣登録 第114138号 | | | | 日付 2022年07月 | A-5/ |





一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-20877号

福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL·FAX 0930 - 23 - 1956 管理建築士 井澤福男 一級建築士 大臣登録 第114138号

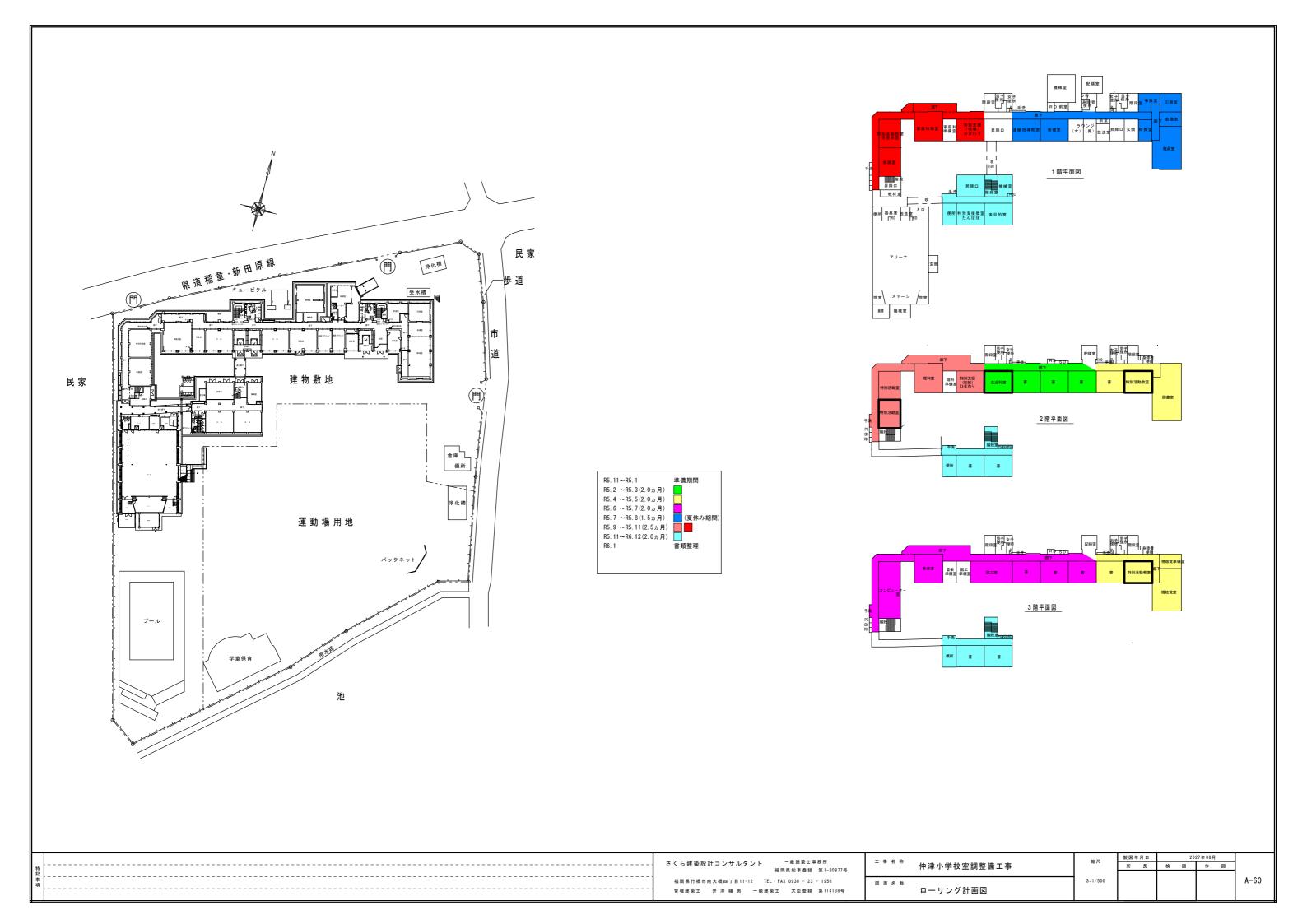
| 承認覧 |
|-----|
| |
| |

工事名称

| 仲津小学校空調 | 改修 工事 |
|---------|-------|
| | |

 尺度 S=1/30
 図面番号

 日付 2022年07月
 A-59



NATW-1:10ヶ所 穴明100Φ-10

ガラス撤去:10枚

(8mm)

パネル新設:10枚

(3+5)

*空調冷媒配管貫通によりカーテン上部端部の加工有り。(10 ヶ所)



| 特 | さくら建築設計コンサルタント -級建築±事務所 | 承認覧 | 工事名称 | 仲津小学校空調改修工事 | 図面名称 | |
|------|---|-----|------|-------------|---------------------------|--------------|
| 記事 項 | 福岡県知事登録 第1-20877号 福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL·FAX 0930 - 23 - 1956 管理建築士 井澤福男 一級建築士 大臣登録 第114138号 | | | 東棟南面立面図 | Rg S=1/100 日付 2022年07月 | 図面番号 A-61 |

NATW-1:2ヶ所 穴明100Φ-2

ガラス撤去: 2枚 (8mm)

パネル新設: 2枚 (3+5mm)

* 空調冷媒配管貫通によりカーテンの上部端部の加工有り。(2ヶ所)

NATW-6:2ヶ所 穴明100Φ-4

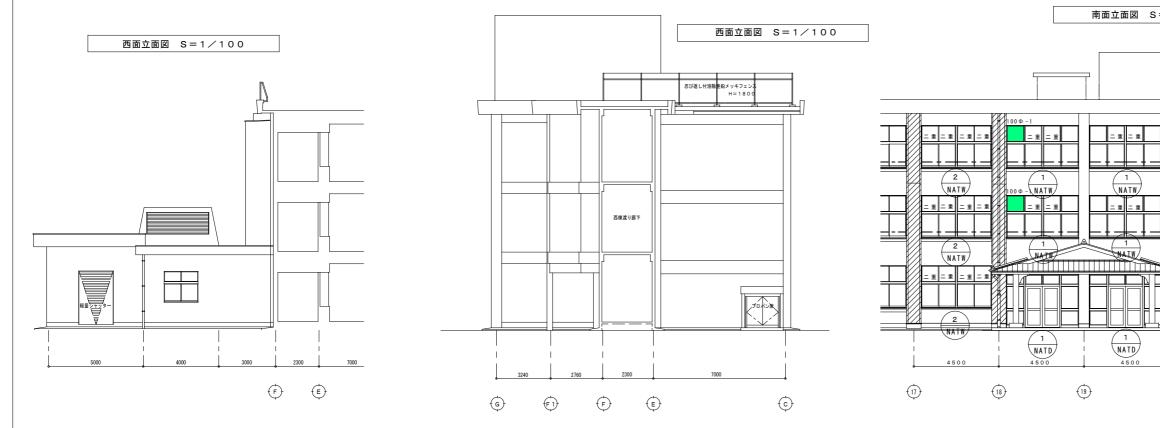
ガラス撤去: 4枚

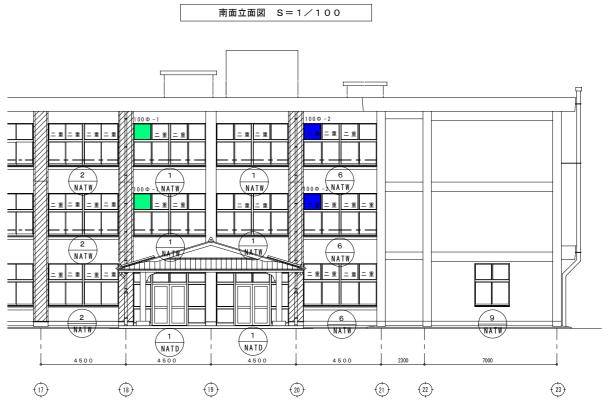
(5mm)

パネル新設:4枚

(5mm)

*空調冷媒配管貫通によりカーテンの上部端部の加工有り。(2ヶ所)





| #± | |
|------|--|
| 特記事項 | |
| 事 | |
| 垻 | |

さくら建築設計コンサルタント -級建築±事務所 福岡県知事登録 第1-20877号

福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL・FAX 0930 - 23 - 1956 管理建築士 井澤福男 一級建築士 大臣登録 第114138号 承認覧 工事名称

仲津小学校空調改修工事

図面名称 ^{尺度} S=1/100

東棟西・南面立面図

A-62

図面番号

日付 2022年07月



NATW-8:8ヶ所

穴明 170 Φ−8 220 Φ−16

ガラス撤去:16枚 (5mm) パネル新設:16枚 (5mm)

穴明 120Φ-4

NATW-10:2ヶ所 ガラス撤去:4枚

(5mm) パネル新設:4枚 (5mm)

穴明 170 Φ −4

NATW14:2ヶ所 ガラス撤去:4枚 (5mm)

パネル新設:4枚 (5mm)

北面立面図1 S=1/100

| 特 | さくら建築設計コンサルタント -級建築±事務所 福岡県知事登録 第1-20877号 | 承認覧 | 工事名称 | 仲津小学校空調改修工事 | 図面名称 東棟北 | 面立面図 |
|-------|--|-----|------|-------------|-----------------------|------|
| 記 事 | 福岡県7橋市南大橋四丁目11-12 TEL・FAX 0930 - 23 - 1956 | | | 北面立面図1 | ^{尺度} S=1/100 | 図面番号 |
| 項 | 管理建築士 井澤福男 一級建築士 大臣登録 第114138号 | | | 北田立田区「 | 日付 2022年07月 | A-63 |

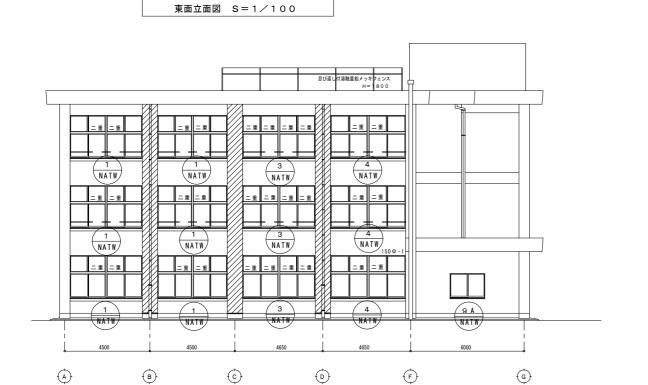
ガラス撤去:36枚 (5mm) パネル新設:36枚 (5mm)

ガラス撤去: 44枚 (5mm) パネル新設: 44枚 (5mm)

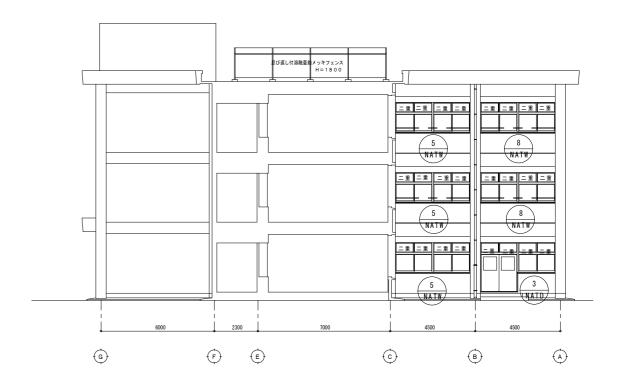


北面立面図2 S=1/100

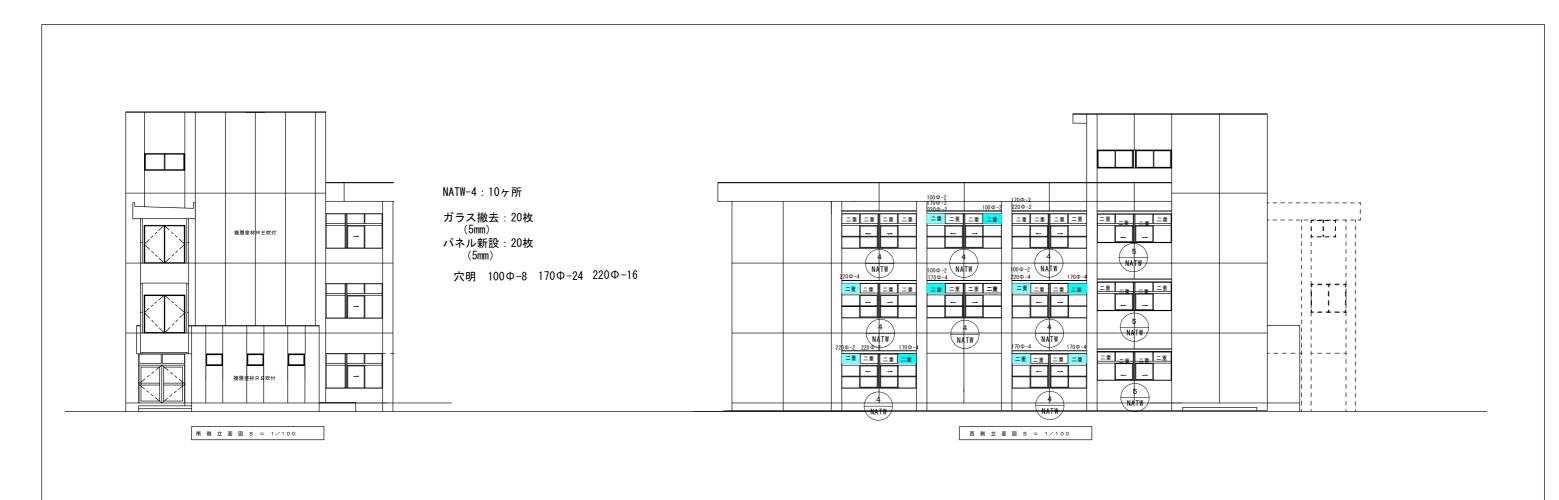
| ן ער | さくら建築設計コンサルタント -級建築士事務所 | 承認覧 | 工事名称 | 仲津小学校空調改修工事 | 図面名称 東棟北面 | 立面図 |
|--------|--|-----|------|-------------|-----------------------|-----------|
| 記 事 | 福岡県知事登録 第1-20877号 福岡県知事登録 第1-20877号 福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL·FAX 0930 - 23 - 1956 | | | 北面立面図 2 | ^{尺度} S=1/100 | 図面番号 A-64 |
| 項 | 管理建築士 井澤福男 一級建築士 大臣登録 第114138号 | | | 北田立田区と | 日付 2022年07月 | A-04 |

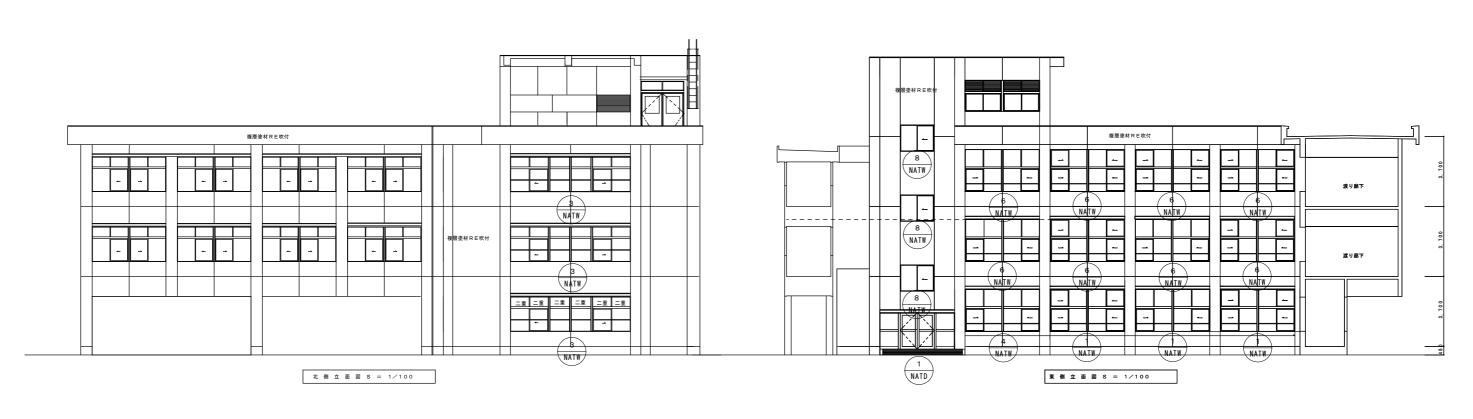


西面立面図 S=1/100

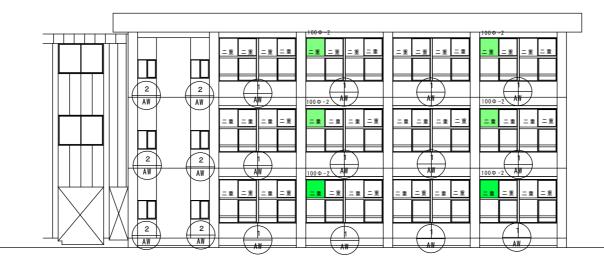


| 特 | さくら建築設計コンサルタント -級建築±事務所 福岡県知事登録 第1-20877号 | 承認覧 | 工事名称 | 仲津小学校空調改修 工事 | 図面名称 | |
|----|---|-----|------|--------------|---------------------------|----------------|
| 事項 | 福岡県和事金録 第1-20877号 福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL・FAX 0930 - 23 - 1956 管理建築士 井澤福男 一級建築士 大臣登録 第114138号 | | | 東棟東・西立面図 | R度 S=1/100 日付 2022年07月 | 図面番号 - A-65 |





| | さくら建築設計コンサルタント | 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-20877号 | 承認覧 | 工事名称 | 仲津小学校空調改修工事 | 図面名称 | |
|---|---|-------------------------------|-----|------|-------------|---------------------------|--|
| 記 | - - 福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL・F, - 管理建築士 井澤福男 一級建築士 | | | | 西棟立面図 | R度 S=1/100 日付 2022年07月 | 図面番号 ———————————————————————————————————— |



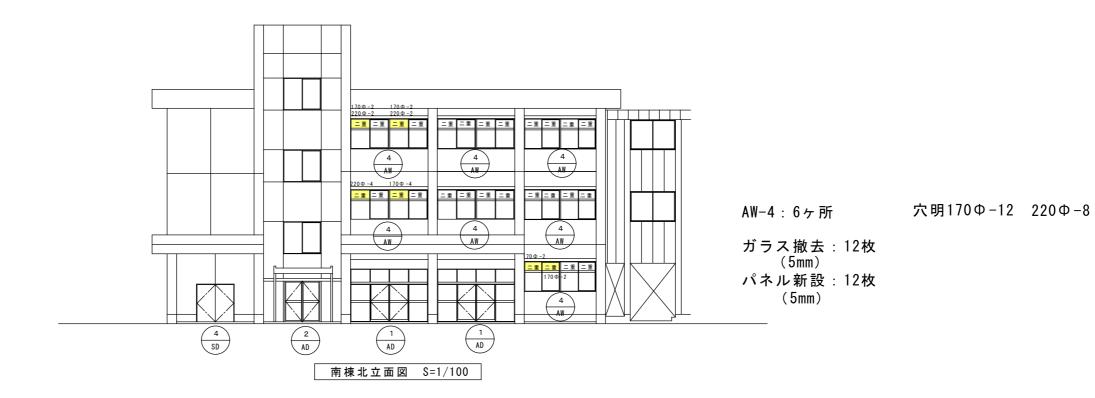
AW-1:6ヶ所

穴明100Φ-12

ガラス撤去:12枚 (5mm) パネル新設:12枚 (5mm)

南棟南立面図 S=1/100

*空調冷媒管貫通によりカーテンの上部端部の加工有り。(6ヶ所)



| 特 | さくら建築設計コンサルタント -級建築±事務所 福岡県知事登録 第1-20877号 | 承認覧 | 工事名称 | 仲津小学校空調改修工事 | 図面名称 |
|---|---|-----|------|-------------|-------------|
| 事 | 福岡県和事登録 第1-2007/号 - 福岡県行橋市南大橋四丁目11-12 TEL・FAX 0930 - 23 - 1956 | | | 南 棟 立 面 図 | R/B S=1/100 |
| 項 | 管理建築士 井澤福男 一級建築士 大臣登録 第114138号 | | | 州休工园区 | 日付 2022年07月 |